

講義科目名称：英会話 I	授業コード：
英文科目名称：English Conversation I	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1・2	1年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、その他				

授業概要	<p>This course aims to build students' confidence and competence in holding conversations in English on everyday, familiar topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>英会話 I では日常的话题を英語で話せるように自信と知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①準備した内容を英語で発表できる、②日常的话题で自分の意思が伝達できる、③グループディスカッションで相手の意図を理解でき、コミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業への参加・態度	30%
専門的知識や技能	英語で日常的な・基本的な表現を理解、用いることができる。限られた場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	発表・ディスカッション 課題	40% 30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
本授業では、英語発表 40%、課題（プレゼン資料・教科書課題など） 30%、授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度 30%の割合で評価する。定期試験は実施しません。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション ※合同授業	先生たちの紹介があります。グループワークで様々な英語での交流を体験する。	予習:シラバスを読む

2回目	オリエンテーション ※合同授業	シラバス、コース内容の詳しい説明を聞く。 先生たちがする「Hometown」発表の例を見る。	予習: 教科書の Unit 1 を見る 復習: Unit1 を読む
3回目	Unit 1: Hometown	Unit 1 の内容を紹介する。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.6 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
4回目	Unit 1: Hometown	Unit 1 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 1 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
5回目	Unit 1: Hometown	Unit 1 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
6回目	Unit 1: Hometown	Unit 1 発表文を準備して、練習する。 Unit 1 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
7回目	Unit 1: Hometown	「Hometown」発表とディスカッション。	予習: 発表文を練習する
8回目	Unit 2: Music	Unit 2 の内容を紹介する。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.14 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
9回目	Unit 2: Music	Unit 2 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 2 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
10回目	Unit 2: Music	Unit 2 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
11回目	Unit 2: Music	Unit 2 発表文を準備して、練習する。 Unit 2 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
12回目	Unit 2: Music	「Music」発表とグループディスカッション	予習: 発表文を練習する
13回目	Unit 3: Books	Unit 3 の内容を紹介する。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.22 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
14回目	Unit 3: Books	Unit 3 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 3 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
15回目	Unit 3: Books	Unit 3 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
16回目	Unit 3: Books	Unit 3 発表文を準備して、練習する。 Unit 3 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
17回目	Unit 3: Books	「Books」発表とグループディスカッション	予習: 発表文を練習する
18回目	Unit 4: Family	Unit 4 の内容を紹介する。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.30 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
19回目	Unit 4: Family	Unit 4 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 4 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
20回目	Unit 4: Family	Unit 4 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
21回目	Unit 4: Family	Unit 4 発表文を準備して、練習する。 Unit 4 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
22回目	Unit 4: Family	「Family」発表とグループディスカッション	予習: 発表文を練習する

23 回目	Unit 5: Travel	Unit 5 の内容を紹介する。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.40 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
24 回目	Unit 5: Travel	Unit 5 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 5 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
25 回目	Unit 5: Travel	Unit 5 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
26 回目	Unit 5: Travel	Unit 5 発表文を準備して、練習する。 Unit 5 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
27 回目	Unit 5: Travel	「Travel」発表とグループディスカッション	予習: 発表文を練習する
28 回目	復習	これまでの英語をまとめて英会話をする。	予習: Unit 1-3 を復習する
29 回目	復習	これまでの英語をまとめて英会話をする。	予習: Unit 4-5 を復習する
30 回目	復習 ※合同授業	グループワークで様々な英語での交流活動をする。	

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書: Scraps (4 th Edition)
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	(前期) 火・水曜日の 3～5 現目 (研究室) (後期) 火・金曜日の 1～2 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英会話Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：English Conversation II	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4	1年	1	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、その他				

授業概要	<p>This course builds on <i>English Conversation I</i> and aims to expand students' ability to hold conversations in English on familiar topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>英会話Ⅰで学んだ内容を基礎として、身近な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①準備した内容を英語で発表できる、②日常の事柄について自分の意思が伝達できる、③グループディスカッションで相手の話の内容を正確につかみ、コミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業への参加・態度	30%
専門的知識や技能	英語で日常の事柄について積極的な情報を伝えることができる、関係がある領域に関してよく使われる表現が理解できる。日常生活の場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	発表・ディスカッション	40%
		課題	30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
本授業では、英語発表 40%、課題（プレゼン資料・教科書課題など） 30%、授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度 30%の割合で評価する。定期試験は実施しません。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション ※合同授業	先生たちの紹介があります。グループワークで様々な英語での交流を体験する。	予習: シラバスを読む 復習: 発表で使う写真を集める
2回目	Unit 1: Gap Report	Unit 1 の内容を紹介します。日常的な英会話を練習する。	予習: 発表で使う写真を集める 復習: 発表文と資料を作成する
3回目	Unit 1: Gap Report	Unit 1 発表文を準備して、練習する。 Unit 1 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
4回目	Unit 1: Gap Report	「Gap Report」発表とグループディスカッション。	予習: 発表文を練習する
5回目	Unit 2: Food	Unit 2 の内容を紹介します。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.56 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
6回目	Unit 2: Food	Unit 2 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 2 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
7回目	Unit 2: Food	Unit 2 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
8回目	Unit 2: Food	Unit 2 発表文を準備して、練習する。 Unit 2 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
9回目	Unit 2: Food	「Food」発表とグループディスカッション。	予習: 発表文を練習する
10回目	Unit 3: School	Unit 3 の内容を紹介します。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.48 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
11回目	Unit 3: School	Unit 3 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 3 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
12回目	Unit 3: School	Unit 3 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
13回目	Unit 3: School	Unit 3 発表文を準備して、練習する。 Unit 3 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
14回目	Unit 3: School	「School」発表とグループディスカッション。	予習: 発表文を練習する
15回目	復習 ※合同授業	グループワークで様々な英語での交流活動をする。	予習: Unit 1-3 を復習する

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：Scraps (4 th Edition) ※「英会話Ⅰ」の演習で購入したものを利用する

履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	(前期) 火・水曜日の3～5現目 (研究室) (後期) 火・金曜日の1～2現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英会話 III	授業コード：
英文科目名称：English Conversation III	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5・6	2年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、その他				

授業概要	<p>This course builds on <i>English Conversation II</i> and aims to expand students' ability to hold conversations in English on beyond familiar, everyday topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>英会話 II で学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックを英語で発表できる、②普段触れない話題や事柄について自分の意思が伝達できる、③ グループディスカッションで相手の話の内容に疑問を持ち、主体的に質問しあうコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。また仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	英語発表・グループディスカッション 面接	40% 50%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
本授業では、定期試験の面接 50%、英語発表・グループディスカッション 40%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション ※合同授業	シラバス、授業の進み方の説明。グループワークで様々な英語での交流を体験する。	復習：英語ノートを準備する
2回目	Unit 1: Show & Tell	Conversation practice: Daily life 1 日常的な英会話を練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
3回目	Unit 1: Show & Tell	Conversation practice: Daily life 2 日常的な英会話を練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表①の準備
4回目	Unit 1: Show & Tell	発表①：Show & Tell（2分）	予習：発表①の練習 復習：基本表現を復習する
5回目	Unit 2: Movie Project	Movie: Act 1 英語の映画を見て、課題をする。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
6回目	Unit 2: Movie Project	Movie: Act 2 英語の映画を見て、課題をする。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
7回目	Unit 2: Movie Project	Movie: Act 3 英語の映画を見て、課題をする。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
8回目	Unit 2: Movie Project	Conversation practice: Movie review 1 英語で意見を述べることを練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
9回目	Unit 2: Movie Project	Conversation practice: Movie review 2 英語で意見を述べることを練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
10回目	Unit 2: Movie Project	Conversation practice: Movie review 3 英語で意見を述べることを練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
11回目	Unit 2: Movie Project	発表準備：基本的な文法、表現を復習する、 発表の英文を作成・修正する。	予習：発表②の英文を作成する 復習：発表②の英文を修正する
12回目	Unit 2: Movie Project	発表②：Personal Opinions（4分）	予習：発表②を練習する
13回目	Unit 3: Media-battle	Conversation practice: Likes & Dislikes 1 好き・嫌いについて英会話する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表③の準備
14回目	Unit 3: Media-battle	Conversation practice: Likes & Dislikes 2 各自の趣味の魅力について英会話する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表③の準備
15回目	Unit 3: Media-battle	Conversation practice: Likes & Dislikes 3 好きな・嫌いな映画・ドラマを紹介する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表③の準備
16回目	Unit 3: Media-battle	Conversation practice: Likes & Dislikes 4 好きなウェブメディアを紹介する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
17回目	Unit 3: Media-battle	発表準備：基本的な文法、表現を復習する、 発表の英文を作成する。	予習：発表③の英文を作成する 復習：発表③の英文を修正する
18回目	Unit 3: Media-battle	発表③：Mine's the best（4分）	予習：発表③を練習する
19回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: Past Experiences 1 過去の出来事について英会話する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表④の準備

20 回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: Past Experiences 2 過去にある出来事について英会話する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表④の準備
21 回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: Future Plans 1 将来について英会話する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表④の準備
22 回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: Future Plans 2 将来について英会話する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表④の準備
23 回目	Unit 4: Presentation	発表準備：基本的な文法、表現を復習する、 発表の英文を作成する。	予習：発表④の英文を作成する 復習：発表④の英文を修正する
24 回目	Unit 4: Presentation	発表④：Dreams for the future（5分）	予習：発表④を練習する
25 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: First Impressions 1 初めて出会う人と会話する練習	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
26 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: First Impressions 2 初めて出会う人と会話する練習	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
27 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: Keep Talking 1 会話を続ける方法を練習する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
28 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: Keep Talking 2 会話を続ける方法を練習する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
29 回目	Unit 5: Interview	インタビュー準備：基本的な表現を復習す る、インタビューで使う質問を準備する。	予習：相手に聞く質問の準備 復習：質問を修正する
30 回目	Unit 5: Interview	インタビュー準備：ペアワークで質問と 答えを練習する。	予習：質問、答えの練習 復習：面接のためノートの準備
31 回目	定期試験	英語面接（10分）	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：なし
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	（前期）火・水曜日の3～5 現目（研究室） （後期）火・金曜日の1～2 現目（研究室）
備考・メッセージ	

講義科目名称：英会話 IV	授業コード：
英文科目名称：English Conversation IV	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8	2年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、その他				

授業概要	<p>This course builds on <i>English Conversation III</i> and aims to expand students' ability to hold conversations in English to wide variety of topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>英会話 III で学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックについて熟考し起承転結を用いた発表ができる、②抽象的な話題・具体的な話題でも複雑な内容について自分の意思が伝達できる、③ 教員の助けを借りず率先してグループディスカッションを成立させ、幅広いテーマについてコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	英語で幅広い話題について情報を伝えること、抽象的な話題・具体的な話題でも複雑な内容を理解することができる。 相手や目的に応じて自らの意思を適切に伝え、相手の意思を的確に理解することができる。	英語発表・グループディスカッション	40%
		面接	50%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

本授業では、定期試験の面接 50%、英語発表・グループディスカッション 40%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション ※合同授業	シラバス、授業の進み方の説明。グループワークで様々な英語での交流を体験する。	復習：英語ノートを準備する
2 回目	Unit 1: Show & Tell	Conversation practice: My Interests 1 趣味やお気にいりもの説明を英語で練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
3 回目	Unit 1: Show & Tell	Conversation practice: My Interests 2 趣味やお気にいりもの説明を英語で練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表①の準備
4 回目	Unit 1: Show & Tell	発表①：Show & Tell (3分)	予習：発表①の練習 復習：基本表現を復習する
5 回目	Unit 2: Movie Project	Movie: Act 1 英語の映画を見て、課題をする。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
6 回目	Unit 2: Movie Project	Movie: Act 2 英語の映画を見て、課題をする。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
7 回目	Unit 2: Movie Project	Movie: Act 3 英語の映画を見て、課題をする。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
8 回目	Unit 2: Movie Project	Conversation practice: Movie review 1 英語で意見を述べることを練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
9 回目	Unit 2: Movie Project	Conversation practice: Movie review 2 英語で意見を述べることを練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
10 回目	Unit 2: Movie Project	Conversation practice: Movie review 3 英語で意見を述べることを練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
11 回目	Unit 2: Movie Project	発表準備：基本的な文法、表現を復習する、 発表の英文を作成する。	予習：発表②の英文作成する 復習：発表②の英文修正する
12 回目	Unit 2: Movie Project	発表②：Personal Opinions (5分)	予習：発表②を練習する
13 回目	Unit 3: Kamishibai	Conversation practice: Telling Stories 1 昔ばなしを英語で伝えてみる。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
14 回目	Unit 3: Kamishibai	Conversation practice: Telling Stories 2 昔ばなしを英語で伝えてみる。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
15 回目	Unit 3: Kamishibai	発表準備：基本的な文法、表現を復習する、 海外の昔ばなしを選ぶ。	予習：海外昔ばなしを調べる 復習：昔ばなしの国を調べる
16 回目	Unit 3: Kamishibai	発表準備：発表の英文を作成する。	予習：発表③の英文の下書き 復習：発表③の英文修正する
17 回目	Unit 3: Kamishibai	発表準備：発表の英文を練習する、紙芝居を作成する。	予習：紙芝居の絵の計画 復習：紙芝居の作成

18 回目	Unit 3: Kamishibai	発表③ : Kamishibai Stories (5分)	予習 : 発表文を練習する
19 回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: 'That time I...' 1 「ある日」について英会話する	予習 : 英語ノートに単語記入 復習 : 基本表現を復習する
20 回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: 'That time I...' 2 「ある日」について英会話する	予習 : 英語ノートに単語記入 復習 : 基本表現を復習する
21 回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: 'That time I...' 3 話をより面白く伝える練習をする	予習 : 発表テーマを決める 復習 : 基本表現を復習する
22 回目	Unit 4: Presentation	発表準備 : 基本的な文法、表現を復習する、 発表の英文を作成する。	予習 : 発表④の英文の準備 復習 : プレゼン資料の準備
23 回目	Unit 4: Presentation	発表準備 : 発表の英文を修正する、プレゼン資料 を作成する。	予習 : 発表④の英文の準備 復習 : プレゼン資料の準備
24 回目	Unit 4: Presentation	発表④ : That Day (5分) ※プレゼン資料も必要です。	予習 : 発表④を練習する
25 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: Keep Talking 1 会話を続ける方法を練習する。	予習 : 英語ノートに単語記入 復習 : 基本表現を復習する
26 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: Keep Talking 2 会話を続ける方法を練習する。	予習 : 英語ノートに単語記入 復習 : 基本表現を復習する
27 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: Keep Talking 3 会話を続ける方法を練習する。	予習 : 英語ノートに単語記入 復習 : 基本表現を復習する
28 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: Keep Talking 4 会話を進ませる方法を練習する。	予習 : 英語ノートに単語記入 復習 : 基本表現を復習する
29 回目	Unit 5: Interview	インタビュー準備 : 基本的な表現を復習する、 インタビューで使う質問を準備する。	予習 : 相手に聞く質問の準備 復習 : 質問を修正する
30 回目	Unit 5: Interview	インタビュー準備 : ペアワークで質問と答え を練習する。	予習 : 質問、答えの練習 復習 : 面接メモの準備
31 回目	定期試験	英語面接 (15分)	

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書 : なし
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	(前期) 火・水曜日の3～5 現目 (研究室) (後期) 火・金曜日の1～2 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語検定I	授業コード：
英文科目名称：English Proficiency Test I	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1	1年	2	選択	講義
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>目安として（G1）英検2級以上レベル、（G2）2級レベル、（G3）準2級レベルに分け、現在のレベルより上のクラスへ上がることを目指し、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。本授業では、(G1) TOEIC 600のレベルを目指す授業を行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2. Grammar：苦手とする文法を理解することができる。 3. Reading：英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4. Listening：正確に英語を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・授業への参加・態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・60% ・20% ・20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 ・ 本授業では、定期試験 40%、小テスト40%、授業への参加・態度 20%の割合で評価します。 ・ 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomで載せます。 ・ 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：授業の進め方 UNIT L-1：写真描写問題 ・人物が写っている写真 UNIT R-1：単文穴埋め問題 ・品詞	対面授業	予習：Strategies (p.5, 66~67)を読み、理解しておく（1.5時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（2.5時間）
2回目	UNIT L-2：写真描写問題 ・人物が写っていない写真 UNIT R-2：単文穴埋め問題 ・動詞の形(1) 能動態 vs 受動態、分詞	対面授業	予習：Strategies (p.9, 71~72)を読み、理解しておく（1.5時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（2.5時間）
3回目	UNIT L-3：応答問題 ・疑問視疑問文 UNIT R-3：単文穴埋め問題 ・動詞の形(2) 時制 ・その他	対面授業	予習：Strategies (p.14~15, 76~77)を読み、理解しておく（1.5時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（2.5時間）
4回目	UNIT L-4：応答問題 ・Yes/No 疑問文 ・その他の疑問文 UNIT R-4：単文穴埋め問題 ・前置詞 ・接続詞	対面授業	予習：Strategies (p.18~19, 81~82)を読み、理解しておく（1.5時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（2.5時間）
5回目	UNIT L-5：応答問題 ・平叙文 ・意外な応答 UNIT R-5：単文穴埋め問題 ・代名詞 ・関係代名詞	対面授業	予習：Strategies (p.22~23, 86~87)を読み、理解しておく（1.5時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（2.5時間）
6回目	UNIT L-6：応答問題 ・機能別疑問文 UNIT R-6：長文穴埋め問題 ・概要と基本戦略	対面授業	予習：Strategies (p.26~27, 92)を読み、理解しておく（1.5時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（2.5時間）
7回目	小テスト（範囲：UNIT R・L1~6）	対面授業	予習：UNIT R・L 1~6を復習しておく（3時間） 復習：小テストで間違ったところを復習し、正しく記憶する（1時間）
8回目	UNIT L-7：会話問題 ・目的 ・懸念 ・次の行動 UNIT R-7：読解問題 ・広告 ・チャット	対面授業	予習：Strategies (p.32, 98~99)を読み、理解しておく（1.5時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（2.5時間）
9回目	UNIT L-8：会話問題 ・言及 ・問題点 ・提案 UNIT R-8：読解問題	対面授業	予習：Strategies (p.35~36, 105~106)を読み、理解しておく（1.5時間）

	・Eメール ・手紙		復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（2.5時間）
10回目	UNIT L-9：会話問題 ・申し出 ・依頼 ・意図 UNIT R-9：読解問題 ・告知 ・社内回覧	対面授業	予習：Strategies (p.40~41, 113)を読み、理解しておく（1.5時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（2.5時間）
11回目	UNIT L-10：説明文問題 ・録音メッセージ ・アナウンス UNIT R-10：読解問題 ・記事	対面授業	予習：Strategies (p.46, 119)を読み、理解しておく（1.5時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（2.5時間）
12回目	UNIT L-11：説明文問題 ・トーク ・会議 ・ニュース UNIT R-11：読解問題 ・ダブルパッセージ	対面授業	予習：Strategies (p.49~50, 125~126)を読み、理解しておく（1.5時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（2.5時間）
13回目	UNIT L-12：グラフィック（図表）問題 UNIT R-12：読解問題 ・トリプルパッセージ	対面授業	予習：Strategies (p.54~55, 134~135)を読み、理解しておく（1.5時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（2.5時間）
14回目	UNIT L1~12 復習	対面授業	予習&復習：UNIT L1~12を しっかり復習しておく（4時間）
15回目	UNIT R1~12 復習	対面授業	予習&復習：UNIT R1~12を しっかり復習しておく（4時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書：Key Strategies for Success on the TOEIC L&R Test: Level 600 （クラス担当教員から注文する）
履修条件	特になし
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	（1Q）火曜日の3～4 現目（研究室）
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語検定 I	授業コード：
英文科目名称：English Proficiency Test I	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>目安として (G1) 英検 2 級以上レベル、(G2) 2 級レベル、(G3) 準 2 級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検 2 級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3 人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>このタームの終了時の目標： G1：TOEIC(CASEC) 700 点 G2：TOEIC(CASEC) 500 点 G3：TOEIC(CASEC) 400 点</p> <p>特に、上記の目標達成のために、以下の 5 項目で各レベルまでの達成を目指します。</p> <p>① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英作文ができるようにする。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 70% ・小課題 25% ・授業への参加・態度 5% 	

異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
			合計
			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験 70%、小課題 15%、授業への参加・態度 5%の割合で総合評価する。 ・小課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	In Your Free Time	オリエンテーション いろいろな数値① 基本 5 文型	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
2 回目	Communication Skills	いろいろな数値② 文の種類	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
3 回目	World Languages and Cultures	発音しづらい語句 基本文型	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
4 回目	Healthy Body, Healthy Mind	固有名詞（人名・地名など） 進行形	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
5 回目	Careers Nowadays	簡単な挨拶文 完了形	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。

6 回目	Fashion Trend	提案文、勧誘文 助動詞① (can/may/must/should)	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
7 回目	Planning a Trip Abroad	依頼文 助動詞② (could/might/would)	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
8 回目	Are you into Sports?	Yes/No 疑問文 受動態	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
9 回目	Parties Are a Lot of Fun!	wh 疑問文 不定詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
10 回目	Art in Our Life	否定・付加疑問文 動名詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
11 回目	What Shall We Eat?	カジュアルな表現 分詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
12 回目	What Makes a Good Company?	フォーマルな表現 比較	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
13 回目	Advances in Science	意味のかたまり (チャンク) 関係代名詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教

			材の分からない単語等を調べておくこと。
14 回目	Life with Technology	主張や理由を導くキーワード 話法	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
15 回目	Eco-Friendly Life	名詞から話題をイメージする 特殊構文（強調・倒置・同格）	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に） 授業中に指示します。 参考） Target! – pre-intermediate, intermediate 金星堂
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして、積極的に取り組むこと。

講義科目名称：英語検定II	授業コード：
英文科目名称：English Proficiency Test II	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2	1年	2	選択	講義
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>目安として（G1）英検2級以上レベル、（G2）2級レベル、（G3）準2級レベルに分け、現在のレベルより上のクラスへ上がることを目指し、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。本授業では、（G1）TOEIC 600～730 & 英検2級以上レベルを目指す授業を行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>TOEIC・英検の [Reading] [Writing] [Listening] [Speaking] 強化を中心に行う：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2. Grammar：苦手とする文法を理解することができる。 3. Reading：英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4. Listening：正確に英語を聞き取ることができる。 5. Speaking：あるトピックまたは日常生活の一般的な事柄に関する質問に答え、自分の意見を述べることができる。 6. Composition：基本的な英語での作文ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 小テスト ・ 授業への参加・態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 60% ・ 20% ・ 20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

- ・授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。
- ・本授業では、定期試験 60%、小テスト20%、授業への参加・態度 20%の割合で評価します。
- ・課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomで載せます。
- ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 リーディング問題 1: TOEIC・英検 2 級以上の短文穴埋め問題の対策と練習	対面授業	予習: Google Classroomの資料を確認する (1時間) 復習: 授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる (3時間)
2回目	単語クイズ1 (TOEIC頻出語彙・熟語リスト1) リーディング問題 2: TOEIC・英検 2 級以上の長文穴埋め問題の対策と練習	対面授業	予習: 次の語彙・熟語リストを勉強する (2時間) 復習: 授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる (2時間)
3回目	単語クイズ2 (TOEIC頻出語彙・熟語リスト2) リーディング問題 3: TOEIC・英検 2 級以上の長文読解問題の対策と練習	対面授業	予習: 次の語彙・熟語リストを勉強する (2時間) 復習: 授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる (2時間)
4回目	単語クイズ3 (TOEIC頻出語彙・熟語リスト3) リスニング問題 1: TOEICの応用問題の対策と練習	対面授業	予習: 次の語彙・熟語リストを勉強する (2時間) 復習: 授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる (2時間)
5回目	単語クイズ4 (TOEIC頻出語彙・熟語リスト4) リスニング問題 2: TOEIC・英検 2 級以上の会話問題の対策と練習	対面授業	予習: 次の語彙・熟語リストを勉強する (2時間) 復習: 授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる (2時間)
6回目	単語クイズ5 (TOEIC頻出語彙・熟語リスト5) リスニング問題 3: TOEIC・英検 2 級以上の説明文問題の対策と練習	対面授業	予習: 次の語彙・熟語リストを勉強する (2時間) 復習: 授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる (2時間)
7回目	小テスト (範囲: 授業 1～6 の内容リーディング・リスニング問題)	対面授業	予習: 小テストの範囲を復習する (3時間) 復習: 小テストで間違ったところをを復習する (1時間)
8回目	単語クイズ6 (TOEIC頻出語彙・熟語リスト6) イラスト・写真描写リスニング&スピーキング問題: TOEIC・英検 2 級以上の対策と練習	対面授業	予習: 次の語彙・熟語リストを勉強する (2時間) 復習: 授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる (2時間)
9回目	単語クイズ7 (TOEIC頻出語彙・熟語リスト7) 一般的なスピーキング問題: 英検 2 級・2 級以上の対策と練習 (日常会話、自分の意見を述べる、質問に答える)	対面授業	予習: 次の語彙・熟語リストを勉強する (2時間) 復習: 授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる (2時間)

10回目	単語クイズ8 (TOEIC頻出語彙・熟語リスト8) 英検2級スピーキング: 面接の対策と練習	対面授業	予習: 次の語彙・熟語リストを勉強する (2時間) 復習: 授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる (2時間)
11回目	単語クイズ9 (TOEIC頻出語彙・熟語リスト9) 英検準1級スピーキング: 面接の対策と練習	対面授業	予習: 次の語彙・熟語リストを勉強する (2時間) 復習: 授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる (2時間)
12回目	単語クイズ10 (TOEIC頻出語彙・熟語リスト10) ライティング問題1: 英検2級・2級以上の英作文問題の対策と練習	対面授業	予習: 次の語彙・熟語リストを勉強する (2時間) 復習: 授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる (2時間)
13回目	単語クイズ11 (TOEIC頻出語彙・熟語リスト11) ライティング問題2: 英検2級・2級以上の英作文問題の対策と練習	対面授業	予習: 次の語彙・熟語リストを勉強する (2時間) 復習: 授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる (2時間)
14回目	単語クイズ12 (TOEIC頻出語彙・熟語リスト12) 復習1: TOEICの問題の対策を復習して練習する	対面授業	予習: 次の語彙・熟語リストを勉強し、TOEIC問題の対策を復習する (2時間) 復習: 授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる (2時間)
15回目	復習2: 英検の一次試験・二次試験問題の対策を復習して練習する	対面授業	予習: 英検問題の対策を復習する (1時間) 復習: リーディング、リスニング、ライティング問題を復習する (3時間)
16回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	参考書: ※TOEIC L&R Test 出る単特急 金のフレーズ TOEIC L&R Test 出る単特急 金のセンテンス TOEIC L&R Test 出る単特急 金の熟語
履修条件	特になし
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	(2Q) 水・木曜日の2現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語検定 II	授業コード：
英文科目名称：English Proficiency Test II	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2ndQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>目安として (G1) 英検 2 級以上レベル、(G2) 2 級レベル、(G3) 準 2 級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検 2 級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3 人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>このタームの終了時の目標： G1：TOEIC(CASEC) 700 点 G2：TOEIC(CASEC) 500 点 G3：TOEIC(CASEC) 400 点 特に、上記の目標達成のために、以下の 5 項目で各レベルまでの達成を目指します。</p> <p>① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英作文ができるようにする。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。</p>	<p>・定期試験 ・小課題 ・授業への参加・態度</p>	<p>70% 25% 5%</p>

	⑤ Listening: 正確に英語を聞き取れるようになる。		
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験 70%、小課題 15%、授業への参加・態度 5%の割合で総合評価する。 ・小課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	Small Talk	オリエンテーション いろいろな数値① 基本5文型	復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。
2回目	Human Relations	いろいろな数値② 文の種類	復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
3回目	Culture and Globalization	発音しづらい語句 基本文型	復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習: 教科書やプリント教材の分からな

			い単語等を調べておくこと。
4回目	Healthy Life	固有名詞（人名・地名など） 進行形	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
5回目	Future Careers	簡単な挨拶文 完了形	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
6回目	That Shirts Suits You!	提案文、勧誘文 助動詞① (can/may/must/should)	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
7回目	Taking a Trip	依頼文 助動詞② (could/might/would)	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
8回目	Do you Like Sports?	Yes/No 疑問文 受動態	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べてお

			くこと。
9 回目	Let's Do Something Fun!	wh 疑問文 不定詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
10 回目	Art Appreciation	否定・付加疑問文 動名詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
11 回目	Let's Eat Out!	カジュアルな表現 分詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
12 回目	A Career in International Business	フォーマルな表現 比較	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
13 回目	Science for the Future	意味のかたまり (チャンク) 関係代名詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。

14 回目	Technology and Modern Life	主張や理由を導くキーワード 話法	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
15 回目	Saving the Environment	名詞から話題をイメージする 特殊構文（強調・倒置・同格）	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。 参考）Target! – pre-intermediate, intermediate 金星堂
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50 – 18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして、積極的に取り組むこと。

講義科目名称：英語検定Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：English Proficiency Test Ⅲ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5thQ	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>目安として（G1）英検2級以上レベル、（G2）2級レベル、（G3）準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>このタームの終了時の目標： G1：TOEIC(CASEC) 700点 G2：TOEIC(CASEC) 500点 G3：TOEIC(CASEC) 400点 特に、上記の目標達成のために、以下の5項目で各レベルまでの達成を目指します。</p> <p>① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英文ができるようにする。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き</p>	<p>・定期試験 ・小課題 ・授業への参加・ 態度</p>	<p>70% 25% 5%</p>

	取れるようになる。		
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験 70%、小課題 15%、授業への参加・態度 5%の割合で総合評価する。 ・小課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	Let's Clean Up!	オリエンテーション 音の変化現象 文の種類	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
2 回目	Human Society	いろいろな数値 動詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
3 回目	Express yourself with Emoji!	発音しづらい音を含む、語句の聞き取り 動詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。

			語等を調べておくこと。
4 回目	Good Sleep, Good Health	挨拶文の聞き取り 助動詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
5 回目	Job Interview Success	提案文、勧誘文の聞き取り 名詞・冠詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
6 回目	Dress Your Own Way	依頼文の聞き取り 代名詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
7 回目	New Ways to Travel	絵や写真を頼りに聞き取る 形容詞・副詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
8 回目	Sports Anytime, Anywhere	疑問文の聞き取り 受動態	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこ

			と。
9 回目	How Do You Enjoy Music?	意見や主張を聞き取る 完了形	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
10 回目	Choose What Color to Paint	カジュアルな言い回しや表現 不定詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
11 回目	The Future of Food	フォーマルな言い回し表現 分詞・動名詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
12 回目	To Gain Experience in Business	チャンクを意識する 比較	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
13 回目	Science We Should Know	場面を把握する 関係詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。

14 回目	Apps That Change Your Life	話題を把握する 時制の一致	復習：学習した内容を ノートに整理しておく こと。 予習：教科書やプリン ト教材の分からない単 語等を調べておくこ と。
15 回目	If We Did Nothing for the Environment	要点を確実に聞き取る 仮定法	復習：学習した内容を ノートに整理しておく こと。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行 規則に定める科目区 分または事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に） 授業中に指示します。 参考） Target! – pre-intermediate, intermediate 金星堂
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究 室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個 人で予習復習を十分にして、積極的に取り組むこと。

講義科目名称：多読演習I（英語）	授業コード：
英文科目名称：Extensive Reading I (English)	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1・2	1年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、その他				

授業概要	<p>This course is based around an extensive reading program designed to develop students' reading fluency and expand their vocabulary knowledge through consistent study of English texts. Class time is devoted to reading books chosen by the students from a library of graded readers, and group discussion.</p> <p>多読演習のリーディングプログラムでは、英語の本を継続的に読むことで習慣化し、読解力を高め、語彙の知識を広げる。本演習では、①学生が各自のレベルにあった英語の本を週1時間+αで読むこと、②最も頻繁に使用される英語単語リストを勉強して、理解できる語彙を増やすこと、③英語の本の内容を理解し、レポートにまとめたりグループディスカッションで説明できるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	・ Reading Groups (グループワーク)	10%
専門的知識や技能	英語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。	・ リーディングプログラム ・ ブックレポート ・ 単語小テスト	・ 50% ・ 10% ・ 30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 ・ 本授業では、定期試験を実施しません。リーディングプログラム 50%、ブックレポート 10%、単語小テスト30%、Reading Groupグループワーク 10%の割合で評価します。 ・ 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomで載せます。 ・ 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：シラバス説明、オンライン図書館登録・説明、クラス別け	対面授業	予習：特になし 復習：リーディングする (4時間)
2回目	Vocab 1 - Core Prepositions リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強 (1時間) 復習：リーディングする (3時間)
3回目	Vocab 2 - Core Verbs リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強 (1時間) 復習：リーディングする (3時間)
4回目	Vocab 3 - Articles リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強 (1時間) 復習：リーディングする (3時間)
5回目	Reading Group 1 グループワーク 単語小テスト①、ブックログ提出	対面授業	予習：単語の勉強 (1時間) 復習：リーディングする (3時間)
6回目	Vocab 4 - Determiners リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強 (1時間) 復習：リーディングする (3時間)
7回目	Vocab 5 - Phrasal Verbs 1 リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強 (1時間) 復習：リーディングする (3時間)
8回目	Vocab 6 - Phrasal Verbs 2 リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強 (1時間) 復習：リーディングする (3時間)
9回目	Reading Group 2 グループワーク 単語小テスト②、ブックログ提出	対面授業	予習：単語の勉強 (1時間) 復習：リーディングする (3時間)
10回目	Vocab 7 - Conjunctions 1 リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強 (1時間) 復習：リーディングする (3時間)
11回目	Vocab 8 - Core Adverbs リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強 (1時間) 復習：リーディングする (3時間)
12回目	Vocab 9 - Adverbs 2 リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強 (1時間) 復習：リーディングする (3時間)
13回目	Reading Group 3 グループワーク ブックログ提出	対面授業	予習：単語の勉強 (1時間) 復習：リーディングする (3時間)
14回目	Vocab 10 - Vocab 1 ~ 9 復習 単語小テスト③	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強 (1時間) 復習：リーディングする (3時間)
15回目	ブックレポート提出	対面授業	予習：リーディングする (4時間)
16回目	(定期試験なし)		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書：XReading.com（インターネット上の教材を使います）
履修条件	特になし
履修上の注意	授業外にリーディングするときにもインターネット上の教材Xreadingを使用するので、インターネットに接続できるパソコン、タブレットまたは携帯が必要。
オフィスアワー	（1Q）火曜日の3～4 現目（研究室） （2Q）水・木曜日の2 現目（研究室）
備考・メッセージ	

講義科目名称:多読演習I	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q 2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	多く日本語で書かれた書籍の中に興味関心がある物を自由に読み進めることで、日本語の語彙や文化的知識を育成することを目的としている。読んだ内容を他人と共有したり、授業でプレゼンしたりする活動を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。	学習態度	10%
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	・日本の小説、絵本、昔話、新聞などの書籍から日本文学文化を知ろうとする。	・レポート	20%
課題解決能力	日本語で書かれた書籍を授業にプレゼンすることができる。	プレゼンテーション	30%
キャリアデザイン力	日本文学文化を知ることが、進学及び就職することができる。		
合計			100%

補足事項	
<p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験(40%)」、「プレゼンテーション(30%)」、「レポート(20%)」、「学習態度(10%)」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 多読 ・会話音読	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 音読の練習(0・5時間)

	・好きな本を選び、音読をする		
2回目	多読 ・会話音読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1時間)
3回目	多読 ・会話音読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1時間)
4回目	多読 ・会話音読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1時間)
5回目	プレゼンテーション ・好きな本を音読し、紹介する	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1時間)
6回目	多読 ・会話音読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1時間)
7回目	多読 ・会話音読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1時間)
8回目	多読 ・会話音読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1時間)
9回目	多読 ・会話音読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1時間)
10回目	プレゼンテーション ・好きな本を音読し、紹介する	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1時間)
11回目	多読 ・会話音読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1時間)
12回目	多読 ・会話音読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1時間)
13回目	多読 ・会話音読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1時間)
14回目	多読 ・会話音読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1時間)

15回目	プレゼンテーション ・好きな本を音読し、紹介する	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1 時間)
16回目	定期試験	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初級2A2」;留学生文庫
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称:多読演習II(英語)	授業コード:
英文科目名称: Extensive Reading II (English)	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4	1	1	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>This course follows either <i>Extensive Reading I</i> or <i>Extensive Reading III</i>. Students can continue the Extensive Reading Program portion of the course for an extra quarter. Classes are held entirely online with a flexible schedule. Student's time is spent reading books chosen from a library of graded readers.</p> <p>本授業は、多読演習 I または多読演習IIIを引き継ぐ多読リーディングプログラムであり、完全にオンラインで行う。本演習では①読める本のレベルをさらに上げること、②頻出語彙を実用レベルまで上げること为目标とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	英語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。	・リーディングプログラム	・100%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問はGoogle Classroomで受け付けます。 ・本授業は、完全にオンラインで行い、定期試験を実施しません。インターネット上の教材 XReading.comを利用するリーディングプログラム課題 100% で評価します。 ・課題の提出はGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomで載せます。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	Google Classroomにある「リーディング」アンケートの記入 リーディングプログラム	オンライン	予習: Google Classroomを見ておく(10分) 復習: リーディング (50分)
2回目	リーディングプログラム	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
3回目	リーディングプログラム	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
4回目	リーディングプログラム	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
5回目	リーディングプログラム ブックログ提出①	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
6回目	リーディングプログラム	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
7回目	リーディングプログラム	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
8回目	リーディングプログラム	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
9回目	リーディングプログラム	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
10回目	リーディングプログラム ブックログ提出②	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
11回目	リーディングプログラム	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
12回目	リーディングプログラム	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
13回目	リーディングプログラム	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
14回目	リーディングプログラム	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
15回目	リーディングプログラム ブックログ提出③	オンライン	予習: 特になし 復習: リーディング (1時間)
16回目	(定期試験なし)		

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書: XReading.com(インターネット上の教材を使います)
履修条件	「多読演習I(英語)」または「多読演習III(英語)」を履修したこと
履修上の注意	リーディングプログラムではインターネット上の教材Xreadingを使用するので、お家にはインターネットに接続できるパソコン、タブレットまたは携帯が必要。
オフィスアワー	(8Q)月曜日の3~4現目(研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：多読演習Ⅱ 中級	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	1単位	選択	演習
担当教員				
依藤実里				

授業概要	<p>本授業は、様々な内容・形式の日本語文章に触れ、読み方のコツを理解することで、多様な読み物に慣れることを第一の目標とする。活動①では、各自の興味関心に合わせて本を選び、自分のペースで読み進める。活動②では、全員統一のテーマとして、日本の地理に関する様々な文章を読んで、理解を深める。また、5回目の授業からは本の制作にも取り組む。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	クラスメイトに対し、親和的な態度で関わるができる。	・授業への参加・態度	10%
	目的意識を持ち、主体的に授業に参加することができる。	・授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	読んだ内容や自分の考えを短い日本語で書いたり、話したりできる。	・記録シート ・成果物	20% 40%
異文化知識・対応能力	文章の理解やクラスメイトとの交流を通じ、多様なテーマや考え方に興味を持つことができる。	・成果物	20%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験、ミニテストだけでなく、学生本人による学習記録も評価の対象とする。学習記録シートの書き方は、初回の授業で説明する。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。連絡方法は、初回のオリエンテーションで説明する。 	

・毎回、Google classroom を使用するのので、各自パソコンやスマートフォン等を持参すること。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	<p>●オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出欠確認、欠席連絡の仕方 ・ 授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・ 評価に関する説明 ・ 記録シートに関する説明 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】シラバスを読んでおく、Classroom に登録する。(30分)</p> <p>【復習】読みたい本を1冊選ぶ。(30分)</p>
2 回目	<p>活動① 多読 各自選んだ本を読み、記録シートに記入する</p> <p>活動② 日本の地理 1 ・ 縦書きと横書き</p>	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】指定された課題・配布プリントに取り組む(1時間)</p> <p>【復習】授業内容を記録シートにまとめる。(1時間)</p>
3 回目	<p>活動① 多読 各自選んだ本を読み、記録シートに記入する</p> <p>活動② 日本の地理 2 ・ 漫画の種類と読み進め方</p>	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】指定された課題・配布プリントに取り組む(1時間)</p> <p>【復習】授業内容を記録シートにまとめる。(1時間)</p>
4 回目	<p>活動① 多読 各自選んだ本を読み、記録シートに記入する</p> <p>活動② 日本の地理 3 ・ 漫画特有の表現方法(漫符・オノマトペ)</p>	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】指定された課題・配布プリントに取り組む(1時間)</p> <p>【復習】授業内容を記録シートにまとめる。(1時間)</p>
5 回目	<p>活動① 多読 各自選んだ本を読み、記録シートに記入する</p> <p>活動② 成果物作成 1</p>	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】指定された課題・配布プリントに取り組む(1時間)</p> <p>【復習】授業内容を記録シートにまとめる。(1時間)</p>
6 回目	<p>活動① 多読 各自選んだ本を読み、記録シートに記入する</p> <p>活動② 成果物作成 2</p>	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】指定された課題・配布プリントに取り組む(1時間)</p> <p>【復習】授業内容を記録シートにまとめる。(1時間)</p>

7回目	活動① 多読 各自選んだ本を読み、記録シートに記入する 活動② 成果物作成 3	対面授業 (オンライン等の対応可)	【【予習】指定された課題・配布プリントに取り組む(1時間) 【復習】授業内容を記録シートにまとめる。(1時間)
8回目	作成した本の鑑賞 ・テーマの説明 ・読み聞かせ ・相互評価	対面授業 (オンライン等の対応可)	【予習】指定された課題・配布プリントに取り組む(1時間) 【復習】授業内容を記録シートにまとめる。(1時間)

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	各種多読教材 『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』植木香・木下有希子・藤井美音子著
履修条件	目的意識を持って、授業に参加できること。
履修上の注意	予習ができていることを前提に授業をすすめるので、事前にしっかり準備しておくこと。 授業時間外にも積極的に様々な読み物に挑戦すること。
オフィスアワー	授業前後に対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称：多読Ⅱ 上	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	1	選択	演習
担当教員				
岩崎				

授業概要	<p>本講義は留学生1年生を対象として開講されるものであり、自己の興味関心がある日本語で書かれた書籍（小説、随筆、新聞、まんが、絵本など）を自由に読み進めることで、日本語の語彙や文化的知識を育成することを目的としている。1,2Qで学習した多読Ⅰを基に3Qでは、読んだ内容を相手に書いたり、話したりする読書活動を通して、読み取った内容を表現し、感動を共有する活動を行う。</p> <p>また活動の後半では、日本の文化コンテンツであるマンガの読み方やマンガ特有の漫画の理解の仕方を学び、4コマ漫画に挑戦する。多様な表現方法を学ぶ機会となる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	学びを共にするメンバーに対して、常に親和的な態度で関わる事ができ、感情に寄り沿うことができる	・ 授業への参加態度 ・ 作成物	20 10
専門的知識や技能	日本語で書かれた比較的身近な話題についての標準的な文章を読み、内容を理解することができる。 また、その内容に関して他者とコミュニケーションを図り意志を伝えることができる。	・ 活動レポート ・ 作成物	30 10
異文化知識・対応能力	日本語で書かれた書籍を通して得た文化的な違いを認識し、その疑問や思いを他者と共有し理解しようとする事ができる	・ 授業への参加態度 ・ 活動レポート	10 20
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・ 本講義では活動レポート50%、授業参加態度30%、成果物20%の割合で評価する ・ 本講義の活動レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・ 状況によって、オンライン授業になる場合もあるが、原則的には対面授業形式で実施する 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	ガイダンス 授業での連絡方法、活動レポートの作成、提出方法、評価方法等について知る 多読と取り組み活動について学ぶ	対面授業	予習：多読Ⅱの授業内容を読んでくる。Google classroomの登録を行う（1時間） 復習：図書館で1冊本を借りておく（1時間）
2回目	活動① 多読 読書活動① マンガの読み方 マンガの読み方の順序、ページの構成、台詞と心情の読み方等を学ぶ	対面授業	予習：配布プリントで未習語彙があれば調べておく（1時間） 復習：学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成（1時間）
3回目	活動② 多読 読書活動② マンガの読み方 マンガ特有の漫符の種類と意義、オノマトペを学習する	対面授業	予習：配布プリントで未習語彙があれば調べておく（1時間） 復習：学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成（1時間）
4回目	活動③ 多読 読書活動③ マンガの読み方 マンガに使われているフォントの活用とその意義について学ぶ	対面授業	予習：配布プリントで未習語彙があれば調べておく（1時間） 復習：学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成（1時間）
5回目	活動④ 多読 読書活動④ マンガを描いてみる 4コママンガの読み方の順序、ページの構成（起承転結）を学ぶ いくつか読んで、その手法を学ぶ	対面授業	予習：配布プリントで未習語彙があれば調べておく（1時間） 復習：学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成（1時間）
6回目	活動⑤ 多読 読書活動⑤ マンガを描いてみる 4コママンガの描き方の順序、ページの構成（起承転結）を考える。 テーマにそって描いてみる	対面授業	予習：配布プリントで未習語彙があれば調べておく（1時間） 復習：学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成（1時間）
7回目	活動⑥ 多読 読書活動⑥ マンガを描いてみる 4コママンガの描き方の順序、ページの構成（起承転結）を考える。 テーマにそって描いて、提出する	対面授業	予習：配布プリントで未習語彙があれば調べておく（1時間） 復習：学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成（1時間）
8回目	活動⑦ 多読 読書活動⑦ 皆で描いた4コマ漫画の鑑賞 お互いに評価する 受講アンケートの実施	対面授業	予習：配布プリントで未習語彙があれば調べておく（1時間） 復習：これまでの学習内容を総復習する（1時間）

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	配布プリント、学習記録ノート
履修条件	なし
履修上の注意	自分の実力のレベルに合わせた書籍を読むようにすること
オフィスアワー	前期： 木曜日2コマ目（11:00～12:00）研究室 後期： 火曜日1コマ目（9：30～10：30）研究室
備考・メッセージ	本講義では作品提出を課すため、休むことなく出席する事

講義科目名称：多読演習Ⅲ（英語）	授業コード：
英文科目名称：Extensive Reading III (English)	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3	1年	2	選択	演習
担当教員				
Steve Selby				

授業概要	<p>This course follows on from <i>Extensive Reading I</i>, continuing the extensive reading program. Students will further improve reading fluency and expand their vocabulary knowledge. Class time is devoted to reading books chosen by the students from a library of graded readers, and group discussion.</p> <p>本授業は、多読演習Ⅰを引き継ぐリーディングプログラムである。多読演習Ⅰで習慣化された英語の本の読書を継続することにより、読解力を高め、語彙の知識を広げる。本演習では①読める本のレベルを上げること、②最も頻繁に使用される英語単語リストを勉強して、理解できる語彙を増やすこと、③英語の本の内容を熟考し、レポートにまとめたり、グループディスカッションで自らの感想や意見を伝えることができることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	・ Reading Groups (グループワーク)	10%
専門的知識や技能	英語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。	・ リーディングプログラム ・ ブックレポート ・ 単語小テスト	・ 50% ・ 10% ・ 30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 ・ 本授業では、定期試験を実施しません。リーディングプログラム 50%、ブックレポート 10%、単語小テスト30%、Reading Groupグループワーク 10%の割合で評価します。 ・ 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomで載せます。 ・ 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：シラバス説明、オンライン図書館登録・説明、クラス別け	対面授業	予習：特になし 復習：リーディングする（4時間）
2回目	Vocab 11 - Review 2 リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強（1時間） 復習：リーディングする（3時間）
3回目	Vocab 12 - Prepositions 2 リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強（1時間） 復習：リーディングする（3時間）
4回目	Vocab 13 - Prepositions 3 リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強（1時間） 復習：リーディングする（3時間）
5回目	Reading Group 1 グループワーク 単語小テスト①、ブックログ提出	対面授業	予習：単語の勉強（1時間） 復習：リーディングする（3時間）
6回目	Vocab 14 - Prepositions 4 リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強（1時間） 復習：リーディングする（3時間）
7回目	Vocab 15 - Conjunctions 2 リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強（1時間） 復習：リーディングする（3時間）
8回目	Vocab 16 - Adverbs 3 リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強（1時間） 復習：リーディングする（3時間）
9回目	Reading Group 2 グループワーク 単語小テスト②、ブックログ提出	対面授業	予習：単語の勉強（1時間） 復習：リーディングする（3時間）
10回目	Vocab 17 - Adverbs 4 リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強（1時間） 復習：リーディングする（3時間）
11回目	Vocab 18 - Word Families リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強（1時間） 復習：リーディングする（3時間）
12回目	Vocab 19 - Prefixes & Suffixes リーディングプログラム	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強（1時間） 復習：リーディングする（3時間）
13回目	Reading Group 3 グループワーク ブックログ提出	対面授業	予習：単語の勉強（1時間） 復習：リーディングする（3時間）
14回目	Vocab 20 - Vocab 11～19 復習 単語小テスト③	対面授業 (オンライン等で対応可)	予習：単語の勉強（1時間） 復習：リーディングする（3時間）
15回目	ブックレポート提出	対面授業	予習：リーディングする（4時間）
16回目	（定期試験なし）		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書：XReading.com（インターネット上の教材を使います）
履修条件	特になし
履修上の注意	授業外にリーディングするときにもインターネット上の教材Xreadingを使用するので、インターネットに接続できるパソコン、タブレットまたは携帯が必要。
オフィスアワー	（7Q）月曜日の3～4現目（シライシローズの研究室）
備考・メッセージ	

講義科目名称:多読演習Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	多く日本語で書かれた書籍の中に興味関心がある物を自由に読み進めることで、日本語の語彙や文化的知識を育成することを目的としている。読んだ内容を他人と共有したり、授業でプレゼンしたりする活動を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。	学習態度	10%
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	・日本の小説、絵本、昔話、新聞などの書籍から日本文学文化を知ろうとする。	・レポート	20%
課題解決能力	日本語で書かれた書籍を授業にプレゼンすることができる。	プレゼンテーション	30%
キャリアデザイン力	日本文学文化を知ることが、進学及び就職することができる。		
合計			100%

補足事項	
<p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験(40%)」、「プレゼンテーション(30%)」、「レポート(20%)」、「学習態度(10%)」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	インTRODクシヨン ・授業内容を説明すること。 多読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 音読の練習(0・5時間)
2回目	多読	対面授業	予習: Classroomで指示され

	・好きな本を選び、音読をする	オンライン等の 対応可	たことを行う(1時間) 復習:読書活動のレポート(1 時間)
3回目	プレゼンテーション ・好きな本を音読し、紹介する	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習:読書活動のレポート(1 時間)
4回目	流行語の紹介① 多読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習:読書活動のレポート(1 時間)
5回目	多読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習:読書活動のレポート(1 時間)
6回目	プレゼンテーション ・好きな本を音読し、紹介する	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習:読書活動のレポート(1 時間)
7回目	流行語の紹介② 多読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習:読書活動のレポート(1 時間)
8回目	多読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習:読書活動のレポート(1 時間)
9回目	プレゼンテーション ・好きな本を音読し、紹介する	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習:読書活動のレポート(1 時間)
10回目	流行語の紹介③ 多読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習:読書活動のレポート(1 時間)
11回目	多読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習:読書活動のレポート(1 時間)
12回目	プレゼンテーション ・好きな本を音読し、紹介する	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習:読書活動のレポート(1 時間)
13回目	流行語の紹介④ 多読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習:読書活動のレポート(1 時間)
14回目	多読 ・好きな本を選び、音読をする	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習:読書活動のレポート(1

			時間)
15回目	プレゼンテーション ・好きな本を音読し、紹介する	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示され たことを行う(1時間) 復習: 読書活動のレポート(1 時間)
16回目	定期試験	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	留学生文庫、短大図書館の本
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：英語ライティング&グラマーI	授業コード：
英文科目名称：English Writing & Grammar I	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3	1年	2	選択	講義
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>English Writing & Grammar I focuses on reviewing and reinforcing core English grammar structures and frequently used expressions so that students can learn to express their thoughts and opinions clearly and accurately in written English.</p> <p>英語ライティング&グラマーIでは、意思を英語の文章で伝達できるように、重要な英文法と表現を修得する。主にライティング力に焦点を当てた授業を行う。本講義では、①意図や意見を正確に明確な文章で書くことができる、②ネイティブ英語でよく使用される便利な表現を学ぶ、③様々な目的・場面に合わせて文章を書くことができるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	英語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った文章を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・40% ・60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 ・ 本授業では、定期試験 60%、小テスト 40%の割合で評価します。 ・ 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomで載せます。 ・ 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業の進め方、評価方法の説明、教科書の使い方。和英翻訳の基本（主語を入れる）	対面授業	予習：特になし 復習：翻訳基本のポイント

			をノートにまとめる、指定された課題をする (4時間)
2回目	Unit 1~3: Present simple vs. Present continuous	対面授業	予習: Unit 1~3の説明、例文を見ておく (1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する (3時間)
3回目	Unit 4~6: Past simple vs. Past continuous	対面授業	予習: Unit 4~6の説明、例文を見ておく (1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する (3時間)
4回目	Unit 69~73: Articles (a, the, など)	対面授業	予習: Unit 69~73の説明、例文を見ておく (1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する (3時間)
5回目	Unit 64~78: Articles (a, the, など)	対面授業	予習: Unit 74~78の説明、例文を見ておく (1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する (3時間)
6回目	小テスト①	対面授業	予習: 今までのUnitを復習する (3時間) 復習: 小テストのフィードバックを見ておく (1時間)
7回目	Unit 7~10: Present perfect vs. Present perfect continuous	対面授業	予習: Unit 7~10の説明、例文を見ておく (1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する (3時間)
8回目	Unit 11~12: How long...? +ライティングの練習	対面授業	予習: Unit 11~12の説明、例文を見ておく (1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する (3時間)
9回目	Unit 13~14: Present perfect & past +ライティングの練習	対面授業	予習: Unit 13~14の説明、例文を見ておく (1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する (3時間)
10回目	Unit 15~16: Past perfect & Past perfect continuous +ライティングの練習	対面授業	予習: Unit 15~16の説明、例文を見ておく (1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する (3時間)
11回目	小テスト②	対面授業	予習: Unit 7~16を復習する (3時間) 復習: 小テストのフィードバックを見ておく (1時間)
12回目	Unit 18~20: 'used to' & 'going to' +ライティングの練習	対面授業	予習: Unit 18~20の説明、例文を見ておく (1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する (3時間)
13回目	Unit 25: 'if' & 'when' +ライティングの練習	対面授業	予習: Unit 25の説明、例文を見ておく (1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する (3時間)

14回目	Unit 26: 'can', 'could', 'be able to' +ライティングの練習	対面授業	予習：Unit 1~3の説明、例文を見ておく（1時間） 復習：指定された課題を仕上げ、復習する（3時間）
15回目	Unit 1~26・69~78の復習	対面授業	予習：Unit 18~20, 25, 26を復習する（1時間） 復習：今までのUnitを復習する（3時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書：English Grammar in Use, Cambridge (クラス担当教員から注文する)
履修条件	特になし
履修上の注意	
オフィスアワー	(3Q) 月曜日の3~4 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語ライティング&グラマー I	授業コード：
英文科目名称：English Writing and Grammar I	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5thQ	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	毎回、異なる題材に沿って、英語で文章を書き、自分の意見を的確に表現できるようにする。また、TOEICの学習をベースに、実践的に英語のグラマーを学習する。授業の中で、語彙数を増やし、リスニング力を高め、文法理解力を高める。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	①語彙数を増やす。 ②苦手とする英文法を正しく理解する。 ③正確に英語の音声を聞きとる。 ④英文の内容を正しく理解できる。 ⑤日常で使う簡単な英語の文章を書くことができる。	・定期試験 ・小課題 ・授業への参加・態度	70% 25% 5%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験 70%、小課題 15%、授業への参加・態度 5%の割合で総合評価する。
- ・小課題においては、ラインティングの課題が含まれます。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	Introduction & 英語で自己紹介	授業の進め方、評価方法の説明 レベル別の 3 クラスが全体で初回を行う。 「自己紹介」を英語で書く。	学習課題 復習：ラインティング課題と発表の練習 予習：辞書の準備
2 回目	Unit 1: Going Overseas	Grammar Points: Sentence Patterns (5 文型) Writing Task	学習課題 復習：自己紹介で使う表現を復習 予習：事項珠海の内容を考える
3 回目	Unit2: Going Shopping	Grammar Points: Nouns and Modifiers (名詞とその修飾句) Writing Task	学習課題 復習：この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
4 回目	Unit 3: Talking about Food and Health	Grammar Points: Adjectives and Adverbs (形容詞と副詞) Writing Task	学習課題 復習：この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
5 回目	Unit 4: Enjoying Sports and Entertainment	Grammar Points: Tricky Prepositions (間違いやすい前置詞) Writing Tas	学習課題 復習：この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからな

			いところ明らかににする。
6 回目	Review Test	レビューテスト	学習課題 復習: Unit 1-4 を復習 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
7 回目	Unit 5: Preserving Nature	Grammar Points: Auxiliary Verbs (助動詞) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
8 回目	Unit 6: Giving Directions	Grammar Points: Causative Verbs and Verbs of Perception (使役動詞と知覚動詞) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
9 回目	Unit 7: Going Job Hunting	Grammar Points: Conjunctions (小さい接続詞と大きな接続 詞) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
10 回目	Unit 8: Working in the Office	Grammar Points: Relative Clauses (関係詞) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。

11 回目	Review Test 2	レビューテスト	学習課題 復習: Unit 5-8 を復習 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
12 回目	Unit 9: Paying the Bills	Grammar Points: Tense (時制) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
13 回目	Unit 10: Advertising a New Product	Grammar Points: Quantifiers and the Correct Verbs (数量詞と動詞の関係) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
14 回目	Unit 11: Renting an Apartment	Grammar Points: Conditional Sentences (条件文・仮定法) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
15 回目	Unit 12: Renting an Apartment	Grammar Points: Verb+ing vs. Verb+to+Stem Verb (~ing につく動詞・to につく動詞) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
------------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考) 「TOEIC Test : On Target book 1 - 南雲堂」、プリント教材、授業の中で指示する。
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日 (14:50 - 18:00) *その他、空きコマ (研究室ドアに掲示) も可
備考・メッセージ	英語ライティングに関して、個人個人のレベルは大きく異なる。様々な日常と関連した問題に取り組み、自分のレベル、弱点を早く発見し、それぞれにあった問題に取り組み弱みを克服することが肝要である。また、様々な日常の場面や、就職活動で役立つライティングスキルをしっかりと学んで欲しい。実際に英語を使う場面に応じた実践的な内容でもある。英語力の向上に期待したい。

講義科目名称: 英語ライティング & グラマーII	授業コード:
英文科目名称: English Writing & Grammar II	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8	2年	2	選択	講義
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>In English Writing & Grammar II awareness of important grammar structures and frequently used expressions is expanded on, and students study various different writing styles used in everyday life.</p> <p>英語ライティング & グラマーIIでは、様々な場面・目的に意思を英作文で伝達できるように、英文法と表現を修得して、英語の文体を勉強する。主にライティング力に焦点を当てた授業を行う。本講義では、①自らの意思を正確に英作文で伝達できる、②相手の意図や意見についても、明確な文章で説明ができる、③英語で、メールやウェブでやり取りができる、④様々な目的・場面・人々に合わせて英作文ができるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	英語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った文章を書くことができる。	・小テスト ・定期試験	・40% ・60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 ・本授業では、定期試験 60%、小テスト 40%の割合で評価します。 ・課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroom で載せませす。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業の進め方、評価方法の説明、教科書の使い方。和英翻訳の基本(現在形の各種)	対面授業	予習: 特になし 復習: 翻訳基本のポイントを

			ノートにまとめる、指定された課題をする(4時間)
2回目	Unit 69~81: Articles	対面授業	予習: Unit 69~81の説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する(3時間)
3回目	Unit 38~41: IF & WISH	対面授業	予習: Unit 38~39の説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する(3時間)
4回目	Unit 38~41: IF & WISH, + reading & writing 練習	対面授業	予習: Unit 40~41の説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する(3時間)
5回目	Unit 42~46: Passive speech	対面授業	予習: Unit 42~44の説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する(3時間)
6回目	Unit 42~46: Passive speech, + reading & writing 練習	対面授業	予習: Unit 45~46の説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する(3時間)
7回目	小テスト①	対面授業	予習: 今までのUnitを復習する(3時間) 復習: 小テストのフィードバックを見ておく(1時間)
8回目	Unit 98~101: Adjectives & adverbs	対面授業	予習: Unit 98~99の説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する(3時間)
9回目	Unit 98~101: Adjectives & adverbs, + reading & writing 練習	対面授業	予習: Unit 100~101の説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する(3時間)
10回目	Unit 121~127: Prepositions, + reading & writing 練習	対面授業	予習: Unit 121~127の説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する(3時間)
11回目	Unit 132~136: Prepositions, + reading & writing 練習	対面授業	予習: Unit 132~136の説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 指定された課題を仕上げ、復習する(3時間)
12回目	小テスト②	対面授業	予習: 8回目~11回目のUnitを復習する(3時間) 復習: 小テストのフィードバックを見ておく(1時間)
13回目	Reading & Writing 練習	対面授業	予習: リーディング課題を見ておく(1時間) 復習: 訂正されたライティング

			課題を書き直してみる(3時間)
14回目	Reading & Writing 練習	対面授業	予習:リーディング課題をを見ておく(1時間) 復習:訂正されたライティング課題を書き直してみる(3時間)
15回目	今までのUnitの復習	対面授業	予習:今までのUnitを復習する(2時間) 復習:ライティング問題の準備をする(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書:English Grammar in Use, Cambridge (クラス担当教員から注文する)
履修条件	特になし
履修上の注意	
オフィスアワー	(7Q)月曜日の3~4現目(研究室) (8Q)月曜日の3~4現目(研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語ライティング&グラマーⅡ	授業コード：
英文科目名称：English Writing and Grammar Ⅱ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5thQ	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	毎回、異なる題材に沿って、英語で文章を書き、自分の意見を的確に表現できるようにする。また、TOEICの学習をベースに、実践的に英語のグラマーを学習する。授業の中で、語彙数を増やし、リスニング力を高め、文法理解力を高める。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	①語彙数を増やす。 ②苦手とする英文法を正しく理解する。 ③正確に英語の音声を聞きとる。 ④英文の内容を正しく理解できる。 ⑤日常で使う簡単な英語の文章を書くことができる。	・定期試験 ・小課題 ・授業への参加・態度	70% 25% 5%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験 70%、小課題 15%、授業への参加・態度 5%の割合で総合評価する。
- ・小課題においては、ラインティングの課題が含まれます。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	Introduction & 英語で自己紹介	授業の進め方、評価方法の説明 レベル別の 3 クラスが全体で初回を行う。 「自己紹介」を英語で書いてみよう。内容の添削、発表練習	学習課題 復習：ラインティング課題と発表の練習 予習：辞書の準備
2 回目	Unit 1: Airport Security	Grammar Points: Word Forms 語源に関する問題 Writing Task	学習課題 復習：自己紹介で使う表現を復習 予習：事項珠海の内容を考える
3 回目	Unit2: Weekend Activities	Grammar Points: Tricky Prepositions and Phrasal Verbs (1) 前置詞 Writing Task	学習課題 復習：この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
4 回目	Unit 3: Ecology	Grammar Points: Essential Comparatives 大切な比較表現のいろいろ Writing Task	学習課題 復習：この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
5 回目	Unit 4: Housing and Property	Grammar Points: Action Verbs and State Verbs 行動の動詞と状態の動詞 Writing Task	学習課題 復習：この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの

			語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
6 回目	Review Test	レビューテスト	学習課題 復習:Unit 1-4 を復習 予習:次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
7 回目	Unit 5: Health and Welfare	Grammar Points: Articles and Quantifiers 冠詞と数量詞 Writing Task	学習課題 復習:この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習:次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
8 回目	Unit 6: Communications	Grammar Points: Participles 分詞構文~ing と~ed Writing Task	学習課題 復習:この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習:次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
9 回目	Unit 7: Careers and Employment	Grammar Points: Future Tense 未来形のさまざまな表現 Writing Task	学習課題 復習:この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習:次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
10 回目	Unit 8: Office Procedures and Protocol	Grammar Points: Subjet-Verb Agreement 主語と動詞の関係 Writing Task	学習課題 復習:この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習:次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。

			する。
11 回目	Review Test 2	レビューテスト	学習課題 復習: Unit 5-8 を復習 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
12 回目	Current Events and Public Affairs	Grammar Points: To + Verb versus Verb + ing to をとる動詞と ing をとる動詞 Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
13 回目	Marketing and Sales Campaigns	Grammar Points: Past Modals with 'have + -ed' 助動詞をとまなう過去完了形 Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
14 回目	Complaints and Troubleshooting	Grammar Points: Conditional Sentences 第2、第3条件文 Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
15 回目	Innovations and Technology	Grammar Points: Phrasal Verbs (2) 3語からなる熟語動詞 Writing Task Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
------------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考) 「TOEIC Test : On Target book 2 - 南雲堂」、プリント教材、授業の中で指示する。
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日 (14:50 - 18:00) *その他、空きコマ (研究室ドアに掲示) も可
備考・メッセージ	資英語ライティングに関して、個人個人のレベルは大きく異なる。様々な日常と関連した問題に取り組み、自分のレベル、弱点を早く発見し、それぞれにあった問題に取り組み弱みを克服することが肝要である。また、様々な日常の場面や、就職活動で役立つライティングスキルをしっかりと学んで欲しい。実際に英語を使う場面に応じた実践的な内容でもある。英語力の向上に期待したい。

講義科目名称：英語演習Ⅰ	授業コード：
英文科目名称：General EnglishⅠ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q&6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	この授業では、リスニングを中心課題に捉えたニュースの視聴覚教材を使う。ニュースは、NHK 海外向け放送の NEWSLINE を使用し、現代日本の主な出来事や経済、文化、科学の最近の動向などが英語で書かれている。単語やフレーズの理解、英作文、英文読解、ディクテーションなどを通して、効果的に4技能を伸ばす。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・このタームの終了時の目標レベル：TOEIC 600-700点とする。 ① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 ② Grammar：苦手とする文法を理解することができる。 ③ Composition：基本的な英語での作文ができる。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードを高めることができる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小課題 ・授業への参加・態度 	<ul style="list-style-type: none"> 70% 20% 10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			

合計	100%
補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験 40%、小課題 40%、授業への参加・態度 20%の割合で総合評価する。 ・小課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroom も活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 ・人前で英語を話すことに慣れるように、毎回数名（ローテーションで、1 分間）、英語で自由に話してもらいます。内容は、身近な出来事、みんなに伝えたいこと、気に入っている英文の朗読、英語の歌など、自由です。 ・毎回、「授業のふりかえり&学習シート」に記入してもらい、学びの確認をおこないます。 	

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	イントロダクション：授業の進め方 Unit 1 Making Waves with a Magical Instrument 不屈のテルミン奏者	対面授業	予習：次のユニットの問題（英作文、ディクテーション）を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。（2 時間） 復習：授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する（2 時間）
2 回目	Unit 2 Backstage Tour with Augmented Reality Stars AR アイドルの裏側に迫る	対面授業	予習：次のユニットの問題（英作文、ディクテーション）を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。（2 時間） 復習：授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する（2 時間）
3 回目	Unit 3 Drinking to Eat 現代人の食事 — 「飲む」おにぎり	対面授業	予習：次のユニットの問題（英作文、ディクテーション）を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。（2 時間） 復習：授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する（2 時間）
4 回目	Unit 4 Next Generation Mobility	対面授業	予習：次のユニットの問題（英作

	衣料品ロス — 名前を変えて		文、ディクテーション)を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
5回目	Unit 5 Eco-friendly Fashion Statement 衣料品ロス — 名前を変えて	対面授業	予習:次のユニットの問題(英作文、ディクテーション)を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
6回目	Unit 6 Building a Bridge to Share a Son's Dream 日韓の架け橋になりたい	対面授業	予習:次のユニットの問題(英作文、ディクテーション)を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
7回目	Unit 7 Taking Aim シュートの達人 — スリーポイントおじさん	対面授業	予習:次のユニットの問題(英作文、ディクテーション)を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
8回目	Boccia Boom Revitalizing Japanese Companies 企業に広がるボッチャ競技	対面授業	予習:次のユニットの問題(英作文、ディクテーション)を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるま

			で、繰り返し音読する（2時間）
9回目	Rising Profile 人気のインスタ — 「東北女子」	対面授業	予習：次のユニットの問題（英作文、ディクテーション）を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。（2時間） 復習：授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する（2時間）
10回目	Unit 10 All Blacks Cause City ot Rethink Ink ラグビーが繋がリスペクト	対面授業	予習：次のユニットの問題（英作文、ディクテーション）を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。（2時間） 復習：授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する（2時間）
11回目	Unit 11 Man-made Threat to Japanese Deer 鹿を守れ！プラごみの脅威	対面授業	予習：次のユニットの問題（英作文、ディクテーション）を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。（2時間） 復習：授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する（2時間）
12回目	Unit 12 Home Appliance Maker Leads Comeback 家電メーカー — 海外の巻き返しを図れ！	対面授業	予習：次のユニットの問題（英作文、ディクテーション）を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。（2時間） 復習：授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する（2時間）
13回目	Unit 13 Hospitals Breaking Down Language Barrier 拡がる医療通訳	対面授業	予習：次のユニットの問題（英作文、ディクテーション）を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。（2時間） 復習：授業で間違ったところを復

			習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する（2時間）
14 回目	Unit 14 A New View of Hokusai 知られざる北斎の魅力	対面授業	予習：次のユニットの問題（英作文、ディクテーション）を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。（2時間） 復習：授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する（2時間）
15 回目	Unit 15 Lighting UP the Nightlife 夜のエンタメ — 歴史ツアー	対面授業	予習： 復習：復習：Unit 1-15 の総復習を行い定期試験の準備を行う（4時間）
16 回目	定期試験		試験範囲は、授業中に指示

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「NHK NEWSLINE 4」 KINSEIDO * 「でる順パス単 英検 2 級/準 1 級」、旺文社
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして、積極的に取り組むこと。

講義科目名称：英語演習 II	授業コード：
英文科目名称：General English II	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	英語演習 I で学習した内容をベースに、さらに上のレベルの英語学習を行う。自分の弱点を理解し、効果的に 4 技能を伸ばす。特に、語彙数を増やし、英語独特の言い回し、イディオムなども理解する。具体的には、アメリカ ABC 放送のテレビ番組で取り上げられた記事を映像を通し学習し、総合的な英語力を高める。定着をはかるために、毎回小テストを行います。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各レベルの英文を正しく理解できる（読解）。 ・各レベルの英語リスニングを正しく理解できる（リスニング）。 ・英語の文法を正しく理解できる（文法）。 ・日本語を英語に正しく翻訳できる。 ・学んだ英語を使い、特定の話題について英語で会話ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・授業中の課題 ・授業参加度 	<p style="text-align: right;">70%</p> <p style="text-align: right;">20%</p> <p style="text-align: right;">10%</p>
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

最終の「筆記試験」(70%)と「授業中の課題と授業参加度」(30%)で総合的に評価する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	Sister Jean: Basketball Team's Secret Weapon	記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
2回目	Blood Testing: Charged with Massive Fraud	復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
3回目	Millionaire Millennial	復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
4回目	Fighting Robocalls	復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
5回目	The Blue World	復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
6回目	Moment of Impact	復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
7回目	Father's New Hand	復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション →	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ

		記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
8回目	Trump's Weapon Ban?	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
9回目	American Men's Bobsledding Team	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
10回目	Made in America: Recycling Discar ded Water Bottles	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
11回目	The Children of Syria	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
12回目	Honoring Martin Luther King Jr.	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
13回目	Inside the Drug Cartel	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
14回目	Triggering a Trad e War?	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。

15 回目	Data Grab: Elections and Facebook	復習小テスト →記事背景理解 →語彙理解 →本文ディクテーション →記事内容理解 →(応用)会話文ディクテーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
16 回目	定期試験	まとめの評価	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。 参考）ABC World News Tonight 金星堂
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	英語学習は、根気よく、継続が必要です。毎回の予習・復習を必ずやるように習慣付けること。

講義科目名称：英語演習Ⅲ（アクティブラーニング）	授業コード：
英文科目名称：English III (Active Learning)	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8	2	1	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>This course focuses on teaching students the skills they need for self-study and improving their English beyond the classroom. Students may choose their own areas of English to focus on, while learning the study methods, techniques and habits required to take their English ability to the next level.</p> <p>アクティブラーニングでは、自学自習に必要なスキルを教え、教室外での英語力向上を目指した授業を行う。本演習は、①学生各自の英語の苦手な分野或いは勉強したい分野を選択し上達させること、②英語力を次のレベルに引き上げるために必要な学習方法、スキルを学び、日常的に使えるようになること、③オンラインツールやリソースを利用し、英語に触れる機会を増やし英語の世界との関わりを広げ深めることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	英語で、比較的身近な話題について必要な語彙を用いて筋の通った文章を書くことができる。関心のある話題について明確で情報を伝えることができる。	・プレゼンテーション ・グループディスカッション	・20% ・20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案することができ、やるべきことを積極的に取り組むことができる。	・レポート ・プロジェクト日記	・10% ・50%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 ・ 本授業では、定期試験を実施しません。自主学習プロジェクト日記 50%、レポート 10%、プレゼンテーション 20%、グループディスカッション 20%の割合で評価します。 ・ 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomで載せます。 ・ 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：シラバス、授業の進み方を説明する。言語勉強方法を要約し、様々な言語演習の違い、長所、短所を説明する。特別学習で勉強したい英語の調査をする。	対面授業	予習：特になし 復習：勉強方法をノートにまとめ、使えそうな方法を考えておく（1時間）
2回目	自主学習プロジェクトSTART：向上したいスキルを選び、勉強方法と資料を調べ、計画を立てる。	対面授業	予習：勉強方法の復習（30分） 復習：プロジェクト1～10に必要な資料を調べる（30分）
3回目	自主学習プロジェクト時間1 特別学習①（※勉強したい英語調査に合わせた特別講義を行う）	対面授業	予習：次回の特別学習の資料を見ておく（30分） 復習：自主学習プロジェクト時間2（30分）
4回目	自主学習プロジェクト時間3 特別学習②（※勉強したい英語調査に合わせた特別講義を行う）	対面授業	予習：次回の特別学習の資料を見ておく（30分） 復習：自主学習プロジェクト時間4（30分）
5回目	自主学習プロジェクト時間5 特別学習③（※勉強したい英語調査に合わせた特別講義を行う）	対面授業	予習：次回の特別学習の資料を見ておく（30分） 復習：自主学習プロジェクト時間6（30分）
6回目	自主学習プロジェクト時間7 特別学習④（※勉強したい英語調査に合わせた特別講義を行う）	対面授業	予習：次回の特別学習の資料を見ておく（30分） 復習：自主学習プロジェクト時間8（30分）
7回目	自主学習プロジェクト時間9 特別学習⑤（※勉強したい英語調査に合わせた特別講義を行う）	対面授業	予習：次回の特別学習の資料を見ておく（30分） 復習：自主学習プロジェクト時間10（30分）
8回目	自主学習プロジェクト1～10を振り返り、成果と感想についてのレポートを書く。プロジェクト日記を提出する。 プロジェクト11～20のためあらためて計画を立てる（勉強方法の改善、他のスキルの向上などを組み入れる）	対面授業	予習：プロジェクト1～10の日記をまとめる（30分） 復習：プロジェクト11～20に必要な資料を調べる（30分）
9回目	自主学習プロジェクト時間11 特別学習⑥（※勉強したい英語調査に合わせた特別講義を行う）	対面授業	予習：次回の特別学習の資料を見ておく（30分） 復習：自主学習プロジェクト時間12（30分）
10回目	自主学習プロジェクト時間13 特別学習⑦（※勉強したい英語調査に合わせた特別講義を行う）	対面授業	予習：次回の特別学習の資料を見ておく（30分） 復習：自主学習プロジェクト時間14（30分）
11回目	自主学習プロジェクト時間15 特別学習⑧（※勉強したい英語調査に合わせた特別講義を行う）	対面授業	予習：次回の特別学習の資料を見ておく（30分） 復習：自主学習プロジェクト時間16（30分）
12回目	自主学習プロジェクト時間17 特別学習⑨（※勉強したい英語調査に合わせた特別講義を行う）	対面授業	予習：次回の特別学習の資料を見ておく（30分） 復習：自主学習プロジェクト

			時間18 (30分)
13回目	自主学習プロジェクト時間19 特別学習⑩ (※勉強したい英語調査に合わせた特別講義を行う)	対面授業	予習：次回の特別学習の資料を見ておく (30分) 復習：自主学習プロジェクト時間20 (30分)
14回目	自主学習プロジェクト1~20を振り返り、成果と感想についてのプレゼンテーションを作成する。	対面授業	予習：プロジェクト1~20の日記をまとめる (30分) 復習：プレゼンの資料を完成してClassroomで提出する (30分)
15回目	自主学習プロジェクトプレゼンテーションの発表。プロジェクト日記を提出する。	対面授業	予習：プレゼン発表の準備と練習をする (1時間)
16回目	(定期試験なし)		

科目 (教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし (プリント教材は授業中で指定する)
履修条件	特になし
履修上の注意	ウェブやオンラインの資料を利用することが多いので、可能であればノートパソコンやタブレットを授業に持参してください。
オフィスアワー	(7Q) 月曜日の3~4 現目 (研究室) (8Q) 月曜日の3~4 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：中国語 I	授業コード：32142
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	中国語の基礎であるピンインを習得し、日常会話が必要となるリスニングや書き、読み、伝えることができる
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	日常会話を中国語で聞く、伝えるようになる。	授業参加	10%
確かな専門的知識や技能	・正確な発音ができる。 ・学習した文法や単語を使って、中国語で、話す、聴くことができる。	定期テスト	60%
コミュニケーション能力	様々な場面において、相手と中国語で、簡単なコミュニケーションができる。	グループディスカッションへの参加	10%
課題解決能力	・簡単な文を書くことができる。 ・課題に取り組むことができる。	小テスト	10%
主体的に学ぶ力	予習と復習をすることによって、中国語が上達できる。	課題や宿題	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。 ・予習、復習を必ずする。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1 中国語についての紹介 ピンイン、声調	面接授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5時間) 予習：次回の学習内容(配布プリント)を通すこと

			(0.5時間)
2回目	母音(単母音、二重母音、三重母音、鼻母音) 子音 声調変化 基本的な挨拶表現	面接授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5時間) 予習:第一課を読んでおくこと(0.5時間)
3回目	第一課 知り合いになる 本文 文型 ① 名前をいう・尋ねる ② 話しの場面や流れを受ける “呢”疑問文	面接授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5時間) 予習:第二課を読む練習し、分からない単語などを調べておくこと(0.5時間)
4回目	第二課 何者であるかを言う・尋ねる 本文 文型 ① 「AはBである」と説明、判断する“A是B”文型(1) ② 「～も」を表す副詞“也” ③ 中国語の付き合い方 挨拶表現	面接授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5時間) 予習:第三課を読む練習し、分からない単語などを調べておくこと(0.5時間)
5回目	第三課 人や人物を紹介する 本文 文型 ① 指示の代名詞 ② 知人・友人・家族を紹介するために:「AのB」を表す“A-B” ③ 「AはBである」と説明、判断する“A是B”文型(2)	面接授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5時間) 予習:第四課を読む練習し、分からない単語などを調べておくこと(0.5時間)
6回目	第四課 出身地を言う・尋ねる 本文 文型 ① 場所の代名詞 ② 「AはBにある/いる」ことを表す“A在B”文型 ③ “吗”疑問文、疑問文、“吧”疑問詞 疑問文、肯定否定疑問文	面接授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5時間) 予習:第五課を読む練習し、分からない単語などを調べておくこと(0.5時間)
7回目	第五課 家族のことを言う・尋ねる 本文 文型 ① 「Aに(は)Bがある/いる」ことを表す“A有B”文型 i ② 「Aに(は)Bがある/いる」ことを表す“A有B”文型 ii	面接授業	復習:第六課を読む練習し、分からない単語などを調べておくこと(0.5時間) 予習:次回、中間テストを行うので、今まで授業内容を復習する(時間)

	③ ものを数えるために：量詞（助数詞）		
8回目	中間テスト	面接授業	復習：中間テストで分からなかった内容をノートに整理しておくこと（0.5時間） 予習：第六課の会話文を暗記すること（0.5時間）
9回目	第六課 身分や職業について「どういうことをしているのか」言う・尋ねる 本文 文型 ① どういうNを“V+什么N” ② 名詞を直接修飾できる名詞 中国の文化について 中国の若者の仕事事情について	面接授業	予習：第七課を読む練習し、分からない単語などを調べておくこと（0.5時間） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（0.5時間）
10回目	第七課 通勤・通学、帰省などの交通手段を言う・尋ねる 本文 文型 ① 動詞（句）を2個以上使う連動文 ② あいさつに使う連動文 中国の文化 中国の交通手段について	面接授業	予習：第八課を読む練習し、分からない単語などを調べておくこと（0.5時間） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（0.5時間）
11回目	第八課 身分や職業について「どこで何をしているか」言う・尋ねる 本文 文型 ① 「どこで何をする」を表す連動文 ② 「どこで何をする」を表す連動文の実用的な使い道 ③ 「Aか、それともBか」を尋ねる“A还是B”疑問文	面接授業	予習：第九課を読む練習し、分からない単語などを調べておくこと（0.5時間） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（0.5時間）
12回目	第九課 日付・曜日・時刻を言う・尋ねる 本文 文型 ① 数詞 ② 日付・曜日・時刻を言ったり尋ねたり尋ねるために：名詞述語文 ③ 時刻を言う・尋ねる	面接授業	予習：第十課を読む練習し、分からない単語などを調べておくこと（0.5時間） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（0.5時間）

13 回目	第十課 生活のスケジュールを話題にする 本文 文型 ① 「いつ(何を)する」を表す文型 ② 話題にすることがらを最初という主題化文型 中国の文化 中国の学校事情について	面接授業	予習：第十一課を読む練習し、分からない単語などを調べておくこと(0.5時間) 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5時間)
14 回目	第十一課あるものごとについて、その様子や状況を言う・尋ねる 本文 文型 ① 形容詞について ② 「AはXである」と、ものの性質や状況を述べる形容詞述語文 ③ AはBがXであると、ものごとの性質や状況を述べる二重主語文	面接授業	予習：・分からない単語などを調べておくこと ・次回総まとめを行う。すべてのプリントやノートを持ってくること(0.5時間) 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5時間)
15 回目	総まとめ 作文	面接授業	予習：テストに向けて勉強すること(1時間) 復習：今までの授業内容を見直すこと(1時間)
16 回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特に指定しない。授業内容に合わせて、プリントを配布する。
履修条件	・毎回必ず出席し、積極的に発話やグループディスカッションに参加する ・予習、復習を行うこと。
履修上の注意	・毎回必ず予習、復習を行うこと。 ・グループディスカッションの際、調べることがあるので、PCやタブレットを忘れずに持参すること。
オフィスアワー	質問やメッセージを紙に書き、事務局にある井上ボックスに入れておくこと。
備考・メッセージ	毎日予習、復習をきちんと行い、根性よく、継続して学習してください。

講義科目名称：中国語 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1stQ & 2ndQ)	1年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では中国語の基礎を学ぶ。まず、中国語の発音方法、および、ピンイン（中国語式ローマ字）を学習する。次に、中国語の基礎となる文法と基本語彙を学び、それらによって形成される中国語の文を正確に発音し、同時に、的確な日本語で解釈できるようにする。そして、以上の学習を通じて、中国語の検定試験 HSK(漢語水平考試)の1級に確実に合格できるようにする。また、毎回小テストを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ol style="list-style-type: none"> 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 一つの文を一息で発音できる。 HSK1級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 HSK1級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 10% 20% 10% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	ピンインの基礎学習 1	1. 単母音について学ぶ。 2. 動語(動詞)と目的語の関係について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 1 課で学んだ箇所の音読。
2回目	ピンインの基礎学習 2	1. 声調について学ぶ。 2. やや複雑な動語(動詞)と目的語の関係について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 2 課で学んだ箇所の音読。
3回目	ピンインの基礎学習 3	1. 二重複合母音について学ぶ。 2. やや複雑な動語(動詞)と目的語の関係について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 3 課で学んだ箇所の音読。
4回目	ピンインの基礎学習 4	1. 鼻音について学ぶ。 2. 主語と述語の関係について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 4 課で学んだ箇所の音読。
5回目	ピンインの基礎学習 5	1. 子音について学ぶ。 2. 主語と述語の関係を学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 5 課で学んだ箇所の音読。
6回目	ピンインの基礎学習 6	1. 子音について学ぶ。 2. 主語と述語の関係について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 6 課で学んだ箇所の音読。
7回目	ピンインの基礎学習 7	1. 軽声について学ぶ。 2. 形容詞が述語となる構造について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 7 課で学んだ箇所の音読。
8回目	ピンインの基礎学習 8	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 動詞“是”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 8 課で学んだ箇所の音読。

9 回目	ピンインの基礎学習 9	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 述詞(動詞(句))の連続形式について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>予習:第 10 課で学ぶ箇所の音読練習。</p> <p>復習:第 9 課で学んだ箇所の音読。</p>
10 回目	ピンインの基礎学習 10	<ol style="list-style-type: none"> 1. 述語の中が主語+述語によって構成されている文(主述述語文)について学ぶ。 2. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>予習:第 11 課で学ぶ箇所の音読練習。</p> <p>復習:第 10 課で学んだ箇所の音読。</p>
11 回目	ピンインの基礎学習 11	<ol style="list-style-type: none"> 1. 存現文について学ぶ。 2. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>予習:第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。</p> <p>復習:第 11 課で学んだ箇所の音読。</p>
12 回目	ピンインの基礎学習 12	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 偏正構造(連体修飾語)について学ぶ 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>予習:第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。</p> <p>復習:第 12 課で学んだ箇所の音読。</p>
13 回目	ピンインの基礎学習 13	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 状況語(連用修飾語)について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>予習:第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。</p> <p>復習:第 13 課で学んだ箇所の音読。</p>
14 回目	ピンインの基礎学習 14	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 連合構造について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>予習:第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。</p> <p>復習:第 14 課で学んだ箇所の音読。</p>
15 回目	ピンインの基礎学習 15	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 結果補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>復習:第 15 課で学んだ箇所の音読。</p>
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(6stQ)	2年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の中級程度の作文力を身に付ける。これにより、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的スムーズに交流できるようにする。授業では、主に HSK4 級の作文問題における問題についての的確に解答し、同時に正確に発音できるように反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK4 級の作文問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK4級の作文1	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第1課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK4級の作文2	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第2課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK4級の作文3	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第3課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK4級の作文4	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第4課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK4級の作文5	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第5課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK4級の作文6	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第6課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK4級の作文7	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第7課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK4級の作文8	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第8課で学んだ箇所の音読。
9回目	HSK4級の作文9	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK4級の作文10	1. 作文の問題を解く	予習:第11課で学ぶ箇所の

		2. 発音練習 3. 小テスト	音読練習。 復習:第 10 課で学んだ箇所の音読。
11 回目	HSK4 級の作文 11	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 11 課で学んだ箇所の音読。
12 回目	HSK4 級の作文 12	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 12 課で学んだ箇所の音読。
13 回目	HSK4 級の作文 13	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 13 課で学んだ箇所の音読。
14 回目	HSK4 級の作文 14	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 14 課で学んだ箇所の音読。
15 回目	HSK4 級の作文 15	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	復習:第 15 課で学んだ箇所の音読。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語Ⅱ	授業コード：24642
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	中国語Ⅰで学んだ内容を復習しつつ、教科書をもとに、さまざまなテーマを用いて、会話・グループディスカッションを中心に授業を進める。また、正しい発音ができるように、何度も繰り返し練習する。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	より多くの中国語を身につけ、グローバル社会に適応できるようになる。	・授業参加 ・授業態度	5% 5%
確かな専門的知識 や技能	・正確な発音ができる。 ・学習した文法や単語を使って、中国語で、話す、聴くことができる。	定期テスト	60%
コミュニケーション能力	様々な場面において相手と中国語で、コミュニケーションができる。	グループディスカッションへの参加	10%
課題解決能力	・短い作文を書くことができる。 ・課題に取り組むことができる。	小テスト	10%
主体的に学ぶ力	予習と復習をすることによって、中国語が上達できる。	課題や宿題	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。 ・予習、復習を必ずする 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業の進め方、履修において、注意事項などを説明する。	面接授業	予習：日常挨拶用語（0.5H） 復習：助動詞をまとめる（0.5H）
2回目	・自分の氏名、専攻などの自己紹介について学ぶ。 ・様態補語、助動詞①、副詞①など	面接授業	予習：“不”の意味と使い方（0.5H） 復習：“不”を使って5つ以上の文を書く練習する（0.5H）

	の文法を学ぶ。		
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や興味について学ぶ。 ・呼応表現①、呼応表現②、結果補語などの文法を学ぶ。 	面接授業	<p>予習：“没有”の使い方をまとめる (0.5H)</p> <p>復習：呼応表現①②を使って、文を書く練習する (0.5H)</p>
4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家族構成の言い方について学ぶ。 ・呼応表現③、副詞②、前置詞①を学ぶ。 	面接授業	<p>予習：数の数え方をまとめる (0.5H)</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する (0.5H)</p>
5回目	<ul style="list-style-type: none"> ・学校へ行くまでの行動や学校へ行く際の手段について学ぶ。 ・副詞の連用、選択疑問文、数量補語などの文法を学ぶ。 	面接授業	<p>予習：時間の言い方をまとめる (0.5H)</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する (0.5H)</p>
6回目	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物の際、使う表現について学ぶ。 ・前置詞②、使役動詞①などの文法を学ぶ。 	面接授業	<p>予習：物を数える際、使う量詞をまとめる (0.5H)</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する (0.5H)</p>
7回目	<ul style="list-style-type: none"> ・レストランで、料理の注文について学ぶ。 ・離合詞、使役動詞②などの文法を学ぶ。 	面接授業	<p>予習：お皿、料理を数える際の量詞をまとめる (1H)</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する (0.5H)</p>
8回目	<ul style="list-style-type: none"> ・道を尋ねる際に使う挨拶や、方向の言い方を学ぶ。 ・助動詞②、比較表現などの文法を学ぶ。 ・小テスト 	面接授業	<p>予習：方向を表す単語をまとめる (0.5H)</p> <p>次回小テストを行うので、今までのプリントやノートを見直すこと (1H)</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する。</p>
9回目	<ul style="list-style-type: none"> ・電話のかけ方や電話番号の言い方について学ぶ。 ・副詞③、④、依頼を表す動詞などの文法を学ぶ。 	面接授業	<p>予習：今まで学んだ副詞をまとめる (0.5H)</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する (0.5H)</p>
10回目	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の時期、文化祭の内容などについて学ぶ。 ・慣用表現、疑問詞などの文法を学ぶ。 	面接授業	<p>予習：年、月、日の言い方をまとめる (0.5H)</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する (0.5H)</p>
11回目	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢や現在持っている資格、これから取得したい資格などを学 	面接授業	<p>予習：自分の夢について考えてみる (0.5H)</p>

	ぶ。 ・副詞の連用、呼応表現④、⑤などの文法を学ぶ。		復習：学習した文法を使って、文を書く練習する（0.5H）
12回目	・休み、休暇について学ぶ。 ・呼応表現⑥、⑦などの文法を学ぶ。	面接授業	予習：中国の休みについて調べる（0.5H） 復習：学習した文法を使って、文を書く練習する（0.5H）
13回目	・相手にお礼の伝え方を学ぶ。 ・強調を表す語気助詞、副詞5などの文法を学ぶ。	面接授業	予習：日本では、お礼を伝える際の言い方をまとめる（0.5H） 復習：学習した文法を使って、文を書く練習する（0.5H）
14回目	今まで学んだ文法を総まとめする。	面接授業	予習：学習した文法をまとめる（0.5H） 復習：学習した文法を使って、文を書く練習する（0.5H）
15回目	今まで学んだ会話を総まとめする。	面接授業	予習：学習した単語をまとめる（0.5H） 復習：テスト勉強する（2H）
16回目	定期試験	面接授業	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：宮本 大輔 温琳（2013）『話そう！実践中国語』株式会社 朝日出版社 参考書：相原茂・蘇明著（2014）『日中いぶこみ 12 景』朝日出版社
履修条件	中国語 I を履修したこと。
履修上の注意	予習・復習を必ず行うこと。
オフィスアワー	質問がある場合、問題用紙を教員ボックスに入れるか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	授業中、積極的に発話する。授業外、留学生と積極的にコミュニケーションをしてほしいです。

講義科目名称：中国語会話	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(4stQ)	1年	1単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の初級程度の聞き取る力を身に付け、中国語を用いて、生活、学習、仕事等で基本的なコミュニケーションができ、中国で旅行をする時にも大多数の場合において対応できるようにする。授業では、主に HSK3 級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ol style="list-style-type: none"> 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 一つの文を一息で発音できる。 HSK3 級の聞き取り問題に合格(正答率 6 割)できる。 HSK3 級の作文問題に合格(正答率 6 割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 10% 20% 10% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK3級の聞き取り 1	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 1 課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK3級の聞き取り 2	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 2 課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK3級の聞き取り 3	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 3 課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK3級の聞き取り 4	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 4 課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK3級の聞き取り 5	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 5 課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK3級の聞き取り 6	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 6 課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK3級の聞き取り 7	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 7 課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK3級の聞き取り 8	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 8 課で学んだ箇所の音読。

9回目	HSK3級の聞き取り 9	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK3級の聞き取り 10	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第10課で学んだ箇所の音読。
11回目	HSK3級の聞き取り 11	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第11課で学んだ箇所の音読。
12回目	HSK3級の聞き取り 12	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第12課で学んだ箇所の音読。
13回目	HSK3級の聞き取り 13	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第13課で学んだ箇所の音読。
14回目	HSK3級の聞き取り 14	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第14課で学んだ箇所の音読。
15回目	HSK3級の聞き取り 15	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	復習:第15課で学んだ箇所の音読。
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。

オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語会話	授業コード：34342
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	本授業は、会話を中心しつつ、基本的な文法を学習する。会話やグループディスカッションを通して、ネイティブな発音を習得し、様々な場面でのコミュニケーションができる。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	日常会話を中国語で聞く、伝えるようになる。	授業参加・授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	・正確な発音ができる。 ・学習した文法や単語を使って、中国語で、話す、聴くことができる。	定期テスト	60%
コミュニケーション能力	様々な場面において、相手と中国語で簡単なコミュニケーションができる。	グループディスカッションへの参加	10%
課題解決能力	・簡単な文を書くことができる。 ・課題に取り組むことができる。	小テスト	10%
主体的に学ぶ力	予習と復習をすることによって、中国語が上達できる。	課題や宿題	10%
合計			100%

補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	第1課 自己紹介 ・人称代名詞 ・助詞“呢”	面接講義(オンライン等の対応可)	予習：自分の名前や住所などの自己紹介用語を調べる(0.5H) 復習：中国語Iで学んだ簡単な単語を確認する。会話文を熟読、文法を使って、文を書くこと(0.5H)
2回目	第2課 これは何ですか ・指示代名詞(1)	面接講義(オンライン等の対応可)	予習：第3課の本文を読むこと(0.5H) 復習：会話文を熟読、文法を使って、文を書く

	・疑問詞“什么”	対応可)	こと (0.5H)
3回目	第3課 これはいかがですか ・指示代名詞 (2) ・形容詞述語文 ・疑問詞“怎么样”	面接講義 (オンライン等の対応可)	予習: 第4課の本文を読んで、分からない単語の意味を調べておくこと (0.5H) 復習: 会話文を熟読、文法を使って、文を書くこと (0.5H)
4回目	第4課 買い物 ・数詞 ・数量を表す語	面接講義 (オンライン等の対応可)	予習: 第5課の本文を読んで、分からない単語の意味を調べておくこと (0.5H) 復習: 会話文を熟読、文法を使って、文を書くこと (0.5H)
5回目	第5課 どこにありますか ・場所指示代名詞 ・方位詞	面接講義 (オンライン等の対応可)	予習: 第6課の本文を読んで、分からない単語の意味を調べておくこと (0.5H) 復習: 会話文を熟読、文法を使って、文を書くこと (0.5H)
6回目	第6課 何がありますか ・動詞“有” ・“什么”+名詞 ・助数詞	面接講義 (オンライン等の対応可)	予習: 第7課の本文を読んで、分からない単語の意味を調べておくこと (0.5H) 復習: 会話文を熟読、文法を使って、文を書くこと (0.5H)
7回目	第7課 ホテルにチェックイン ・完了を表す“了” ・選択疑問詞	面接講義 (オンライン等の対応可)	予習: 第1回目からのプリントやノートを見直すこと、中間テストを勉強すること (1H) 復習: 会話文を熟読、文法を使って、文を書くこと (0.5H)
8回目	中間テスト	面接講義 (オンライン等の対応可)	予習: 第8課の本文を読んで、分からない単語の意味を調べておくこと (0.5H) 復習: テストで分からなかったことをもう一度確認すること (0.5H)
9回目	第8課 何時に行きますか ・経験を表す“过” ・時を表す語	面接講義 (オンライン等の対応可)	予習: 第9課の本文を読んで、分からない単語の意味を調べておくこと (0.5H) 復習: 会話文を熟読、文法を使って、文を書くこと (0.5H)
10回目	第9課 タクシーに乗る ・前置詞“从”・“到” ・時間の長さを表す語 ・2つの目的語をもつ動詞“给”	面接講義 (オンライン等の対応可)	予習: 第10課の本文を読んで、分からない単語の意味を調べておくこと (0.5H) 復習: 会話文を熟読、文法を使って、文を書くこと (0.5H)
11回目	第10課 試着と支払い	面接講義 (オ	予習: 第8課~第10課までのプリントやノー

	・助動詞“可以”・“能”・“会” ・動詞の重ね型	ンラン等の 対応可)	トを見直すこと (0.5H) 復習：会話文を熟読、文法を使って、文を書く こと (0.5H)
12 回目	小テスト	面接講義(オ ンラン等の 対応可)	予習：第 11 課の本文を読んで、分からない単 語の意味を調べておくこと (0.5H) 復習：テストで分からなかったことをもう一 度確認すること (0.5H)
13 回目	第 11 課 苦情を訴える ・前置詞“给” ・“是”の省略	面接講義(オ ンラン等の 対応可)	予習：第 12 課の本文を読んで、分からない単 語の意味を調べておくこと (0.5H) 復習：会話文を熟読、文法を使って、文を書く こと (0.5H)
14 回目	第 12 課 紛失届を出す ・“是～”的 ・“～的时候”	面接講義(オ ンラン等の 対応可)	復習：会話文を熟読、文法を使って、文を書く こと (0.5H)
15 回目	総まとめ	面接講義(オ ンラン等の 対応可)	予習：いままでのプリントやノートを見直す こと (1.5H) 復習：テスト勉強すること (2H)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	特に指定しない。授業内容に合わせて、プリントを配布する
履修条件	・毎回必ず出席し、積極的に発話やグループディスカッションに参加する
履修上の注意	・予習、復習を行うこと ・グループディスカッションの際、調べることがあるので、PC やタブレッ トを忘れずに持参すること。
オフィスアワー	質問やメッセージを紙に書き、事務局にある井上ボックスに入れておくこと
備考・メッセージ	毎回必ず予習、復習を行うこと

講義科目名称：中国語検定 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期 1stQ	1 年	2 単位	選択	
担当教員				
青木 萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の基礎的な聞き取る力と読解力を身に付け、非常に簡単な単語とフレーズを理解および使用し、具体的なコミュニケーションが行えるようにする。授業では、第1回から第10回まではHSK1級の聞き取りを中心に行い、第10回から第15回からは読解を中心に行う。そして、HSK1級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるように反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ol style="list-style-type: none"> 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 一つの文を一息で発音できる。 HSK1級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 HSK1級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 10% 20% 10% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK1級の聞き取り 1	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第1課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK1級の聞き取り 2	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第2課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK1級の聞き取り 3	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第3課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK1級の聞き取り 4	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第4課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK1級の聞き取り 5	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第5課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK1級の聞き取り 6	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第6課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK1級の聞き取り 7	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第7課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK1級の聞き取り 8	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第8課で学んだ箇所の音読。
9回目	HSK1級の聞き取り 9	1. HSK1級の単語を学ぶ	予習:第10課で学ぶ箇所の

		2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK1級の聞き取り 10	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第10課で学んだ箇所の音読。
11回目	HSK1級の読解 1	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第11課で学んだ箇所の音読。
12回目	HSK1級の読解 2	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第12課で学んだ箇所の音読。
13回目	HSK1級の読解 3	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第13課で学んだ箇所の音読。
14回目	HSK1級の読解 4	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第14課で学んだ箇所の音読。
15回目	HSK1級の読解 5	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	復習:第15課で学んだ箇所の音読。
16回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低HSK3級、できればHSK4級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称 :: 中国語検定 I	授業コード : 21142
英文科目名称 :	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	本授業は中国語検定 1、2 級に必要な単語、文法を模擬問題を通して、繰り返し練習し、説明を行う。検定の過去問題の中で多く出題された単語や文法を理解し、どんな出題形式にも対応ができる。模擬問題を解き、解説を行う、また、間違ったところや分からないところを説明、練習を行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	今まで学んだ単語や文法を理解した上で、模擬問題を解き、中国語検定 1 級に合格ができる。	・ 授業参加 ・ 授業態度	5% 5%
コミュニケーション能力	自ら伝えたい簡単な日常会話ができる。	グループディスカッション	10%
課題解決能力	中国語検定では、時間が決まられているため、時間通り、問題を解かなければなりません。そのため、授業では、問題を解く時間を意識しながら、問題を解く。	課題	20%
主体的に学ぶ力	模擬問題の中で、分からないことや間違った問題を積極的に質問をしたり、復習したりすることができる。	定期テスト	60%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	授業の進め方、履修するにあたり、注意事項や心構えについて説明	面接授業	予習 : 中国語 I で学習した基本的な挨拶用語 (0.5H)

	する。		復習：新しい挨拶用語を暗記する (0.5H)
2回目	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	面接授業	予習：単語帳にある1,2級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)
3回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い、反復練習する。	面接授業	予習：単語帳にある1,2級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)。
4回目	模擬問題を解いた後、答え合わせを行う。	面接授業	予習：単語帳にある1,2級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)
5回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い反復練習する。	面接授業	予習：単語帳にある1,2級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)
6回目	模擬問題を解いた後、答え合わせを行う。	面接授業	予習：単語帳にある1,2級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)
7回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い、反復練習する。	面接授業	予習：単語帳にある1,2級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)
8回目	検定テストと同様に記入シートを使い、時間通りにテストを行う。その後、答え合わせをする。	面接授業	予習：単語帳にある1,2級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)
9回目	テストを解説し、間違った問題を反復練習する。	面接授業	予習：単語帳にある1,2級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)
10回目	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	面接授業	予習：単語帳にある1,2級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)
11回目	模擬問題の解説を行い、間違った	面接授業	予習：単語帳にある1,2級の単語を音読、

	文法や単語を使って反復練習する。		書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)
12 回目	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	面接授業	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、 書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)
13 回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使って反復練習する。	面接授業	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、 書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)
14 回目	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	面接授業	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、 書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)
15 回目	模擬問題の解説を行い、総まとめをする	面接授業	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、 書く練習 (0.5H) 復習：新しい単語・文法 間違った問題の再確認 (0.5H)
16 回目	定期試験	面接授業	

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：『中国語検定 HSK 公式過去問題集 1 級』2018 出版社：スプリックス 『中国語検定 HSK 公式過去問題集 2 級』2018 出版社：スプリックス 参考書：参考書：郭春貴・郭久美子編著『HSK 基本語彙 1～4 級』 白帝社
履修条件	中国語 I を履修すること。
履修上の注意	・毎回出席し、授業中は積極的に発話する。 ・グループディスカッションの際、調べることがあるので、PC やタブレットを忘れずに持参すること。
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	授業後、学習したことを復習する。

講義科目名称：中国語検定Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(2stQ)	1年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語検定Ⅰの学習を踏まえ、更に中国語の基礎的な聞き取る力と読解力を身に付け、身近な日常生活の話題について簡単で直接的な交流ができるようにする。授業では、第1回から第6回まではHSK2級の聞き取りを中心に行い、第7回から第15回からは読解を中心に行う。そして、HSK2級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるように反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ol style="list-style-type: none"> 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 一つの文を一息で発音できる。 HSK2級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 HSK2級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	HSK2 級の聞き取り 1	1. HSK2 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 1 課で学んだ箇所の音読。
2 回目	HSK2 級の聞き取り 2	1. HSK2 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 2 課で学んだ箇所の音読。
3 回目	HSK2 級の聞き取り 3	1. HSK2 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 3 課で学んだ箇所の音読。
4 回目	HSK2 級の聞き取り 4	1. HSK2 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 4 課で学んだ箇所の音読。
5 回目	HSK2 級の聞き取り 5	1. HSK2 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 5 課で学んだ箇所の音読。
6 回目	HSK2 級の聞き取り 6	1. HSK2 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 6 課で学んだ箇所の音読。
7 回目	HSK2 級の読解 1	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 7 課で学んだ箇所の音読。
8 回目	HSK2 級の読解 2	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 8 課で学んだ箇所の音読。

9回目	HSK2級の読解3	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK2級の読解4	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第10課で学んだ箇所の音読。
11回目	HSK2級の読解5	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第11課で学んだ箇所の音読。
12回目	HSK2級の読解6	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第12課で学んだ箇所の音読。
13回目	HSK2級の読解7	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第13課で学んだ箇所の音読。
14回目	HSK2級の読解8	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第14課で学んだ箇所の音読。
15回目	HSK2級の読解9	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	復習:第15課で学んだ箇所の音読。
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィ

	一チャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語検定Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	<p>本講義は HSK 3、4 級に必要な単語、文法を模擬問題を通して、繰り返して練習し、解説を行う。また、学生のレベルに合わせ、3 級の復習をしながら、4 級の検定対策をする。今まで、検定の中で多く出題された単語や文法を理解し、どんな出題形式にも対応することができる。模擬問題を解き、解説を行う、また、間違ったところや分からないところを解説し、練習を重ねる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	今まで学んだ単語や文法を理解した上で、模擬問題を解き、中国語検定 1 級に合格ができる。	授業参加	5%
コミュニケーション能力	自ら伝えたい簡単な日常会話ができる。	グループディスカッション	20%
課題解決能力	中国語検定では、時間が決まられているため、時間通り、問題を解かなければなりません。そのため、授業では、問題を解く時間を意識しながら、問題を解く。	・課題 ・小テスト	10% 5%
主体的に学ぶ力	模擬問題の中で、分からないことや間違った問題を積極的に質問をしたり、復習する。	定期テスト	60%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	授業の進め方、履修するにあた	面接授業	予習：検定を受けるまでのスケジュール

	り、注意事項や心構えについて説明する。		や心構えについて (0.5H) 復習：確実に合格するためのプランを立てる (0.5H)
2回目	・模擬問題を解く。 ・答え合わせする。	面接授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
3回目	聴解の解説をする。	面接授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
4回目	文法、新出単語を解説する。	面接授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
5回目	・模擬問題を解く。 ・答え合わせする。	面接授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
6回目	聴解の解説をする。	面接授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
7回目	文法、新出単語を解説する。	面接授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
8回目	・模擬問題を解く。 ・答え合わせする。	面接授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
9回目	聴解の解説をする。	面接授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
10回目	文法、新出単語を解説する。	面接授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
11回目	・模擬問題を解く。 ・答え合わせする。	面接授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
12回目	聴解の解説をする。	面接授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
13回目	文法、新出単語を解説する。	面接授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習 (0.5H)

			復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
14 回目	模擬問題 1～4 までの聴解を総まとめする。	面接授業	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習 (0.5H) 復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
15 回目	模擬問題 1～4 までの文法、新出単語や文法を総まとめする。	面接授業	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習 テスト勉強をする (2H) 復習：新出単語や文法の再確認 (0.5H)
16 回目	定期試験	面接授業	

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：『中国語検定 HSK 公式過去問題集 3 級』2018 出版社：スプリックス 『中国語検定 HSK 公式過去問題集 4 級』2018 出版社：スプリックス 参考書：『中国語検定 HSK 公認 テキスト 3 級』2018 出版社：スプリックス 『中国語検定 HSK 公認 テキスト 4 級』2018 出版社：スプリックス 郭春貴・郭久美子編著『HSK 基本語彙 1～4 級』 白帝社
履修条件	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
履修上の注意	・毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを復習する。 ・グループディスカッションの際、調べることがあるので、PC やタブレットを忘れずに持参すること。
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、学習したことを復習する。

講義科目名称：中国語検定Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5stQ)	2年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国語の幅広い範囲にわたる話題の文章を理解できるようにする。授業では、主に HSK4 級の読解問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK4 級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
------	-----	-------	-------

1回目	HSK4級の読解1	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第1課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK4級の読解2	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第2課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK4級の読解3	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第3課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK4級の読解4	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第4課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK4級の読解5	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第5課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK4級の読解6	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第6課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK4級の読解7	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第7課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK4級の読解8	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第8課で学んだ箇所の音読。
9回目	HSK4級の読解9	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK4級の読解10	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。

		3. 小テスト	復習: 第 10 課で学んだ箇所の音読。
11 回目	HSK4 級の読解 11	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 11 課で学んだ箇所の音読。
12 回目	HSK4 級の読解 12	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 12 課で学んだ箇所の音読。
13 回目	HSK4 級の読解対 13	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 13 課で学んだ箇所の音読。
14 回目	HSK4 級の読解 14	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 14 課で学んだ箇所の音読。
15 回目	HSK4 級の読解 15	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	復習: 第 15 課で学んだ箇所の音読。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語検定Ⅲ	授業コード：33542
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	講義
担当教員井上麗奈				

授業概要	<p>本科目は中国語検定（HSK）5級を目指して、中国語上級レベルに相当する難易度の高い語彙や文法を学習する。</p> <p>今まで学習した単語を違う使い方になることがあり、何度も練習や復習し、克服し、中国語検定（HSK）5級の合格を目指します。また、問題を解く際、時間を計りながらする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国の文化をより一層、理解することができる。	授業参加、授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	上級者が使う文法や単語、会話を身につくことができる。	定期テスト	60%
コミュニケーション能力	さまざまな場面において、中国の方と会話ができる。	発表	5%
課題解決能力	上級者が使う文法や単語、会話を身につくことができる。	レポート	20%
主体的に学ぶ力	積極的に学習する姿勢が身につくことができる。	課題提出	5%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業の進め方、履修するにあたり、注意事項や心構えについて説明する。	面接授業	予習：検定を受けるまでのスケジュールや心構えについて（0.5H） 復習：確実に合格するためのプランを立てる（0.5H）
2回目	・時間を計りながら、問題を解く。 ・答え合わせする。	面接授業	予習：5級の単語（0.5H） 復習：新出単語と文法（0.5H）
3回目	聴解の問題や新出単語の解説をする。	面接授業	予習：5級の単語（0.5H） 復習：新出単語と文法（0.5H）

4回目	文法や作文を解説する。	面接授業	予習：5級の単語（0.5H） 復習：新出単語と文法（0.5H）
5回目	・時間を計りながら、問題を解く。 ・答え合わせする。	面接授業	予習：5級の単語（0.5H） 復習：新出単語と文法（0.5H）
6回目	聴解の問題や新出単語の解説をする。	面接授業	予習：5級の単語（0.5H） 復習：新出単語と文法（0.5H）
7回目	文法や作文を解説する。	面接授業	予習：5級の単語（0.5H） 復習：新出単語と文法（0.5H）
8回目	・時間を計りながら、問題を解く。 ・答え合わせする。	面接授業	予習：5級の単語（0.5H）復習：新出単語と文法（0.5H）
9回目	聴解の問題や新出単語の解説をする。	面接授業	予習：5級の単語（0.5H） 復習：新出単語と文法（0.5H）
10回目	文法や作文を解説する。	面接授業	予習：5級の単語（0.5H） 復習：新出単語と文法（0.5H）
11回目	・時間を計りながら、問題を解く。 ・答え合わせする。	面接授業	予習：5級の単語（0.5H） 復習：新出単語と文法（0.5H）
12回目	聴解の問題や新出単語の解説をする。	面接授業	予習：5級の単語（0.5H） 復習：新出単語と文法（0.5H）
13回目	文法や作文を解説する。	面接授業	予習：5級の単語（0.5H） 復習：新出単語と文法（0.5H）
14回目	今までした聴解の問題をまとめる。	面接授業	予習：5級の単語（0.5H） 復習：新出単語と文法（0.5H）
15回目	今までした文法や作文の問題をまとめる。	面接授業	復習：いままでの配布資料やノートを見直すこと（1H） 予習：テスト勉強すること（1H）
16回目	定期試験	面接授業	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考書：・金級涛（2005）『決勝30天新汉语水平考试5级仿真试题集 北京语言大学出版社 ・中国語検定 HSK5 級長文テキスト 株式会社スプリックス 中国語事業部
履修条件	HSK4級合格したこと。
履修上の注意	毎回出席し、授業中は積極的に発言する。
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	授業後、毎回学習したことを復習する。

講義科目名称：中国語ライティング&文法 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(4stQ)	1年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の発音の基礎を固め、同時に、初級程度の読解力を身に付ける。これにより、中国語を用いて、生活、学習、仕事等で基本的なコミュニケーションができ、中国で旅行をする時にも大多数の場合において対応できるようにする。授業では、第1回から第11回まではピンインの復習を行う。第12回からはHSK3級の読解問題を解き、HSK3級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK3級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	ピンインの基礎学習 1	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 可能補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 1 課で学んだ箇所の音読。
2回目	ピンインの基礎学習 2	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 方向補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 2 課で学んだ箇所の音読。
3回目	ピンインの基礎学習 3	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 状態補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 3 課で学んだ箇所の音読。
4回目	ピンインの基礎学習 4	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 程度補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 4 課で学んだ箇所の音読。
5回目	ピンインの基礎学習 5	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 量詞について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 5 課で学んだ箇所の音読。
6回目	ピンインの基礎学習 6	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 量詞“一下”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 6 課で学んだ箇所の音読。
7回目	ピンインの基礎学習 7	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 量詞(重畳形)について学ぶ。	予習:第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 7 課で学んだ箇所

		3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	の音読。
8 回目	ピンインの基礎学習 8	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 数詞+量詞について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習: 第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 8 課で学んだ箇所の音読。
9 回目	ピンインの基礎学習 9	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 助詞“了”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習: 第 10 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 9 課で学んだ箇所の音読。
10 回目	ピンインの基礎学習 10	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 助詞“着”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習: 第 11 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 10 課で学んだ箇所の音読。
11 回目	ピンインの基礎学習 11	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 助詞“过”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習: 第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 11 課で学んだ箇所の音読。
12 回目	HSK3 級の読解 1	1. 読解の問題を解く 2. 答え合わせ 3. 解説 4. 小テスト	予習: 第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 12 課で学んだ箇所の音読。
13 回目	HSK3 級の読解 2	1. 読解の問題を解く 2. 答え合わせ 3. 解説 4. 小テスト	予習: 第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 13 課で学んだ箇所の音読。
14 回目	HSK3 級の読解 3	1. 読解の問題を解く 2. 答え合わせ 3. 解説 4. 小テスト	予習: 第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 14 課で学んだ箇所の音読。
15 回目	HSK3 級の読解 4	1. 読解の問題を解く 2. 答え合わせ 3. 解説 4. 小テスト	復習: 第 15 課で学んだ箇所の音読。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語ライティング&文法 I	授業コード：14342
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	本講義では、使う頻度が多い文法や、語彙を用いて、会話と購読を中心に進める。今まで学んだ文法や語彙を復習しながら、新しい語彙、文法を学ぶ。 句を使ってグループディスカッションをする。その後、短文を書き、発表を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国の文化に理解することができる。	・授業参加	5%
確かな専門的知識 や技能	文法や語彙を使って、柔軟に会話や作文を書き、発表することができる。	・授業態度 ・定期テスト	5% 60%
コミュニケーション能力	さまざまな場面において、コミュニケーションができる	・グループディスカッション	10%
課題解決能力	課題に取り組むことができる。	・小テスト	10%
主体的に学ぶ力	積極的に予習、復習をする習慣を身につくことができる。	・課題レポート	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。 ・予習、復習を必ずする。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・授業内容や進め方を説明する。	面接講義（オンライン等の対応可）	予習：シラバスの確認。 復習：ピンインを再確認する。
2回目	第1課 会話：你好 購読：自我介绍 ・自分や他人について紹介する内容を学ぶ。	面接講義（オンライン等の対応可）	予習：人称代名詞をまとめる。 復習：新出単語や文を朗読する。
3回目	第2課	面接講義（オ	予習：指示代名詞をまとめ

	<p>会話：这是什么？</p> <p>購読：大山的房间</p> <p>・指示名詞を学び、紹介したい場所について学ぶ。</p>	<p>ンラン等の対応可)</p>	<p>る。</p> <p>復習：新出単語や文を朗読する。</p>
4回目	<p>第3課</p> <p>会話：你去哪儿？</p> <p>購読：便利店・さまざまな店の言い方や行きたい場所の言い方について学ぶ。</p>	<p>面接講義（オンライン等の対応可)</p>	<p>予習：動詞述語文を確認する。</p> <p>復習：新出単語や文を朗読する。</p>
5回目	<p>第4課</p> <p>会話：你要几个？</p> <p>購読：全家照</p> <p>・買い物の際、いくつ、いくらなどについて学ぶ。</p> <p>・家族構成について学ぶ。</p>	<p>面接講義（オンライン等の対応可)</p>	<p>予習：数字や量詞言い方をまとめる。</p> <p>復習：新出単語や文を朗読する。</p>
6回目	<p>第5課</p> <p>会話：你星期几打工？</p> <p>購読：踢足球</p> <p>・アルバイトをする曜日について学ぶ。</p> <p>・サッカーなどのスポーツの言い方、それらを使う助詞について学ぶ。</p>	<p>面接講義（オンライン等の対応可)</p>	<p>予習：曜日、時刻の言い方をまとめる。</p> <p>復習：新出単語や文を朗読する。</p>
7回目	<p>会話：今天的课都完了吗？</p> <p>購読：唱卡拉OK</p> <p>・今日のスケジュールの言い方について学ぶ。</p>	<p>面接講義（オンライン等の対応可)</p>	<p>予習：完了形を確認する。</p> <p>復習：新出単語や文を朗読する。</p>
8回目	<p>第7課</p> <p>会話：你吃饭了吗？</p> <p>購読：去海边儿</p> <p>・どこへ行ったのか、何をしたのかの言い方について学ぶ。</p>	<p>面接講義（オンライン等の対応可)</p>	<p>予習：連動文を確認する。</p> <p>復習：新出単語や文を朗読する。</p>
9回目	<p>第9課</p> <p>会話：你在干什么呢？</p> <p>購読：学开车</p> <p>・好きな場所について、どのように相手に伝えるかを学ぶ。</p>	<p>面接講義（オンライン等の対応可)</p>	<p>予習：位置を表す語を確認する。</p> <p>復習：新出単語や文を朗読する。</p>
10回目	<p>第10課</p> <p>会話：你有什么爱好？</p> <p>購読：联谊会</p> <p>・今何をしているのかの伝え方を学ぶ。</p>	<p>面接講義（オンライン等の対応可)</p>	<p>予習：主述述語文を確認する。</p> <p>復習：新出単語や文を朗読する。</p>

11 回目	第 11 課 会話：这双鞋怎么样？ 購読：动漫 ・趣味や興味について学ぶ。	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：様態補語を確認する。 復習：新出単語や文を朗読する。
12 回目	第 11 課 会話：这双鞋怎么样？ 購読：动漫 ・「この靴はどうですか」の文のように、自分のものを他人に意見を求める際の言い方について学ぶ。	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：相手に自分のものを、何を紹介するかを考える。 復習：新出単語や文を朗読する。
13 回目	第 12 課 会話：生日快乐！ 購読：买衣服 ・誕生日の方に、お祝いの言葉をどのように伝えるかを学ぶ。	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：年、月、日の言い方をまとめる。 復習：新出単語や文を朗読する。
14 回目	会話の総まとめ ・今まで学んだ会話文を総まとめする。	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：会話のプリントを確認する。
15 回目	購読の総まとめ ・今まで学んだ購読文を総まとめする。	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：朗読のプリントを確認する。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：竹島 毅 趙昕（2007）『さあ、中国語を学ぼう！』— 会話・購読 — 株式会社 白水社 参考書：林 松濤（2020）『大人なら使いたい中国語表現』 三修社
履修条件	中国語 I を履修したこと。
履修上の注意	・毎回出席し、授業中は積極的に発話する。 ・グループディスカッションの際、調べることがあるので、PC やタブレットを忘れずに持参すること。
オフィスアワー	質問がある場合は、教員ボックスに質問用紙を入れるか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	授業後、毎回学習したことを復習する。

講義科目名称：中国語ライティング&文法Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(7stQ)	2年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国の新聞や雑誌の内容が大体理解できるようにする。授業では、主に HSK5 級の読解問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK5 級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
------	-----	-------	-------

1回目	HSK5級の読解1	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第1課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK5級の読解2	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第2課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK5級の読解3	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第3課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK5級の読解4	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第4課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK5級の読解5	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第5課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK5級の読解6	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第6課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK5級の読解7	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第7課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK5級の読解8	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第8課で学んだ箇所の音読。
9回目	HSK5級の読解9	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK5級の読解10	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。

		3. 小テスト	復習: 第 10 課で学んだ箇所の音読。
11 回目	HSK5 級の読解 11	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 11 課で学んだ箇所の音読。
12 回目	HSK5 級の読解 12	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 12 課で学んだ箇所の音読。
13 回目	HSK5 級の読解 13	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 13 課で学んだ箇所の音読。
14 回目	HSK5 級の読解 14	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 14 課で学んだ箇所の音読。
15 回目	HSK5 級の読解 15	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	復習: 第 15 課で学んだ箇所の音読。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語ライティング&文法Ⅱ	授業コード：54742
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年生	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	この講義では、中国語検定 HSK 4 級以上、中上級に必要とする難易度の高い語彙、文法、発音を総合的に学習する。中国の文化について、さまざまなテーマを用いて、講義を行う。また、自分が興味のあることをはじめ、他の学生の前で発表する。更に、他人の発表を聞いたあと、質問をする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国の文化をより一層、理解することができる。	授業参加、授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	中上級者が使う文法や単語、会話を身につくことができる。	定期テスト	60%
コミュニケーション能力	さまざまな場面において、中国の方と会話ができる。	発表	10%
課題解決能力	中上級者が使う文法や単語、会話を身につくことができる。	レポート	10%
主体的に学ぶ力	積極的に学習する姿勢が身につくことができる。	課題提出	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション ・授業の進め方、履修するにあたり、注意事項や心構えについて説明する。	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：検定を受けるまでのスケジュールや心構えについて（0.5H）
2 回目	第 1 課 大学生的周末 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：文法“是”“了”“不”の使い方をまとめる（0.5H） 復習：新出単語と文法を再確認する

			(0.5H)
3回目	第2課 北京的交通 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：文法“吗”、“也”、“什么”の使い方をまとめる（0.5H） 復習：新出単語と文法を再確認する（0.5H）
4回目	第3課 中国人的主食----北方和南方 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：文法“吧”、“在”、“想”の使い方をまとめる（0.5H） 復習：新出単語と文法を再確認する（0.5H）
5回目	第4課 对数字的喜好 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：文法“有”、“过”、“从～到”の使い方をまとめる（0.5H） 復習：新出単語と文法を再確認する（0.5H）
6回目	第5課 大学生的“打工”现状 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：文法“可以”、“能”、“会”の使い方をまとめる（0.5H） 復習：・新出単語と文法を再確認する（0.5H） ・中間テストの勉強（1.5H）
7回目	中間テスト 第1課から第5課までの内容をテスト、答え合わせ、解説を行う。	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：文法“给”、“去”、“来”の使い方をまとめる（0.5H） 復習：間違った問題を再確認する（1H）
8回目	第6課 集体生活的好处 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：文法“地”、“得”、“着”の使い方をまとめる（0.5H） 復習：新出単語と文法を再確認する（0.5H）
9回目	第7課 在北京购物 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：文法“怎么”、“怎么样”、“呢”の使い方をまとめる（0.5H） 復習：新出単語と文法を再確認する（0.5H）
10回目	第8課 送礼的讲究 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：文法“几”、“多少”、“多”の使い方をまとめる（0.5H） 復習：新出単語と文法を再確認する（0.5H）
11回目	第9課 “中国式”的结婚 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：文法“从”、“到”、“离”、“往”の使い方をまとめる（0.5H） 復習：新出単語と文法を再確認する（0.5H）

12回目	第10課 双职工家庭 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：文法“反復疑問文”、“連動文”、“疑問詞”の使い方をまとめる（0.5H） 復習：新出単語と文法を再確認する（0.5H）
13回目	第11課 中国人的称呼-----辈分和面子 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：文法“量詞”、“方位詞”、“指示詞”の使い方をまとめる（0.5H） 復習：新出単語と文法を再確認する（0.5H）
14回目	第12課 大学生心目中的理想职业 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：文法“都”、“的の省略”の使い方をまとめる（0.5H） 復習：新出単語と文法を再確認する（0.5H）
15回目	総まとめ ・すべての内容をまとめる	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：プリントやノートを整理、確認する（0.5H） 復習：テスト勉強する（1.5H）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：吉田泰謙・相原里美・葛婧著（2013）『知っておきたい中国語事情』白水社 参考書：張乃方（2006）『中国語実習コース』白水社
履修条件	中国語Ⅰ、Ⅱを履修したこと。
履修上の注意	・毎回出席し、授業中は積極的に発話する。 ・授業後、毎回学習したことを復習する。
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	

講義科目名称：中国語演習 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5stQ&6stQ)	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の中級程度の聞き取る力を身に付け、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的流暢に話せるようにする。授業では、HSK4級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK4級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10 % ・ 20 % ・ 10 % ・ 60 %
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100 %
補足事項			
1. コロナウィルスの影響によっては、グーグルクラスルームのMeetでオンライン授業を行う場合があります。 2. 課題提出を必ず厳守してください。課題提出のフィードバックはWeChatまたはLINEで行います。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK4級の聞き取り 1	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習: 第2課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習: 第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
2回目	HSK4級の聞き取り 2	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習: 第3課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習: 第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
3回目	HSK4級の聞き取り 3	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習: 第4課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習: 第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
4回目	HSK4級の聞き取り 4	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習: 第5課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習: 第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
5回目	HSK4級の聞き取り 5	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習: 第6課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習: 第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
6回目	HSK4級の聞き取り 6	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習: 第7課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習: 第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
7回目	HSK4級の聞き取り 7	1. HSK4級の単語を学ぶ	予習: 第8課で学ぶ箇所の

		<ul style="list-style-type: none"> 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト 	<p>音読練習。(0.5時間)</p> <p>復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)</p>
8回目	HSK4級の聞き取り8	<ul style="list-style-type: none"> 1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト 	<p>予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間)</p> <p>復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)</p>
9回目	HSK4級の聞き取り9	<ul style="list-style-type: none"> 1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト 	<p>予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間)</p> <p>復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)</p>
10回目	HSK4級の聞き取り10	<ul style="list-style-type: none"> 1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト 	<p>予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間)</p> <p>復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)</p>
11回目	HSK4級の聞き取り11	<ul style="list-style-type: none"> 1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト 	<p>予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間)</p> <p>復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)</p>
12回目	HSK4級の聞き取り12	<ul style="list-style-type: none"> 1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト 	<p>予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間)</p> <p>復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)</p>
13回目	HSK4級の聞き取り13	<ul style="list-style-type: none"> 1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 	<p>予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間)</p>

		4. 小テスト	復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
14回目	HSK4級の聞き取り 14	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
15回目	HSK4級の聞き取り 15	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4時間)
16回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat またはLINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語演習 I	授業コード：22542
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	中国語の基本である発声（ピンインを習得した上で、講義では文法と会話を交互に学習し、中国語の日常会話に必要な単語や基本文法を学ぶ。 本講義終了時、中国語で、自己紹介や日常会話ができる。また、中国語検定1級に合格することができる。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国語を学ぶと同時に、中国の文化を理解することができる。	授業参加	5%
確かな専門的知識 や技能	・中国語の発音を正確にできる。 ・文法を使って簡単な文が書ける。	・定期試験 ・小テスト	60% 5%
コミュニケーション能力	簡単な日常会話ができる。	積極的に中国語で発話する	10%
課題解決能力	簡単な自己紹介を書いたり、発表したりすることができる。	グループディスカッション	10%
主体的に学ぶ力	中国の方と交流ができることを理解し、積極的に学習することができる	出席率及び授業態度	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。 ・毎回予習、復習を必ずする。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業の進め方、中国語についての簡単な説明	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：シラバスを確認する（0.5H） 復習：日常生活の中で、知っている中国語をまとめる（0.5H）
2回目	声調と単母音を学習する	面接講義（オンラン等の	予習：中国語の発音のイメージについて考えてみる（0.5H）

		対応可)	復習：声調と単母音の発音を練習する (0.5H)
3回目	複母音と子音について学習する	面接講義(オンラン等の対応可)	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5H) 復習：複母音と子音の発音を練習する (0.5H)
4回目	そり舌音と鼻音を伴う母音を学習する	面接講義(オンラン等の対応可)	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5H) 復習：そり舌音と鼻音を伴う母音の発音を練習する (0.5H)
5回目	軽声、R化、声調変化、数字を学習する	面接講義(オンラン等の対応可)	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5H) 復習：軽声、R化、声調変化を理解する 数字について発音を練習する (0.5H)
6回目	1) 人称代名詞 2) 名詞述語文 3) 動詞述語文 4) “吗”の疑問文 5) 副詞“也”“都” 名詞の修飾語①	面接講義(オンラン等の対応可)	予習：人称代名詞や品詞についてまとめる (0.5H) 復習：人称名詞を暗記する 学習した文法を使って簡単な文を書く練習する (0.5H)
7回目	簡単な単語を使い、挨拶する文を学習する	面接講義(オンラン等の対応可)	予習：第一課で学んだ単語を暗記する 挨拶で何を伝えたいのかを考える (0.5H) 復習：授業中に指定した文を暗唱する (0.5H)
8回目	1) 形容詞述語文 2) 指示詞“这”“那” 3) 疑問詞“谁”“什么”“哪个” 4) “吧”の用法 “的”の省略	面接講義(オンラン等の対応可)	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5H) 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語 4つ以上を使って、文を書く (0.5H)
9回目	前回で学んだ文法を生かした会話を学習する	面接講義(オンラン等の対応可)	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5H) 復習：授業中に指定した文を暗唱する (0.5H)
10回目	1) 所有を表す“有” 2) 反復疑問文 3) 量詞	面接講義(オンラン等の対応可)	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5H) 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語

	年月日・曜日・時刻の表し方		4つ以上を使って、文を書く (0.5H)
11 回目	前回で学んだ文法を生かした会話を学習する	面接講義(オンライン等の対応可)	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5H) 復習：授業中に指定した文を暗唱する (0.5H)
12 回目	1) 場所指示名詞“这儿”“那儿”“哪儿” 2) 方位詞 3) 存在を表す“有”“在” 4) 疑問詞“怎么” 連動文	面接講義(オンライン等の対応可)	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5H) 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語4つ以上を使って、文を書く (0.5H)
13 回目	前回で学んだ文法を生かした会話を学習する	面接講義(オンライン等の対応可)	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5H) 復習：授業中に指定した文を暗唱する (0.5H)
14 回目	1) 疑問詞“几”“多少” 2) 程度を訪ねる“多” 3) 時間の表し方 4) 前置詞“在” 5) 前置詞“从”“到”“离”“往” “呢”の疑問詞	面接講義(オンライン等の対応可)	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5H) 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語5つ以上を使って、文を書く (0.5H)
15 回目	今まで学んだ文法や会話を総まとめする	面接講義(オンライン等の対応可)	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5H) 復習：今まで学んだことを整理する (0.5H)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：八木章好・鄭麗媚著 (2014)『おぼえチャイナ 1』 朝日出版社
履修条件	中国語 I を履修したこと。
履修上の注意	・グループディスカッションの際、調べることがあるので、PC やタブレットを忘れずに持参すること。
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	毎回出席する。授業中は積極的に発言する。授業後、毎回学習したことを復習する。積極的に留学生と会話する。

講義科目名称：中国語演習Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(7stQ&8stQ)	2年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の中級程度の聞き取る力を身に付け、中国のテレビや映画を観賞し、大体の内容が理解できるようにする。授業では、主に HSK5 級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK5 級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK5級の聞き取り 1	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 1 課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK5級の聞き取り 2	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 2 課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK5級の聞き取り 3	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 3 課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK5級の聞き取り 4	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 4 課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK5級の聞き取り 5	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 5 課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK5級の聞き取り 6	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 6 課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK5級の聞き取り 7	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 7 課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK5級の聞き取り 8	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 8 課で学んだ箇所の音読。
9回目	HSK5級の聞き取り 9	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 10 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 9 課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK5級の聞き取り 10	1. HSK5級の単語を学ぶ	予習:第 11 課で学ぶ箇所の

		2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	音読練習。 復習:第 10 課で学んだ箇所の音読。
11 回目	HSK5 級の聞き取り 11	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 11 課で学んだ箇所の音読。
12 回目	HSK5 級の聞き取り 12	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 12 課で学んだ箇所の音読。
13 回目	HSK5 級の聞き取り 13	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 13 課で学んだ箇所の音読。
14 回目	HSK5 級の聞き取り 14	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 14 課で学んだ箇所の音読。
15 回目	HSK5 級の聞き取り 15	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	復習:第 15 課で学んだ箇所の音読。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語演習Ⅱ	授業コード：23742
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	本講義は、中国語Ⅰで学習した内容を基礎とし、さらなるレベルアップすることを目的とする。講義では、授業内容に合わせて、中国の文化や習慣などを紹介し、より一層、中国について理解することができる。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	日常会話を中国語で聞く、伝えるようになる。	・授業参加 ・授業態度	5% 5%
確かな専門的知識 や技能	・正確な発音ができる。 ・学習した文法や単語を使って、中国語で、話す、聴くことができる。	定期テスト	60%
コミュニケーション能力	様々な場面において、相手と中国語で、簡単なコミュニケーションができる。	グループディスカッションへの参加	10%
課題解決能力	・簡単な文を書くことができる。 ・課題に取り組むことができる。	小テスト	10%
主体的に学ぶ力	予習と復習をすることによって、中国語が上達できる。	課題や宿題	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。 ・予習、復習を必ずする。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	第一課 中国人の主食—北方和南方 本文 文法 中国の料理の種類と各地料理	面接講義(オンライン等の対応可)	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5H) 予習：第二課の文型や分からない単語などを調べておくこと(0.5H)

	の特徴 若者の飲食について		
2回目	第二課 中国人的饮食习惯 会話 文法 中国人の飲食習慣の昔と現在の違いについて	面接講義(オンライン等の対応可)	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5H) 予習:第三課の分からない単語などを調べておくこと(0.5H)
3回目	第三課 送礼的讲究 本文 文法 中国人の付き合い方について	面接講義(オンライン等の対応可)	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5H) 予習:第四課の分からない単語などを調べておくこと(0.5H)
4回目	第四課 大学生心目中的理想职业 本文 文法 若者の就職事情	面接講義(オンライン等の対応可)	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5H) 予習:第五課の分からない単語などを調べておくこと(0.5H)
5回目	第五課 “中国式”结婚 本文 文法 中国人の恋愛と婚姻	面接講義(オンライン等の対応可)	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5H) 予習:第六課の分からない単語などを調べておくこと(0.5H)
6回目	第六課 对双职工家庭 本文 文法	面接講義(オンライン等の対応可)	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5H) 予習:第七課の分からない単語などを調べておくこと(0.5H)
7回目	第七課 中国人的称呼---辈分和面子 本文 文法 中国人の上下関係と呼称	面接講義(オンライン等の対応可)	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5H) 予習:中間テストの勉強をすること(1.5H)
8回目	中間テスト	面接講義(オンライン等の対応可)	復習:テストで分からないところを再復習する(0.5H) 予習:第八課の分からない単語などを調べておくこと(0.5H)
9回目	第八課 我会唱中文歌 本文 文法	面接講義(オンライン等の対応可)	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(0.5H) 予習:第九課の分からない単語などを調べておくこと(0.5H)
10回目	第九課 中国概况	面接講義(オンラ	復習:学習した内容をノートに整

	会話 本文 文法 中国の名称、国歌、民族について	ン等の対応可)	理しておくこと (0.5H) 予習：第十課の会話を熟読しておくこと (0.5H)
11 回目	第十課 中国的节日 会話 本文 文法 中国の祝祭日について	面接講義(オンライン等の対応可)	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと (0.5H) 予習：第十一課の分からない単語などを調べておくこと (0.5H)
12 回目	第十一課 中国人一生中经历的几种仪式 会話 本文 文法	面接講義(オンライン等の対応可)	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと (0.5H) 予習：第十二課の会話を熟読しておくこと (0.5H)
13 回目	第十二課 80 后和 90 后 会話 本文 文法	面接講義(オンライン等の対応可)	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと (0.5H) 予習：第十三課の分からない単語などを調べておくこと (0.5H)
14 回目	第十三課 电影<<少林寺>> 会話 本文 文法 中国の武術について	面接講義(オンライン等の対応可)	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと (0.5H) 予習：第十四課の分からない単語などを調べておくこと (0.5H)
15 回目	第十四課 看京剧 会話 本文 文法 総まとめ	面接講義(オンライン等の対応可)	復習：今までの配布資料やノートを見直すこと (2H)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特に指定しない。授業内容に合わせて、プリントを配布する
履修条件	・毎回必ず出席し、積極的に発話やグループディスカッションに参加する ・予習、復習を行うこと
履修上の注意	毎回必ず予習、復習を行うこと
オフィスアワー	質問やメッセージを紙に書き、事務局にある井上ボックスに入れておくこと
備考・メッセージ	毎日予習、復習をきちんと行い、根性よく、継続して学習してください。

講義科目名称：中国語アクティブラーニング	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(7stQ&8stQ)	2年	1単位	選択	演習
担当教員				
青木萌				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国語で簡単なスピーチを行ったり、作文が書けるようにする。授業では、主にHSK5級の作文を的確に解答し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK5級の作文問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10 % ・ 20 % ・ 10 % ・ 60 %
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100 %

補足事項	
<p>1. コロナウィルスの影響によっては、グーグルクラスルームのMeetでオンライン授業を行う場合があります。</p> <p>2. 課題提出を必ず厳守してください。課題提出のフィードバックはWeChatまたはLINEで行います。</p>	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK5級の作文1	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第2課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習: 第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
2回目	HSK5級の作文2	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第3課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習: 第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
3回目	HSK5級の作文3	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第4課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習: 第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
4回目	HSK5級の作文4	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第5課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習: 第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
5回目	HSK5級の作文5	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第6課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習: 第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
6回目	HSK5級の作文6	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第7課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習: 第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
7回目	HSK5級の作文7	1. 作文の練習	予習: 第8課で学ぶ箇所の

		2. 発音練習 3. 小テスト	音読練習。(0.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
8回目	HSK5級の作文8	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
9回目	HSK5級の作文9	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
10回目	HSK5級の作文10	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
11回目	HSK5級の作文11	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
12回目	HSK5級の作文12	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
13回目	HSK5級の作文13	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間)

			復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
14回目	HSK5級の作文14	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
15回目	HSK5級の作文15	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語演習Ⅲ（アクティブラーニング）	授業コード：13742
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	中国語演習Ⅲでは、中上級レベルの中国語を学習する。様々なテーマを用いた長文を音読し、新しい単語や文法を身につくことができる。終了時には、hsk4級に合格することができるように、会話、語彙、文法を総合的に学習する。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国の文化をより一層、理解することができる。	授業参加、授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	中上級者が使う文法や単語、会話を身につくことができる。	・中間テスト ・定期テスト	5% 60%
コミュニケーション能力	さまざまな場面において、中国の方と会話ができる。	発表	5%
課題解決能力	中上級者が使う文法や単語、会話を身につくことができる。	レポート	10%
主体的に学ぶ力	積極的に学習する姿勢が身につくことができる。	課題提出	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・授業の進め方、履修するにあたり、注意事項や心構えについて説明する。	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：検定を受けるまでのスケジュールや心構えについて（0.5H） 復習：確実に合格するためのプランを立てる（0.5H）
2回目	第1課 朋友 ・本文を音読する。日本語訳する。	面接講義（オンラン等の対応可）	予習：4級の単語（0.5H） 復習：新出単語と文法

	・文法や新出単語を学ぶ。	応可)	(0.5H)
3回目	第2課 隐私 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義 (オンラン等の対応可)	予習: 4級の単語 (0.5H) 復習: 新出単語と文法 (0.5H)
4回目	第3課 外人 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義 (オンラン等の対応可)	予習: 4級の単語 (0.5H) 復習: 新出単語と文法 (0.5H)
5回目	第4課 邻居 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義 (オンラン等の対応可)	予習: 4級の単語 (0.5H) 復習: 新出単語と文法 (0.5H)
6回目	第5課 过年 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義 (オンラン等の対応可)	予習: 4級の単語 (0.5H) 復習: 新出単語と文法 (0.5H)
7回目	・中間スト。 ・答え合わせ。 ・解説	面接講義 (オンラン等の対応可)	予習: 4級の単語 (0.5H) 復習: 間違った問題を再確認する (0.5H)
8回目	第6課 结婚 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義 (オンラン等の対応可)	予習: 4級の単語 (0.5H) 復習: 新出単語と文法 (0.5H)
9回目	第7課 竞争 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義 (オンラン等の対応可)	予習: 4級の単語 (0.5H) 復習: 新出単語と文法 (0.5H)
10回目	第8課 幸福 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義 (オンラン等の対応可)	予習: 4級の単語 (0.5H) 復習: 新出単語と文法 (0.5H)
11回目	第9課 情侣 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義 (オンラン等の対応可)	予習: 4級の単語 (0.5H) 復習: 新出単語と文法 (0.5H)
12回目	第10課 家教 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義 (オンラン等の対応可)	予習: 4級の単語 (0.5H) 復習: 新出単語と文法 (0.5H)
13回目	第11課 矛盾 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義 (オンラン等の対応可)	予習: 4級の単語 (0.5H) 復習: 新出単語と文法 (0.5H)
14回目	第12課 留学 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義 (オンラン等の対応可)	予習: 4級の単語 (0.5H) 復習: 新出単語と文法 (0.5H)
15回目	総まとめする。	面接講義 (オ	予習: 今まで学習した内容

		ンラン等の対応可)	やプリントを再確認する (0.5H) 復習：テスト勉強する (0.5H)
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特に指定しない。授業内容に合わせて、プリントを配布する。
履修条件	中国語 I、II 履修したこと。
履修上の注意	毎回必ず予習、復習を行うこと。
オフィスアワー	質問やメッセージを紙に書き、事務局にある井上ボックスに入れておくこと。
備考・メッセージ	毎日子習、復習をきちんと行い、根性よく、継続して学習してください。

講義科目名称：韓国語 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、韓国語の入門段階でハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実戦会話に活用できるように練習する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、日常的表現と基本的な言い回しを用いることができる。 ・韓国語で、ごく基本的な定型のあいさつや短い文章を書くことができる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2回目	韓国語の基本母音字、基本子音字 韓国語の基本母音字、基本子音字について勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きながら一個ずつ覚える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3回目	韓国語の複合母音、韓国語のパッチム 韓国語の複合母音、韓国語のパッチムについて勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きながら一個ずつ覚える。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
4回目	韓国語の発音の変化 韓国語の発音の変化について勉強する。 教科書を使って、該当する各例について一個ずつ確認する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
5回目	韓国語まとめ ハングルの組み合わせ（練習）	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

6回目	韓国語基礎文法・実戦会話1 名詞+은/는 名詞+입니다/입니까? 名詞+이에요/예요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	韓国語基礎文法・実戦会話2 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	韓国語基礎文法・実戦会話3 名詞+이/가 名詞+이/가 아니다 名詞+도	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	韓国語基礎文法・実戦会話4 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	韓国語基礎文法・実戦会話5 用言+습니다/입니다 名詞+에서 名詞+을/를 名詞+에 名詞+으로/로	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

			トを準備する（2時間）
11回目	韓国語基礎文法・実戦会話6 まとめ（単語・文法練習）	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
12回目	韓国語基礎文法・実戦会話7 이,그,저 일,이,삼 用言+아요/어요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
13回目	韓国語基礎文法・実戦会話8 まとめ（単語・文法練習）	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
14回目	韓国語基礎文法・実戦会話9 用言+아요/어요の縮約形 하나,둘,셋	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
15回目	韓国語基礎文法・実戦会話10 まとめ（単語・文法練習）	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 今までの授業内容を

			まとめた内容を確認して、 定期試験を準備する（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「おはよう韓国語1」
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	1Q月曜日1コマ目、2Q金曜日1コマ目（研究室） *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語 I	授業コード：3 2 1 4 4
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（1Q－2Q）	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
金キャロライン美熙				

授業概要	韓国語の入門段階でハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、正確かつ自然な韓国語の習得を目指し、簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実践会話に活用できるように練習する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	積極的な学習ができる。遅刻の有無なども評価に加味する。	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	①ハングルを正確な発音で読むことができ、聴き取ることができる。 ②ハングルを正しく書くことができる。 ③本文（会話文）を読んで、内容を正確に理解することができる。 ④基本文法・文型を理解し、状況に応じて簡単な日常的表現で会話ができる。	定期試験 小テスト (単語と文法など)	60% 20%
コミュニケーション能力	実際の受験を念頭に授業を進めるので文法と語彙の復習が大事である。	課題の提出	5%
課題解決能力	異文化知識・対応能力 相手の意思を理解・自らの意思を表現ができる。	グループワーク 授業への参加・態度	5%
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、出席度 10%、定期試験 60%、小テスト 20%、課題の提出 5%、グループワーク 5%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介、韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について	対面授業	※毎回復習の小テスト有り 復習 なし
2回目	「ハングルの基本母音字、基本子音字」 韓国語の文字「ハングル」について説明 ハングルの基本母音字、基本子音字について学習する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きながら一個ずつ覚える。	対面授業	復習：韓国語の特徴、韓国語の勉強方法についてもう一度確認する。 予習：ハングルの複合母音とパッチムについて調べる。
3回目	「ハングルの複合母音とパッチム」 ハングルの複合母音とパッチムについて学習する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きながら一個ずつ覚える。	対面授業	復習：ハングルの基本母音字、基本子音字についてもう一度確認する。 予習：ハングルの発音の変化について調べる
4回目	「発音の変化」 ハングルの文字が連なる時の発音の規則を学ぶ。	対面授業	復習：ハングルの複合母音、とパッチムについてもう一度確認する。 予習：ハングルで書いている単語や短い文の正しい読み方を調べる。
5回目	「ハングルまとめ」 ハングルの組み合わせ（練習）	対面授業	復習：ハングル文章を書く方法についてもう一度確認する 予習：韓国語基礎文法・会話1の単語について調べる
6回目	「韓国語基礎文法・実践会話1」 助詞：는/은 名詞+입니다/입니까? 名詞+예요/이에요	対面授業	復習：韓国語基礎文法・会話1の単語について単語テストで確認する 予習：韓国語基礎文法・会話2の単語について調べる
7回目	「韓国語基礎文法・実践会話2」 まとめ（単語・文法練習）	対面授業	復習：韓国語基礎文法・会話2の単語について単語テストで確認する 予習：韓国語基礎文法・会話3の単語について調べる
8回目	「韓国語基礎文法・実践会話3」 名詞+가/이 名詞+가/이 아니다 助詞：도	対面授業	復習：韓国語基礎文法・会話3の単語について単語テストで確認する 予習：韓国語基礎文法・会話4の単語について調べる
9回目	「韓国語基礎文法・実践会話4」 まとめ（単語・文法練習）	対面授業	復習：韓国語基礎文法・会話4の単語について単語テストで確認する 予習：韓国語基礎文法・会話5の単語について調べる
10回目	「韓国語基礎文法・実践会話5」 用言+습니다/습니다 助詞：에서、를/을、에、로/으로	対面授業	復習：韓国語基礎文法・会話5の単語について単語テストで確認する 予習：韓国語基礎文法・会話6の単語

			について調べる
11 回目	「韓国語基礎文法・実践会話 6」 まとめ (単語・文法練習)	対面授業	復習: 韓国語基礎文法・会話 6 の単語 について単語テストで確認する 予習: 韓国語基礎文法・会話 7 の単語 について調べる
12 回目	「韓国語基礎文法・実践会話 7」 指示代名詞 이, 그, 저 漢数字 일, 이, 삼 用言 + 아요/어요	対面授業	復習: 韓国語基礎文法・会話 7 の単語 について単語テストで確認する 予習: 韓国語基礎文法・会話 8 の単語 について調べる
13 回目	「韓国語基礎文法・実践会話 8」 まとめ (単語・文法練習)	対面授業	復習: 韓国語基礎文法・会話 8 の単語 について単語テストで確認する 予習: 韓国語基礎文法・会話 9 の単語 について調べる
14 回目	「韓国語基礎文法・実践会話 9」 用言 + 아요/어요 縮約形 固有数字 하나, 둘, 셋	対面授業	復習: 韓国語基礎文法・会話 9 の単語 について単語テストで確認する 予習: 韓国語基礎文法・会話 10 の単語 について調べる
15 回目	「韓国語基礎文法・実践会話 10」 まとめ (単語・文法練習)	対面授業	復習: 韓国語基礎文法・会話 10 の単語 について単語テストで確認する 予習: 今まで勉強した内容を整理し、 テストを準備する
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書: 「おはよう韓国語 1」 参考書: 「グループで楽しく学ぼう! 韓国語」
履修条件	
履修上の注意	授業の際は必ず教科書、ハンドアウト、辞書を持参すること。
オフィスアワー	授業の前後・メールで質問や聞き合わせ。学生の希望によって相談可能。 (carolinekim930@gmail.com)
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> 授業に関する質問は直接のほか Melly/Google Classroom でも受け付け、web 上あるいは以降の授業回で答える。 対面授業が出来ない場合は、リモートで授業を行う場合があります。 必ず予習・復習して授業に参加する。 課題提出は締切厳守 授業計画 (シラバス) に沿って授業を進行するのが原則であるが、受講している学生の理解度・実態によってスケジュールや内容等を、やむを得ず変更する場合があります。

講義科目名称：韓国語Ⅱ	授業コード：24644
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（6Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
金キャロライン美熙				

授業概要	<p>大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）を通じて、韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。TOPIKⅡに合格するために、出題の種類およびその攻略法を把握するとともに、既出問題および予想問題を利用し、語彙と文法、文の理解と記述を中心とする内容をドリル式に学習していく。約3000語以上の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本授業は「TOPIKⅡ」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	積極的な学習ができる。遅刻の有無なども評価に加味する。	・ 授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	日常生活に必要な基礎的な言語（ハングル）を駆使でき、身近な話題の内容を理解、表現できる。公式的な状況か非公式的な状況かの言語（ハングル）を区分し、使用できる。	・ 定期試験 ・ 小テスト (単語と文法など)	60% 10%
コミュニケーション能力	実際の受験を念頭に授業を進めるので文法と語彙の復習が大事である。	・ 課題の提出	10%
課題解決能力	異文化知識・対応能力 相手の意思を理解・自らの意思を表現ができる。	・ グループワーク	10%
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
<p>・ 本授業では、出席度 10%、定期試験 60%、小テスト 10%、課題の提出 10%、グループワーク 10%の割合で評価する。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進み方、クラス分け、 TOPIK の概要、問題の特徴 TOPIK の勉強方法について	対面授業	毎回復習の小テスト有り 復習：なし 予習：なし
2回目	「テキスト TOPIK II」 제 12 과 오늘의 어휘·문법 35-36 (듣기/읽기)	対面授業	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
3回目	「テキスト TOPIK II」 제 13 과 오늘의 어휘·문법 (쓰기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
4回目	「テキスト TOPIK II」 제 14 과 오늘의 어휘·문법 37-39 (듣기/읽기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
5回目	「テキスト TOPIK II」 제 15 과 오늘의 어휘·문법 (쓰기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
6回目	「テキスト TOPIK II」まとめ 제 11-15 과 오늘의 어휘·문법 40-41 (듣기/읽기)	対面授業	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
7回目	「テキスト TOPIK II」 제 16 과 오늘의 어휘·문법 (쓰기)	対面授業	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
8回目	「テキスト TOPIK II」 제 17 과 오늘의 어휘·문법 42-43 (듣기/읽기)	対面授業	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
9回目	「テキスト TOPIK II」 제 18 과 오늘의 어휘·문법 (쓰기)	対面授業	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
10回目	「テキスト TOPIK II」 제 19 과 오늘의 어휘·문법 44-45 (듣기/읽기)	対面授業	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
11回目	「テキスト TOPIK II」 제 20 과 오늘의 어휘·문법 (쓰기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
12回目	「テキスト TOPIK II」 제 21 과 오늘의 어휘·문법 46-47 (듣기/읽기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
13回目	「テキスト TOPIK II」 제 22 과 오늘의 어휘·문법 (쓰기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
14回目	「テキスト TOPIK II」 제 23 과 오늘의 어휘·문법 48-49 (듣기/읽기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
15回目	「テキスト TOPIK II」 제 24-25 과 まとめ	対面授業	予習：なし 復習：今まで勉強した内容をもう一度確認する
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「できる韓国語初級Ⅱ」DEKIRU 出版 参考書： 한국어뱅크 TOPIKⅡ한권이면 OK 한국어능력시험 중·고급 (3-6 급) 동양북스 ISBN 979-11-5768-232-4
履修条件	
履修上の注意	授業の際は必ず教科書、ハンドアウト、辞書を持参すること。
オフィスアワー	授業の前後・メールで質問や聞き合わせ。学生の希望によって相談可能。 (carolinekim930@gmail.com)
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関する質問は直接のほか Melly/Google Classroom でも受け付け、web 上あるいは以降の授業回で回答します。 ・ 対面授業が出来ない場合はリモートで授業を行う場合があります。 ・ 必ず予習・復習して授業に参加する。 ・ 課題提出は締切厳守 <p>授業計画（シラバス）に沿って授業を進行するのが原則であるが、受講している学生の理解度・実態によってスケジュールや内容等を、やむを得ず変更する場合があります。</p>

講義科目名称：韓国語 I I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（6Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。 ・TOPIK3級のライティング問題の類型を把握し、合格(5割以上正解)できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK 3級ライティング問題分析1 TOPIKIIの3級ライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK 3級ライティング問題分析2 TOPIKIIの3級ライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK 3級ライティング問題分析3 TOPIKIIの3級ライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK 3級ライティング問題分析4 TOPIKIIの3級ライティング問題の類型を	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必

	分析し、受験対策を行う		<p>要な単語、表現を整理する (2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
6回目	<p>TOPIK 3級ライティング問題分析 5</p> <p>TOPIKII の3級ライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
7回目	<p>TOPIK 3級ライティング問題分析 6</p> <p>TOPIKII の3級ライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
8回目	<p>TOPIK 3級ライティング問題分析 7</p> <p>TOPIKII の3級ライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
9回目	<p>TOPIK 3級ライティング問題分析 8</p> <p>TOPIKII の3級ライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
10回目	TOPIK 3級ライティング問題分析 9	対面授業	予習 シラバス及び

	TOPIKII の3級ライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う		GOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
11回目	TOPIK 3級ライティング問題分析10 TOPIKII の3級ライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
12回目	TOPIK 3級ライティング問題分析11 TOPIKII の3級ライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
13回目	TOPIK 3級ライティング問題分析12 TOPIKII の3級ライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する（2時間）
14回目	TOPIKII 模擬テスト（ライティング） TOPIKII の模擬テスト（ライティング）実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

			トを準備する（2時間）
15回目	<p>総まとめ</p> <p>今まで学習した内容の整理</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する（2時間）</p>
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	<p>教科書：「TOPIKII 徹底攻略」</p> <p>参考書：「TOP I KII 1冊でOK」日本語版</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	<p>1Q 月曜日 1コマ目、2Q 金曜日 1コマ目（研究室）</p> <p>*その他、授業の前後及び空きコマも可</p>
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語会話	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（4Q）	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、会話を中心としたコミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。さまざまな場面で核心フレーズを聴いて、離す練習を通じてネイティブの韓国人学生達と話して会話の「感」を覚える。本授業は「TOPIK I」2級のリスニング問題の用いた文章を理解でき、会話力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK2級以上合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。 ・韓国語で、直接的関係がある領域に関してよく使われる表現が理解できる。 ・TOPIK 2級のリスニング問題の類型を把握し、合格(7割以上正解)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	60% 20%
異文化知識・対応能力	・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について、長崎県韓国語スピーチ大会について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
2回目	TOPIK2級リスニング問題分析1 TOPIKIの2級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
3回目	TOPIK2級リスニング問題分析2 TOPIKIの2級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
4回目	TOPIK2級リスニング問題分析3 TOPIKIの2級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
5回目	TOPIK2級リスニング問題分析4	対面授業	予習 シラバス及び

	TOPIK Iの2級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う		GOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
6回目	TOPIK 2級リスニング問題分析 5 TOPIK Iの2級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
7回目	TOPIK 2級リスニング問題分析 6 TOPIK Iの2級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
8回目	TOPIK 2級リスニング問題分析 7 TOPIK Iの2級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
9回目	TOPIK 2級リスニング問題分析 8 TOPIK Iの2級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）

			トを準備する（1時間）
10回目	TOPIK 2級リスニング問題分析 9 TOPIK Iの2級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
11回目	TOPIK 2級リスニング問題分析 10 TOPIK Iの2級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する（1時間）
12回目	TOPIK I 模擬テスト（リスニング） TOPIK Iの模擬テスト（リスニング）実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
13回目	韓国語スピーチ大会準備 1 韓国語スピーチ大会の開催目的、実施内容などを把握して、スピーチ大会の準備を行う（暗唱もしくはスピーチ）	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する（1時間）
14回目	韓国語スピーチ大会準備 2 韓国語スピーチ大会に備えて準備した内容を大会本番の審査基準、採点方法に基づいて評価し	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する

	その内容について話し合う (暗唱もしくはスピーチ)		(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(1時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(1時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKI 徹底攻略」 参考書:「TOPIKI1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目(研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称：韓国語検定 I	授業コード：21144
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1	2	選択	講義
担当教員				
朴 基延				

授業概要	韓国語の基礎文法を学び TOPIK1,2 級に挑戦
------	---------------------------

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	積極的に、授業参加	授業への参加	5%
確かな専門的知識 や技能	韓国語初級単語 800 個以上覚える	定期試験 単語テスト	75% 20%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	授業の進み方、自己紹介	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加 予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
2 回目	挨拶、自己紹介	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加 予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
3 回目	事物の指示すること	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加 予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
4 回目	場所表現 1	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加 予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
5 回目	場所表現 2	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加 予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる

6 回目	位置の表現 1	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
7 回目	位置の表現 2	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
8 回目	日常生活と数字表現 1	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
9 回目	日常生活と数字表現 2	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
10 回目	時間表現と過去表現	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
11 回目	日程	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
12 回目	計画	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
13 回目	能力	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
14 回目	希望、理由	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
15 回目	夢	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	TOPIK 1 初級
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	

講義科目名称：韓国語検定 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（1Q）	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約 800 語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK 1 級以上合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を 800 個以上覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK1級問題分析1 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK1級問題分析2 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK1級問題分析3 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK1級問題分析4	対面授業	予習 シラバス及び

	TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う		GOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
6回目	TOPIK 1級問題分析5 TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
7回目	TOPIK 1級問題分析6 TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
8回目	TOPIK 1級問題分析7 TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
9回目	TOPIK 1級問題分析8 TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

			トを準備する（2時間）
10回目	<p>TOPIK 1級問題分析9</p> <p>TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
11回目	<p>TOPIK 1級問題分析10</p> <p>TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
12回目	<p>TOPIK 1級問題分析最後</p> <p>TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
13回目	<p>TOPIK I模擬テスト（リスニング）</p> <p>TOPIK Iの模擬テスト（リスニング）実施、採点方法、採点後の整理方法について</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
14回目	<p>TOPIK I模擬テスト（リーディング）</p> <p>TOPIK Iの模擬テスト（リーディング）実施、採点方法、採点後の整理方法について</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p>

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「TOPIKI 徹底攻略」 参考書：「TOP I K I 1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	1Q月曜日1コマ目、2Q金曜日1コマ目（研究室） *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語検定Ⅱ	授業コード：11244
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1	2	選択	講義
担当教員				
朴 基延				

授業概要	韓国語初・中級文法を学び TOPIK3 級に挑戦
------	--------------------------

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	積極的に、授業参加	授業への参加	5%
確かな専門的知識 や技能	韓国語初級単語 800 個以上覚える	定期試験 単語テスト	75% 20%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	授業の進み方、自己紹介	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加 予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
2 回目	挨拶、自己紹介	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加 予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
3 回目	単語テスト	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加 予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
4 回目	場所表現 3	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加 予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
5 回目	場所表現 4	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加 予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる

6 回目	位置の表現 3	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
7 回目	位置の表現 4	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
8 回目	日常生活と数字表現 3	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
9 回目	日常生活と数字表現 4	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
10 回目	時間表現と未来表現	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
11 回目	日程、推測	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
12 回目	計画、予定	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
13 回目	能力、意見	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
14 回目	活動	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
15 回目	まとめ	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	TOPIK 1 初級
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	

講義科目名称：韓国語検定 I I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（2Q）	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約 1500 語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK2 級以上合格を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を 1,500 個以上覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK2級問題分析1 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK2級問題分析2 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK2級問題分析3 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK2級問題分析4	対面授業	予習 シラバス及び

	TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う		GOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
6回目	TOPIK 2級問題分析5 TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
7回目	TOPIK 2級問題分析6 TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
8回目	TOPIK 2級問題分析7 TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
9回目	TOPIK 2級問題分析8 TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

			トを準備する（2時間）
10回目	<p>TOPIK 2級問題分析9</p> <p>TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
11回目	<p>TOPIK 2級問題分析10</p> <p>TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
12回目	<p>TOPIK 2級問題分析最後</p> <p>TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
13回目	<p>TOPIK I模擬テスト（リスニング）</p> <p>TOPIK Iの模擬テスト（リスニング）実施、採点方法、採点後の整理方法について</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
14回目	<p>TOPIK I模擬テスト（リーディング）</p> <p>TOPIK Iの模擬テスト（リーディング）実施、採点方法、採点後の整理方法について</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p>

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「TOPIKI 徹底攻略」 参考書：「TOP I K I 1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	1Q月曜日1コマ目、2Q金曜日1コマ目（研究室） *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語検定Ⅲ	授業コード：33544
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期 (5Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
金キャロライン美熙				

授業概要	大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。TOPIK レベル3以上に合格することを目当てに、出題の種類およびその攻略法を把握するとともに、既出問題および予想問題を利用し、語彙と文法、文の理解と記述を中心にする内容をドリル式に学習していく。約3000語以上の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	積極的な学習ができる。遅刻の有無なども評価に加味する。	・ 授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	日常生活に必要な基礎的な言語（ハングル）を駆使でき、身近な話題の内容を理解、表現できる。公式的な状況か非公式的な状況かの言語（ハングル）を区分し、使用できる。	・ 定期試験 ・ 小テスト (単語と文法など)	60% 10%
コミュニケーション能力	実際の受験を念頭に授業を進めるので文法と語彙の復習が大事である。	・ 課題の提出	10%
課題解決能力	異文化知識・対応能力 相手の意思を理解・自らの意思を表現ができる。	・ グループワーク	10%
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
・ 本授業では、出席度 10%、定期試験 60%、小テスト 10%、課題の提出 10%、グループワーク 10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方、クラス分け、TOPIK II の概要、問題の特徴、TOPIK II の勉強方法について	対面授業	毎回復習の小テスト有り 復習：なし 予習：なし
2回目	「テキスト TOPIK II」 제 1 과 오늘의 어휘·문법 1-8 (듣기/읽기)	対面授業	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
3回目	「テキスト TOPIK II」 제 2 과 오늘의 어휘·문법 9-16 (듣기/읽기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
4回目	「テキスト TOPIK II」 제 3 과 오늘의 어휘·문법 17-20 (듣기/읽기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
5回目	「テキスト TOPIK II」 제 4 과 오늘의 어휘·문법 21-22 (듣기/읽기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
6回目	「テキスト TOPIK II」 제 5 과 오늘의 어휘·문법 23-24 (듣기/읽기)	対面授業	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
7回目	「テキスト TOPIK II」 まとめ 제 1-5 과 오늘의 어휘·문법 25-26 (듣기/읽기)	対面授業	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
8回目	「テキスト TOPIK II」 제 6 과 오늘의 어휘·문법 27-28 (듣기/읽기)	対面授業	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
9回目	「テキスト TOPIK II」 제 7 과 오늘의 어휘·문법 29-30 (듣기/읽기)	対面授業	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
10回目	「テキスト TOPIK II」 제 8 과 오늘의 어휘·문법 (쓰기)	対面授業	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
11回目	「テキスト TOPIK II」 제 9 과 오늘의 어휘·문법 (쓰기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
12回目	「テキスト TOPIK II」 제 10 과 오늘의 어휘·문법 31-32 (듣기/읽기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
13回目	「テキスト TOPIK II」 まとめ 제 6-10 과 오늘의 어휘·문법 33-34 (듣기/읽기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
14回目	「テキスト TOPIK II」 제 11 과 오늘의 어휘·문법 (쓰기)	対面授業	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
15回目	「テキスト TOPIK II」 まとめ	対面授業	予習：なし 復習：今まで勉強した内容をもう一度確認する
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「できる韓国語初級Ⅱ」DEKIRU 出版 参考書： 한국어뱅크 TOPIKⅡ한권이면 OK 한국어능력시험 중·고급 (3-6 급) 동양북스 ISBN 979-11-5768-232-4
履修条件	
履修上の注意	授業の際は必ず教科書、ハンドアウト、辞書を持参すること。
オフィスアワー	授業の前後・メールで質問や聞き合わせ。学生の希望によって相談可能。 (carolinekim930@gmail.com)
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関する質問は直接のほか Melly でも受け付け、web 上あるいは以降の授業回で答える。 ・ 対面授業が出来ない場合はリモートで授業を行う場合があります。 ・ 必ず予習・復習して授業に参加する。 ・ 課題提出は締切厳守 <p>授業計画（シラバス）に沿って授業を進行するのが原則であるが、受講している学生の理解度・実態によってスケジュールや内容等を、やむを得ず変更する場合があります。</p>

講義科目名称：韓国語検定 I I I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（5Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。 ・TOPIK3級のリスニング問題の類型を把握し、合格(6割以上正解)できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			
<p>・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。</p> <p>・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKII の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK 3級リスニング問題分析1 TOPIKII の3級リスニング問題の類型を分 析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK 3級リスニング問題分析2 TOPIKII の3級リスニング問題の類型を分 析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK 3級リスニング問題分析3 TOPIKII の3級リスニング問題の類型を分 析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK 3級リスニング問題分析4 TOPIKII の3級リスニング問題の類型を分 析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)

			トを準備する（2時間）
6回目	<p>TOPIK 3級リスニング問題分析5</p> <p>TOPIKIIの3級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
7回目	<p>TOPIK 3級リスニング問題分析6</p> <p>TOPIKIIの3級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
8回目	<p>TOPIK 3級リスニング問題分析7</p> <p>TOPIKIIの3級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
9回目	<p>TOPIK 3級リスニング問題分析8</p> <p>TOPIKIIの3級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
10回目	<p>TOPIK 3級リスニング問題分析9</p> <p>TOPIKIIの3級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p>

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
11回目	TOPIK 3級リスニング問題分析10 TOPIKIIの3級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
12回目	TOPIK 3級リスニング問題分析11 TOPIKIIの3級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
13回目	TOPIK 3級リスニング問題分析12 TOPIKIIの3級リスニング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する（2時間）
14回目	TOPIKII 模擬テスト（リスニング） TOPIKIIの模擬テスト（リスニング）実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必

			要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 今までの授業内容を まとめた内容を確認して、 定期試験を準備する (2時 間)
16回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII 徹底攻略」 参考書:「TOP I KII 1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	1Q 月曜日 1コマ目、2Q 金曜日 1コマ目 (研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト (単語) があります。

講義科目名称：韓国語ライティング&文法Ⅰ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（4Q）	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、基本になる文型と単語を学習し、その文法を使った韓国語文章を正書法とともに繰り返して書く練習を行う。また、学習した文法を読解で応用し、文章を作る原理と活用方法を理解する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で、自身の必要や感情を表すために、基礎的な語彙を用いた短い文章を書くことができる。 ・韓国語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	60% 20%
異文化知識・対応能力	・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介	復習 なし 予習 次回の単語・表現を予習する。
2回目	こんにちは。お会いできてうれしいです。	-이에요/예요 -사람이에요? -도	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
3回目	弟/妹が二人います。	-이/가 있어요/없어요 -하고- -에 계세요/있어요 -은/는 없어요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
4回目	寮はどこにありますか。	-이/가 어디예요? -은/는요? -은/는 -에 살아요 -이/가 어디에 있어요?	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
5回目	誕生日はいつですか。	-이/가 언제예요? -(에)시간 있어요? -이/가 무슨 요일이에요? -르/을까요?	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
6回目	趣味は何ですか。	-을/를 좋아해요 무슨 -을/를 좋아해요? -기예요 -마다 -을/를	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
7回目	スンドゥブとテンジャンチゲ下さい。	-(좀) 주세요 -하고 -주세요 -을/를 먹고 싶어요 -고 싶어요 -ㄴ/은 + 名詞	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
8回目	家で休みました。	-와/과 -에 갔어요 -에서 -(있/았/였)어요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を

		-에 뭘 -았어요?	予習する。
9回目	デパート正面入口の前で3時に会いましょう。	-(으)세요? (같이) -르/을래요? 어디서 -르/을까요? -고	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
10回目	2号線から3号線に乗り換えなければいけません。	-(어/아/여)야 해요 -(어/아/여)서 -(으)면 돼요 -은/는 어떻게 가요?	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
11回目	少し大きいのを下さい。	이 -얼마예요? -어/아/여 보세요 -ㄴ/은/는 + 名詞 -(으)로 주세요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
12回目	ヨンヒさんいらっしゃいますか。	저, -계세요/있어요? -계세요/있어요? 저 -인데요 -때문에	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
13回目	濟州島に行ったことがありますか。	-어/아/여 봤어요? -(으)려고 해요 -(어/아/여)도 돼요? -르/을 거예요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 今までの内容をまとめた作文を準備する。
14回目	韓国語実戦作文	今まで勉強した文型を活用して、作文練習を行う。	復習 作文の内容をもう一度確認する。 予習 今まで勉強した内容を整理する。
15回目	総まとめ	今まで学習した内容の整理	復習 今まで勉強した内容をもう一度確認する。 予習 テストを準備する
16回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「楽しく学ぶ韓国語1」日本語版
履修条件	
履修上の注意	

オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目（研究室）
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語ライティング&文法II	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（7Q－8Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、主に文法を中心として学習し、学習した文法を使って文章を作る。同じ単語や文を繰り返し書くことでその意味と活用方法が理解できる。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・社会や時代の流れに問題意識を持ち、自ら調べ、適切に判断し、継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・外国語で、幅広い話題についての明確で詳細な文章を、比較的高度な語彙を活用して書くことができる。 ・韓国で知名度の高い視聴覚資料を通じて韓国文化への理解を高める。	・課題	60%
異文化知識・対応能力	・相手や目的・場面に応じて自らの意思を適切に表現・伝達し、相手の意思を的確に理解することができる。	・グループワーク	35%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、グループワーク35%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査など	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
2回目	200字ー300字作文1 説明文の展開方法について 「定義」「比較」「分析」「分類」	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
3回目	200字ー300字作文2 文の構成について 「導入ー展開ーまとめ」	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
4回目	200字ー300字作文3 客観的な作文と「書き言葉」について	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
5回目	200字ー300字作文4 語彙と文法の中級表現と作文の注意事項につい て	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)

6回目	200字ー300字作文5 文の種類による表現について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	200字ー300字作文テスト TOPIK I Iのライティング既出問題を通じて作文テスト	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	600字ー700字作文1 テーマに合わせて論理的に書く1 テーマと課題の把握について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	600字ー700字作文2 テーマに合わせて論理的に書く2 「序論」「本論」「結論」構成について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	600字ー700字作文3 語彙と文法の高級表現と作文の注意事項について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた

			内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
11回目	600字ー700字作文4 重要文法と表現1	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
12回目	600字ー700字作文5 重要文法と表現2	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
13回目	600字ー700字作文6 重要文法と表現3	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、作文テストを準備する（2時間）
14回目	600字ー700字作文テスト TOPIK IIのライティング既出問題を通じて作文テスト	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する

			(2時間) 復習 今までの授業内容を まとめた内容を確認して、 定期試験を準備する(2時 間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	各授業で提示する。 参考書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	金曜日1コマ目(研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称：韓国語演習 I	授業コード：22544
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q・6Q	2	2	選択	演習
担当教員				
朴 基延				

授業概要	理論的に学んだ知識の実際活動
------	----------------

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	外国語を通じたグローバル的な人間関係を学ぶ	授業参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	韓国語で、書かれた文章を理解し、伝達能力を高める。	課題	60%
コミュニケーション能力	韓国の文化を韓国語で、学び、理解する。 日本の文化を韓国語で、学び、韓国人に伝達する。	グループワーク	35%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業の進み方	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
2回目	大衆交通 利用する	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
3回目	住宅形態を知る	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
4回目	買い物形態を知る	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる

5 回目	ゴミ分種・排出形態を知る	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
6 回目	大学生活を学ぶ	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
7 回目	外食形態を学ぶ	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
8 回目	購入方法を知る	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
9 回目	メッセージを送る（絵文字）	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
10 回目	呼び方（家族・親戚）	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
11 回目	各種記念日を知る	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
12 回目	紹介・出会いに関して知る	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
13 回目	映画・動画に関する情報	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
14 回目	食事礼儀について学ぶ	面接授業	今回まとめた内容に新たな知識を追加予習として、次の授業のテーマを知らせ調べさせる
15 回目	まとめ	面接授業	整理
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	韓国語・韓国文化（다락원）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	火曜日 2 コマ、月曜日 2 コマ
備考・メッセージ	

講義科目名称：韓国語演習 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（5Q－6Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、実際の韓国人の言語生活の中で最も頻度が高い文型を使って会話能力を高め、様々な場面での日常会話を習得する。また多様な演習の機会を設けることで韓国語の正確性と流暢性を高めると共に短期間で韓国語の能力を向上させる。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語で書かれた、比較的身近な話題についての標準的な文章を読み、内容を理解することができる。 ・外国語で、仕事、学校、娯楽などたいていな事態に対処することができる。 ・TOPIK3級のリーディング問題の類型を把握し、合格(6割以上正解)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK 3級リーディング問題分析1 TOPIKIIの3級リーディング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK 3級リーディング問題分析2 TOPIKIIの3級リーディング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK 3級リーディング問題分析3 TOPIKIIの3級リーディング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK 3級リーディング問題分析4	対面授業	予習 シラバス及び

	TOPIKII の3級リーディング問題の類型を分析し、受験対策を行う		GOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
6回目	TOPIK 3級リーディング問題分析5 TOPIKII の3級リーディング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
7回目	TOPIK 3級リーディング問題分析6 TOPIKII の3級リーディング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
8回目	TOPIK 3級リーディング問題分析7 TOPIKII の3級リーディング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
9回目	TOPIK 3級リーディング問題分析8 TOPIKII の3級リーディング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

			トを準備する（2時間）
10回目	<p>TOPIK 3級リーディング問題分析 9</p> <p>TOPIKII の3級リーディング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
11回目	<p>TOPIK 3級リーディング問題分析 10</p> <p>TOPIKII の3級リーディング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
12回目	<p>TOPIK 3級リーディング問題分析 11</p> <p>TOPIKII の3級リーディング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
13回目	<p>TOPIK 3級リーディング問題分析 12</p> <p>TOPIKII の3級リーディング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する（2時間）</p>
14回目	<p>TOPIKII 模擬テスト（リーディング）</p> <p>TOPIKII の模擬テスト（リーディング）実施、採点方法、採点後の整理方法について</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p>

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「TOPIKII 徹底攻略」 参考書：「TOP I K II 1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	1Q月曜日1コマ目、2Q金曜日1コマ目（研究室） *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語演習ⅠⅠ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（7Q－8Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、今まで学習してきた理論的な知識を韓国の文化・社会・スポーツ・経済・教育など様々な分野についての文章を読んで、その内容について話し合うことで、韓国語の表現力・会話力を高める。また様々な韓国の文化を体験することでより韓国に関する興味と知識を深める。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や時代の流れに問題意識をもち、自ら調べ、適切に判断し、継続して行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加・態度 	5%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で書かれた、具体的・もしくは抽象的な話題についてのある程度複雑な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、幅広い話題について明確で詳細に情報を伝えることができる。 ・韓国で知名度の高い視聴覚資料を通じて韓国文化への理解を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 	60%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的・場面に応じて自らの意思を適切に表現・伝達し、相手の意思を的確に理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク 	35%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、定期試験60%、グループワーク35%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査など	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テス トを準備する(2時間)
2回目	コーヒー共和国 「文化」についてのテキストを読み、発音・感 じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容 について討論する。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テス トを準備する(2時間)
3回目	BTS効果とK-POP留学 「文化」についてのテキストを読み、発音・感 じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容 について討論する。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テス トを準備する(2時間)
4回目	渋谷が笑った 「スポーツ」についてのテキストを読み、発音・ 感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内 容について討論する。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テス トを準備する(2時間)
5回目	小学生から化粧？ 「経済・社会」についてのテキストを読み、発 音・感じ・文法・内容について聞く問題を解い て、内容について討論する。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
6回目	1歳のお祝いは家族水入らずで・・・ 「社会・文化」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
7回目	韓国人が行きたい国？ 「文化・観光」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
8回目	さすがツンデレ？ 「韓国・日本」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
9回目	大卒者就職率が66％・・・ 「経済・教育」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
10回目	5歳の子供が95億ウォンビル？ 「経済」についてのテキストを読み、発音・感	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必

	じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。		<p>要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
11回目	<p>入試には、お父さんの無関心？</p> <p>「教育」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
12回目	<p>20年間、兵役？</p> <p>「社会」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
13回目	<p>アパートで老後対策？</p> <p>「経済」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
14回目	<p>原稿暗唱</p> <p>今まで勉強した内容の中でテキストを1つ選んで暗唱し、その内容について話し合う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
15回目	総まとめ	対面授業	予習 シラバス及び

	今まで学習した内容の整理		GOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する（2時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：今知りたい、韓国を読む（朝日出版社）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	金曜日 1 コマ目（研究室） * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語アクティブラーニング	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（7Q－8Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、定型化された教科書の文形から離れて実際使われている視聴覚資料を通じて、「自分のことば」としての韓国語を練習することを目的とする。同じ性別・同じ年齢代の韓国人が使用することばで構成されたコンテンツを体験して感想を語り合い、自分のことばで表現することで、より完成度の高い韓国語を駆使できるようにする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・社会や時代の流れに問題意識をもち、自ら調べ、適切に判断し、継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な要内容を理解できる。 ・韓国で知名度の高い視聴覚資料を通じて韓国文化への理解を高める。	・課題	60%
異文化知識・対応能力	・相手や目的・場面に応じて自らの意思を適切に表現・伝達し、相手の意思を的確に理解することができる。	・グループワーク	35%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、定期試験60%、グループワーク35%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業概要、アンケート、外国語コンテンツの利用方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)
2回目	韓国ドラマで勉強する韓国語1 韓国ドラマの1シーンを観て感想を語り合い、 映画の中に出てくる単語、表現を整理する。1シ ーンを再演するための役割分担を行う。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)
3回目	韓国ドラマで勉強する韓国語2 前回勉強した1シーンで出てきた単語と表現を 確認し、台詞を覚えて、直接再演する。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)
4回目	韓国ドラマで勉強する韓国語3 韓国ドラマの1シーンを観て感想を語り合い、 映画の中に出てくる単語、表現を整理する。1シ ーンを再演するための役割分担を行う。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)
5回目	韓国ドラマで勉強する韓国語4 前回勉強した1シーンで出てきた単語と表現を 確認し、台詞を覚えて、直接再演する。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する

			(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
6回目	韓国ドラマで勉強する韓国語5 韓国ドラマの1シーンを観て感想を語り合い、映画の中に出てくる単語、表現を整理する。1シーンを再演するための役割分担を行う。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
7回目	韓国ドラマで勉強する韓国語6 前回勉強した1シーンで出てきた単語と表現を確認し、台詞を覚えて、直接再演する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
8回目	韓国ドラマで勉強する韓国語7 韓国ドラマの1シーンを観て感想を語り合い、映画の中に出てくる単語、表現を整理する。1シーンを再演するための役割分担を行う。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
9回目	韓国ドラマで勉強する韓国語8 前回勉強した1シーンで出てきた単語と表現を確認し、台詞を覚えて、直接再演する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
10回目	韓国ドラマで勉強する韓国語9	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示す

	韓国ドラマの1シーンを観て感想を語り合い、映画の中に出てくる単語、表現を整理する。1シーンを再演するための役割分担を行う。		る講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
11回目	韓国ドラマで勉強する韓国語10 前回勉強した1シーンで出てきた単語と表現を確認し、台詞を覚えて、直接再演する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
12回目	韓国ドラマ実演の準備1 韓国のドラマの1シーンを役割分担して紹介し、実演する準備を行う。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
13回目	韓国ドラマ実演の準備2 韓国のドラマの1シーンを役割分担して紹介し、実演する準備を行う。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
14回目	韓国ドラマ実演の準備3 韓国のドラマの1シーンを役割分担して紹介し、実演する準備を行う。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）

15 回目	韓国ドラマの実演 発音と感情伝達に注意して、自分が選んだの 1 シーンを直接演じてみる。(台詞集と短語・表現の表を提出)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する (1 時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する (1 時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	各授業で提示
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	金曜日 1 コマ目 (研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト (単語) があります。

講義科目名称:基礎日本語I	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q 2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	日本語学習の基礎となる初級日本語文法を習得し中級日本語文法の運用力をつける。学習した文型、語彙の理解を深める。内容のポイントをとらえる練習を継続的に行い、能動的な言語活動を促す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験 ミニテスト	40% 25%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。		
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項
<p>初級から中級の語彙や文型を増やして、日常生活における日本語を理解し、使用できるようになる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験(40%)」、「ミニテスト(25%)」、「課題(20%)」、「学習態度(15%)」。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	<p>イントロダクション ・授業内容を説明すること。</p> <p>「トピック1」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
2回目	<p>「トピック2、3」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
3回目	<p>「トピック4、5」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
4回目	<p>「トピック6、7」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
5回目	<p>「トピック8、9」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
6回目	<p>「トピック10」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
7回目	<p>「トピック1～10の復習」 ・練習問題(文型)</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
8回目	<p>「トピック11、12」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>

	「ミニテスト」		
9回目	「トピック13、14」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
10回目	「トピック15、16」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
11回目	「トピック17、18」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
12回目	「トピック11～18の復習」 ・練習問題(文型) 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
13回目	「トピック1～6の復習」 ・練習問題(文型) 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
14回目	「トピック7～12の復習」 ・練習問題(文型) 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
15回目	「トピック13～18の復習」 ・練習問題(文型) 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
16回目	「定期試験」	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初中級」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切にした授業をのぞみます。

講義科目名称:基礎日本語I	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q 2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	日本語学習の基礎となる初級日本語文法を習得し初中級日本語文法の運用力をつける。学習した文型、語彙の理解を深める。内容のポイントをとらえる練習を継続的に行い、能動的な言語活動を促す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験 ミニテスト	40% 25%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。		
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項
<p>初級から中級の語彙や文型を増やして、日常生活における日本語を理解し、使用できるようになる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験(40%)」、「ミニテスト(25%)」、「課題(20%)」、「学習態度(15%)」。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	<p>イントロダクション ・授業内容を説明すること。</p> <p>「トピック1」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
2回目	<p>「トピック2、3」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
3回目	<p>「トピック4、5」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
4回目	<p>「トピック6、7」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
5回目	<p>「トピック8、9」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
6回目	<p>「トピック10」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
7回目	<p>「トピック1～10の復習」 ・練習問題(文型)</p> <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
8回目	<p>「トピック11、12」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>

	「ミニテスト」		
9回目	「トピック13、14」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
10回目	「トピック15、16」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
11回目	「トピック17、18」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
12回目	「トピック11～18の復習」 ・練習問題(文型) 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
13回目	「トピック1～6の復習」 ・練習問題(文型) 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
14回目	「トピック7～12の復習」 ・練習問題(文型) 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
15回目	「トピック13～18の復習」 ・練習問題(文型) 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
16回目	「定期試験」	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初級2A2りかい」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切にした授業をのぞみます。

講義科目名称：基礎日本語Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
依藤実里				

授業概要	日本語能力試験 N2 レベルの読解・文法・聴解を扱う。テキストに基づいて進めるが、単に問題を解いて正解を目指すだけでなく、関連する語彙や表現にも触れ、問題から離れても運用できる応用力をつけることを目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	問題演習や解説を通じ、自分の力で正答を導き出すことができる。 重要な漢字や語彙、表現が理解できる。	定期試験 ミニテスト	50% 30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	自身の学習状況を振り返り、適切な目標を立てることができる。	学習記録シート	10%
キャリアデザイン力	卒業後の就職や進学時に必要な日本語能力を理解し、目的意識を持って、積極的に授業に取り組める。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験、ミニテストだけでなく、学生本人による学習記録も評価の対象とする。学習記録シートの書き方は、初回の授業で説明する。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。連絡方法は、初回のオリエンテーションで説明する。 ・毎回、Google classroom を使用するので、各自パソコンやスマートフォン等を持参すること。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・学習記録シートに関する説明 ●これまでの学習内容の確認・力試し 	対面授業 (オンライン等の対応可)	【予習】 シラバスを読んでおく、教科書を準備する、Classroomに登録する。(2時間) 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
2回目	<ul style="list-style-type: none"> ●力試しの解説 ●試験対策のポイント ・文法：基礎編 ・読解：対策準備 ・聴解：基礎編 	対面授業 (オンライン等の対応可)	【予習】 ①「文法」「聴解」の教科書「PART 1 基礎編」に目を通し、知らない語彙や表現を調べておく。 ②「読解」の教科書「PART 2 対策編 第1章 対策準備」を読んでおく(2時間) 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ①～⑥ Unit 2 ドリル A 	対面授業 (オンライン等の対応可)	【予習】 3回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間) 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
4回目	<ul style="list-style-type: none"> ●読解：基礎編 Unit 1・2・3・10 ●聴解：実践練習 課題理解 Unit 1 	対面授業 (オンライン等の対応可)	【予習】 4回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間) 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
5回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ⑦～⑫ Unit 2 ドリル B 	対面授業 (オンライン等の対応可)	【予習】 5回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間) 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
6回目	<ul style="list-style-type: none"> ●読解：基礎編 Unit 4・5・6 ●聴解：実践練習 課題理解 Unit 2 	対面授業 (オンライン等の対応可)	【予習】 6回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間) 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ⑬～⑱ 	対面授業 (オンライン等の対応可)	【予習】 7回目の授業範囲について、問題を解いてお

	Unit 2 ドリル C	の対応可)	く(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
8 回目	●読解：基礎編 Unit 7・8・9 ●聴解：実践練習 ポイント理解 Unit 1	対面授業 (オンライン等 の対応可)	【予習】8回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9 回目	●ミニテスト ●第8回までのまとめ①	対面授業 (オンライン等 の対応可)	【予習】これまでの学習内容を復習し、まとめておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10 回目	●第8回までのまとめ②	対面授業 (オンライン等 の対応可)	【予習】これまでの学習内容を復習し、まとめておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
11 回目	●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 2 ドリル D Unit 3 ドリル A・B	対面授業 (オンライン等 の対応可)	【予習】11回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
12 回目	●読解：長文 A ●聴解：実践練習 ポイント理解 Unit 2	対面授業 (オンライン等 の対応可)	【予習】12回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
13 回目	●ミニテスト ●文法：実践練習	対面授業 (オンライン等 の対応可)	【予習】13回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14 回目	●読解：長文 B ●聴解：実践練習 概要理解 Unit 1	対面授業 (オンライン等 の対応可)	【予習】14回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間) 2時間)

			【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15回目	●ミニテスト ●第14回までのまとめ	対面授業 (オンライン等の対応可)	【予習】これまでの学習内容を復習し、まとめておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
16回目	●定期試験	対面授業	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『日本語能力試験 N2 読解必修パターン』Jリサーチ出版 『日本語能力試験 N2 文法必修パターン』Jリサーチ出版 『日本語能力試験 N2 聴解必修パターン』Jリサーチ出版
履修条件	目的意識を持って、授業に参加できること。
履修上の注意	予習ができていることを前提に授業をすすめるので、事前にしっかり準備しておくこと。 毎回、予習に使用したノート・教科書を持ってくること。
オフィスアワー	授業前後に対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。
備考・メッセージ	1問1問を大切に、基礎的な力をつけていきましょう。 みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称：日本語会話 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1-2Q	1年（留学生）	2	選択	SC（OL）
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	日本語での基本的な対話力向上に重きを置き、文字・語彙・文法能力を高めることを主眼とし、コミュニケーション能力を養う
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、行動することを意識することができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で、基本的な定型の挨拶や短い文章を理解し、自らの意思を表現・伝達し相手の意思を理解できる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して、自己の世界観を基本として理解しようとする考え方を持つことができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	自分から主体的に物事に取り組んだり、他者と関わろうとしたりすることができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分の行動特徴について理解できる。	作文	5%
合計			100%

補足事項

授業変更などの連絡については、Google Classroom を使用して、メールで行う。

	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション	SC（OL）	予習：（0.5時間） 復習：（0.5時間）

2回目	トピック1 スポーツの試合(1-2)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
3回目	トピック1 スポーツの試合(2-3)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
4回目	トピック1 スポーツの試合(3-4)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
5回目	トピック2 家をさがす(1-2)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
6回目	トピック2 家をさがす(2-3)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
7回目	トピック2 家をさがす(3-4)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
8回目	トピック3 ほっとする食べ物(1-2)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
9回目	トピック3 ほっとする食べ物(2-3)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
10回目	トピック3 ほっとする食べ物(3-4)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
11回目	トピック4 訪問(1-2)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
12回目	トピック4 訪問(2-3)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
13回目	トピック4 訪問(3-4)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
14回目	トピック1-4 復習・まとめ	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
15回目	トピック 1-4 確認テスト	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
16回目	トピック5 ことばを学ぶ楽しみ(1-2)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
17回目	トピック5 ことばを学ぶ楽しみ(2-3)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
18回目	トピック5 ことばを学ぶ楽しみ(3-4)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
19回目	トピック6 結婚(1-2)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
20回目	トピック6 結婚(2-3)	SC (OL)	予習:(0.5時間) 復習:(0.5時間)
21回目	トピック6 結婚(3-4)	SC (OL)	予習:(0.5時間)

			復習：(0.5時間)
22回目	トピック7 なやみ相談(1-2)	SC(OL)	予習：(0.5時間) 復習：(0.5時間)
23回目	トピック7 なやみ相談(2-3)	SC(OL)	予習：(0.5時間) 復習：(0.5時間)
24回目	トピック7 なやみ相談(3-4)	SC(OL)	予習：(0.5時間) 復習：(0.5時間)
25回目	トピック8 旅行中のトラブル(1-2)	SC(OL)	予習：(0.5時間) 復習：(0.5時間)
26回目	トピック8 旅行中のトラブル(2-3)	SC(OL)	予習：(0.5時間) 復習：(0.5時間)
27回目	トピック8 旅行中のトラブル(3-4)	SC(OL)	予習：(0.5時間) 復習：(0.5時間)
28回目	トピック5-6 復習・まとめ	SC(OL)	予習：(0.5時間) 復習：(0.5時間)
29回目	トピック7-8 復習・まとめ	SC(OL)	予習：(0.5時間) 復習：(0.5時間)
30回目	定期試験		

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 初中級 A2/B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認時のみとする

講義科目名称：日本語会話Ⅰ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q 2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かをCDや動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項

到達目標

- ① 正しい発音で話せるようになる。
- ② 日常生活で円滑なコミュニケーションができるようになる
- ③ 日本語で分かりやすく発表できるようになる。

授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。

評価は、「会話テスト（40%）」、「グループワーク（20%）」、「ミニテスト（10%）」、「課題（15%）」、「学習態度（15%）」。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を説明すること。 <p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
2回目	<p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <p>「ミニテスト」</p>	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
3回目	<p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
4回目	<p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
5回目	<p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
6回目	<p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <p>「ミニテスト」</p>	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
7回目	<p>「トピック3」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
8回目	<p>「トピック3」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>

9回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
10回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
11回目	「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
12回目	「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
13回目	「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
14回目	「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
15回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
16回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
17回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロール	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

	プレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」		認する (0・5時間)
18回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。まとめ、発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
19回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)

20回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
21回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
22回目	「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
23回目	「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
24回目	「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
25回目	「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)

26回目	「トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
27回目	「トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
28回目	「トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
29回目	「トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
30回目	「トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
31回目	「トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の対応可	予習：定期試験の準備（1時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
32回目	定期試験 ・グループプレゼンテーション ・個人会話テスト	対面のみ	復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初級2A2かつどう」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。

オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語会話Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年（留学生）	1	選択	SC（OL）
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	既習の基礎的表現に加え、日常生活の様々な場面で必要となる対話能力向上を目指す
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。他者に対して親和的な態度で関わりができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	日本語で自身の必要な感情を表すために、基礎的な語彙を用いて日常の事柄について情報を伝え、相手の情報についても理解できる。	定期試験	50%
コミュニケーション能力	自分と異なる文化を持つ人々との関わりに対して得た知識を基本として、単純な疑問を基に理解しようとする考え方を持つことができる。自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善をしようとする試みができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	目標に向かって自らやるべきことを見つけて取り組むことが多少でき、周囲の人々に声をかけ、動かすことが多少できる。自ら問題を見つけ、解決方法を検討することが多少できる。社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律しポジティブに捉えて対応することが多少できる。	小テスト	20%
主体的に学ぶ力	自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。	作文	5%
合計			100%
補足事項			
授業変更などの連絡については、Google Classroom を使用し、メールで行う			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
2回目	トピック3 私の好きな音楽 (Part 1,2)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
3回目	トピック3 私の好きな音楽 (Part3,4)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
4回目	トピック4 温泉に行こう (Part 1)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
5回目	トピック4 温泉に行こう (Part 2)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
6回目	トピック4 温泉に行こう (Part 3)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
7回目	トピック4 温泉に行こう (Part 4)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
8回目	トピック4 温泉に行こう (Part 5)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
9回目	トピック5 最近、どう？ (Part 1)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
10回目	トピック5 最近、どう？ (Part 2)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
11回目	トピック5 最近、どう？ (Part 3)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
12回目	トピック5 最近、どう？ (Part 4)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
13回目	トピック5 最近、どう？ (Part 5)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
14回目	トピック4 温泉に行こう (復習)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
15回目	トピック5 最近、どう？ (復習)	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
16回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級1 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認時のみとする

講義科目名称：日本語会話ⅠⅠ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かをCDや動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項	
<p>初級から中級の語彙や文型を使い、場面に応じた適切なコミュニケーション及び問題解決ができる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「会話テスト（40%）」、「グループワーク（20%）」、「ミニテスト（10%）」、「課題（15%）」、「学習態度（15%）」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を説明すること。 <p>「トピック6」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <p>「ミニテスト」</p>	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
2回目	<p>「トピック7」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
3回目	<p>「トピック7」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
4回目	<p>「トピック7」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <p>「ミニテスト」</p>	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
5回目	<p>「トピック8」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
6回目	<p>「トピック8」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
7回目	<p>「トピック8」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <p>「ミニテスト」</p>	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
8回目	<p>「トピック9」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロール 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>

	プレイを行い、順番に発表する。		認する (0・5時間)
9回目	「トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
10回目	「トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
11回目	「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
12回目	「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
13回目	「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
14回目	「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
15回目	「中級1トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：定期試験の準備 (1時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
16回目	「中級1トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 定期試験 ・個人会話テスト	対面のみ	復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初中級A 2 / B 1」 「まるごと日本のことばと文化 中級B 1」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語会話ⅠⅠⅠ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q 6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かをCDや動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項	
<p>初級から中級の語彙や文型を使い、場面に応じた適切なコミュニケーション及び問題解決ができる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「会話テスト（40%）」、「グループワーク（20%）」、「ミニテスト（10%）」、「課題（15%）」、「学習態度（15%）」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を説明すること。 <p>「トピック3」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
2回目	<p>「トピック3」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <p>「ミニテスト」</p>	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
3回目	<p>「トピック4」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
4回目	<p>「トピック4」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
5回目	<p>「トピック4」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
6回目	<p>「トピック4」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
7回目	<p>「トピック4」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <p>「ミニテスト」</p>	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
8回目	<p>「トピック5」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>

9回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
10回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
11回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
12回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
13回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
14回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
15回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
16回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
17回目	「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロール	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

	プレイを行い、順番に発表する。		認する (0・5時間)
18回目	「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。まとめ、発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
19回目	「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)

20回目	「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
21回目	「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
22回目	「トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
23回目	「トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
24回目	「トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
25回目	「トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
26回目	「トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間)

	・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」		復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
27回目	「トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
28回目	「トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
29回目	「トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：定期試験の準備（1時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
30回目	「トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：定期試験の準備（1時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
31回目	「トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の対応可	予習：定期試験の準備（1時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
32回目	定期試験 ・グループプレゼンテーション ・個人会話テスト	対面のみ	復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級1」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかっても

らえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切にしたい授業をのぞみます。

講義科目名称: 日本語会話IV	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q 8Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かをCDや動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄や様々な場面やことについて詳しく伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	様々な場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項
<p>中級から上級の語彙や文型を使い、場面に応じた適切なコミュニケーション及び問題解決ができる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「会話テスト(40%)」、「グループワーク(20%)」、「ミニテスト(10%)」、「課題(15%)」、「学習態度(15%)」。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を説明すること。 <p>「中級1トピック8」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
2回目	<p>「中級1トピック9」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
3回目	<p>「中級2トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
4回目	<p>「中級2トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
5回目	<p>「中級2トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
6回目	<p>「中級2トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
7回目	<p>「中級2トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
8回目	<p>「中級2トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイ 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>

	イを行い、順番に発表する。		
9回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
10回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
11回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
12回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
13回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
14回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
15回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
16回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
17回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語	対面授業 オンライン等の	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)

	語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対応可	復習:既習単語と文型を確認する(0・5時間)
18回目	「中級2トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。まとめ、発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
19回目	「中級2トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)

20回目	「中級2トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
21回目	「中級2トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
22回目	「中級2トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
23回目	「中級2トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
24回目	「中級2トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
25回目	「中級2トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)

	・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。		する(0・5時間)
26回目	「中級2トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
27回目	「中級2トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
28回目	「中級2トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
29回目	「中級2トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: 定期試験の準備(1時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
30回目	「中級2トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: 定期試験の準備(1時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
31回目	「中級2トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: 定期試験の準備(1時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
32回目	定期試験 ・グループプレゼンテーション ・個人会話テスト	対面のみ	復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」
履修条件	なし

履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称:日本語検定I	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q 2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	JLPTN4/N3の文字、語彙及び文法力をアップするための授業である。必ず予習として練習問題を事前に解い、分からないことを授業で聞く。授業では解答及び解説をメインに行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	N4/N3を合格すると目標に向かっている。		
専門的知識や技能	N4/N3の文字、語彙及び文法力を身につけている。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	N4/N3の文字、語彙及び文法力を身につけている。	予習／復習	25%
課題解決能力	学習法と試験対策を身に付けている。	課題	25%
キャリアデザイン力	N4/N3を合格することで、進学や就職に活かせる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ① JLPTN4/N3の文字、語彙及び文法力をアップする。 ② 試験用だけではなく、日常生活にも上手く活かせる。 ③ 学習法と試験対策を身に付けている。 <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験(40%)」、「予習／復習(25%)」、「課題(25%)」、「学習態度(10%)」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	<p>イントロダクション ・授業内容を説明すること。</p> <p>N4ドリル&模試 第1、2回 ・解答と解説 ・漢字の訓読み ・自動詞・他動詞</p>	対面授業 オンライン等の 対応可	<p>予習:N4ドリル第1、2回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
2回目	<p>N4ドリル&模試 第3、4回 ・解答と解説 ・する動詞 ・い形容詞</p>	対面授業 オンライン等の 対応可	<p>予習:ドリル第3、4回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
3回目	<p>N4ドリル&模試 第5、6回 ・解答と解説 ・な形容詞 ・副詞・否定表現</p>	対面授業 オンライン等の 対応可	<p>予習:ドリル第5、6回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
4回目	<p>N4ドリル&模試 第7、8回 ・解答と解説 ・カタカナ語 ・助詞①</p>	対面授業 オンライン等の 対応可	<p>予習:ドリル第7、8回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
5回目	<p>N4ドリル&模試 第9、10回 ・解答と解説 ・助詞② ・接続表現</p>	対面授業 オンライン等の 対応可	<p>予習:ドリル第9、10回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
6回目	<p>N4ドリル&模試 第11、12回 ・解答と解説 ・受身・使役・使役受身①</p>	対面授業 オンライン等の 対応可	<p>予習:ドリル第11、12回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
7回目	<p>N4ドリル&模試 第13、14回 ・解答と解説 ・受身・使役・使役受身②</p>	対面授業 オンライン等の 対応可	<p>予習:ドリル第13、14回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
8回目	<p>N4ドリル&模試 第15回 ・解答と解説 ・文末表現</p>	対面授業 オンライン等の 対応可	<p>予習:ドリル第15回の練習問題(0.5時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
9回目	<p>N3ドリル&模試 第1回 ・解答と解説 ・自動詞・他動詞</p>	対面授業 オンライン等の 対応可	<p>予習:ドリル第1回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
10回目	<p>N3ドリル&模試 第2回 ・解答と解説 ・複合動詞①</p>	対面授業 オンライン等の 対応可	<p>予習:ドリル第2回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
11回目	N3ドリル&模試 第3回	対面授業	予習:ドリル第3回の練習問題

	・解答と解説 ・複合動詞②	オンライン等の 対応可	題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
12回目	N3ドリル&模試 第4回 ・解答と解説 ・する動詞	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:ドリル第4回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
13回目	N3ドリル&模試 第5回 ・解答と解説 ・いろいろな意味のある動詞	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:ドリル第5回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
14回目	N3ドリル&模試 第6回 ・解答と解説 ・い形容詞	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:ドリル第6回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
15回目	N3ドリル&模試 第7回 ・解答と解説 ・な形容詞	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:ドリル第7回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「日本語能力試験N4直前対策 ドリル&模試 文字・語彙・文法」 「日本語能力試験N3直前対策 ドリル&模試 文字・語彙・文法」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語検定Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q (+5Q)	1年	2単位 (1単位)	選択	講義
担当教員				
依藤実里				

授業概要	日本語能力試験 N2 レベルの文字・語彙、聴解、文法、読解を扱う。様々な形式の問題に少しずつ触れ、試験問題のパターンに慣れることを第一の目標とする。また、関連する語彙や表現も一緒に学び、問題から離れても運用できる応用力をつけることを目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	問題演習や解説を通じ、自分の力で正答を導き出すことができる。 重要な漢字や語彙、表現が理解できる。	定期試験 ミニテスト	50% 30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	自身の学習状況を振り返り、適切な目標を立てることができる。	学習記録シート	10%
キャリアデザイン力	卒業後の就職や進学時に必要な日本語能力を理解し、目的意識を持って、積極的に授業に取り組める。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験、ミニテストだけでなく、学生本人による学習記録も評価の対象とする。学習記録シートの書き方は、初回の授業で説明する。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。連絡方法は、初回のオリエンテーションで説明する。 ・毎回、Google classroom を使用するので、各自パソコンやスマートフォン等を持参すること。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・学習記録シートに関する説明 ●これまでの学習内容の確認 		<p>【予習】</p> <p>(1) シラバスを読む、教科書を準備しておく、Classroom に登録する。</p> <p>(2) Unit1～4 「問題を解くコツ」を読む。(2時間)</p> <p>【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
2回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文字語彙：漢字読み①～⑤ ●聴解：課題理解①② ●文法：文の文法1①～② ●読解：指示代名詞 基本問題 		<p>【予習】 2回目の授業範囲について、問題を解いておく。(2時間)</p> <p>【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。※読解の「応用問題」聴解の③④(基本問題・応用問題)にも取り組む(2時間)</p>
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文字語彙：表記①～⑤ ●聴解：ポイント理解①② ●文法：文の文法1③～④ ●読解：理由 基本問題 		<p>【予習】 3回目の授業範囲について、問題を解いておく。(2時間)</p> <p>【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。※読解の「応用問題」聴解の③④(基本問題・応用問題)にも取り組む(2時間)</p>
4回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文字語彙：語形成①～③ ●聴解：概要理解①② ●文法：文の文法1⑤～⑦ ●読解：内容一致 基本問題 		<p>【予習】 4回目の授業範囲について、問題を解いておく。(2時間)</p> <p>【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。※読解の「応用問題」聴解の③④(基本問題・応用問題)にも取り組む(2時間)</p>
5回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文字語彙：文脈規定 動詞・イ形容詞、ナ形容詞 ●聴解：即時応答①② ●文法：文の文法2① ●読解：筆者の考え 基本問題 		<p>【予習】 5回目の授業範囲について、問題を解いておく。(2時間)</p> <p>【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。※読解の「応用問題」聴解の③④(基本問題・応用問題)にも取り組む(2時間)</p>

6 回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文字語彙：文脈規定 副詞 その他 ●聴解：統合理解①② ●文法：文の文法2② ●読解：統合理解 基本問題 		<p>【予習】 6回目の授業範囲について、問題を解いておく。(2時間)</p> <p>【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。※読解の「応用問題」聴解の③④(基本問題・応用問題)にも取り組む(2時間)</p>
7 回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文字語彙：言い換え類語 ●聴解：統合理解③④ ●文法：文の文法2③ ●読解：情報検索 基本問題 		<p>【予習】 7回目の授業範囲について、問題を解いておく。(2時間)</p> <p>【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。※読解の「応用問題」にも取り組む(2時間)</p>
8 回目	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容のまとめ ●総まとめテスト 		<p>【予習】 これまでの学習内容を復習し、まとめておく。(2時間)</p> <p>【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『パターン別 徹底ドリル 日本語能力試験 N2』アルク
履修条件	目的意識を持って、授業に参加できること。
履修上の注意	予習ができていないことを前提に授業をすすめるので、事前にしっかり準備しておくこと。 毎回、予習に使用したノート・教科書を持ってくること。
オフィスアワー	授業前後に対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称: 日本語検定II	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	JLPTN3の文字、語彙及び文法力をアップするための授業である。必ず予習として練習問題を事前に解い、分からないことを授業で聞く。授業では解答及び解説をメインに行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	N3を合格すると目標に向かっている。		
専門的知識や技能	N3の文字、語彙及び文法力を身につけている。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	N3の文字、語彙及び文法力を身につけている。	予習／復習	25%
課題解決能力	学習法と試験対策を身に付けている。	課題	25%
キャリアデザイン力	N3を合格することで、進学や就職に活かせる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① JLPTN3の文字、語彙及び文法力をアップする。 ② 試験用だけではなく、日常生活にも上手く活かせる。 ③ 学習法と試験対策を身に付けている。 <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験(40%)」、「予習／復習(25%)」、「課題(25%)」、「学習態度(10%)」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション	対面授業	予習:ドリル第8回の練習問

	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を説明すること。 <p>N3ドリル&模試 第8回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・対義語① ・対義語② 	オンライン等の対応可	<p>題(1時間)</p> <p>復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
2回目	<p>N3ドリル&模試 第9回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・副詞 ・擬音語・擬態語 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習:ドリル第9回の練習問題(1時間)</p> <p>復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
3回目	<p>N3ドリル&模試 第10回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタカナ語① ・カタカナ語② 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習:ドリル第10回の練習問題(1時間)</p> <p>復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
4回目	<p>N3ドリル&模試 第11回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・助詞① ・助詞② 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習:ドリル第11回の練習問題(1時間)</p> <p>復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
5回目	<p>N3ドリル&模試 第12回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・接続表現① ・接続表現② 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習:ドリル第12回の練習問題(1時間)</p> <p>復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
6回目	<p>N3ドリル&模試 第13回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・受身・使役・使役受身① 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習:ドリル第13回の練習問題(1時間)</p> <p>復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
7回目	<p>N3ドリル&模試 第14回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・受身・使役・使役受身② 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習:ドリル第14回の練習問題(1時間)</p> <p>復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
8回目	<p>パN3ドリル&模試 第15回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・敬語①尊敬語 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習:ドリル第15回の練習問題(0.5時間)</p> <p>復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
9回目	<p>パターン別徹底ドリルN3 Unit1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・敬語②謙譲語 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習:ドリルUnit1の練習問題(1時間)</p> <p>復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
10回目	<p>パターン別徹底ドリルN3 Unit1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・敬語③丁寧語・美化語 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習:ドリルUnit1の練習問題(1時間)</p> <p>復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)</p>
11回目	<p>パターン別徹底ドリルN3 Unit2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 	対面授業 オンライン等の	<p>予習:ドリルUnit2の練習問題(1時間)</p>

	・敬語④まとめ	対応可	復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
12回目	パターン別徹底ドリルN3 Unit2 ・解答と解説	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:ドリルUnit2の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
13回目	パターン別徹底ドリルN3 Unit3 ・解答と解説	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:ドリルUnit3の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
14回目	パターン別徹底ドリルN3 Unit3 ・解答と解説 ・敬語③丁寧語・美化語	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:ドリルUnit3の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
15回目	パターン別徹底ドリルN3 Unit3 ・解答と解説	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:ドリルUnit3の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「日本語能力試験N3直前対策 ドリル&模試 文字・語彙・文法」 「パターン別徹底ドリル日本語能力試験N3」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称: 日本語検定II	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	JLPTN3の文字、語彙及び文法力をアップするための授業である。必ず予習として練習問題を事前に解い、分からないことを授業で聞く。授業では解答及び解説をメインに行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	N3を合格すると目標に向かっている。		
専門的知識や技能	N3の文字、語彙及び文法力を身につけている。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	N3の文字、語彙及び文法力を身につけている。	予習／復習	25%
課題解決能力	学習法と試験対策を身に付けている。	課題	25%
キャリアデザイン力	N3を合格することで、進学や就職に活かせる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① JLPTN3の文字、語彙及び文法力をアップする。 ② 試験用だけではなく、日常生活にも上手く活かせる。 ③ 学習法と試験対策を身に付けている。 <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験(40%)」、「予習／復習(25%)」、「課題(25%)」、「学習態度(10%)」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション	対面授業	予習:ドリル第1～5回の練習

	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を説明すること。 <p>N3ドリル&模試 第1～5回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・自動詞・他動詞 ・複合動詞① ・複合動詞② 	オンライン等の対応可	問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)
2回目	<p>N3ドリル&模試 第6～10回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・複合動詞① ・複合動詞② 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:ドリル第6～10回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)
3回目	<p>N3ドリル&模試 第11～15回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・する動詞 ・いろいろな意味のある動詞 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:ドリル第11～15回の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)
4回目	<p>パターン別徹底ドリルN3 Unit1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・い形容詞 ・な形容詞 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:指定したドリルUnit1の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)
5回目	<p>パターン別徹底ドリルN3 Unit1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・対義語① ・対義語② 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:指定したドリルUnit1の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)
6回目	<p>パターン別徹底ドリルN3 Unit1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・副詞 ・擬音語・擬態語 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:指定したドリルUnit1の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)
7回目	<p>パターン別徹底ドリルN3 Unit1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・カタカナ語① ・カタカナ語② 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:指定したドリルUnit1の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)
8回目	<p>パターン別徹底ドリルN3 Unit2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・助詞① ・助詞② 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:指定したドリルUnit2の練習問題(0.5時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)
9回目	<p>パターン別徹底ドリルN3 Unit2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・接続表現① ・接続表現② 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:指定したドリルUnit2の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)
10回目	<p>パターン別徹底ドリルN3 Unit2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答と解説 ・受身・使役・使役受身① 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:指定したドリルUnit2の練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや気を付けたいことをまとめる(2時間)
11回目	<p>パターン別徹底ドリルN3 Unit2</p>	対面授業	予習:指定したドリルUnit2の

	・解答と解説 ・受身・使役・使役受身②	オンライン等の 対応可	練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
12回目	パターン別徹底ドリルN3 Unit3 ・解答と解説 ・敬語①尊敬語	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定したドリルUnit3の 練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
13回目	パターン別徹底ドリルN3 Unit3 ・解答と解説 ・敬語②謙譲語	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定したドリルUnit3の 練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
14回目	パターン別徹底ドリルN3 Unit3 ・解答と解説 ・敬語③丁寧語・美化語	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定したドリルUnit3の 練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
15回目	パターン別徹底ドリルN3 Unit3 ・解答と解説 ・敬語④まとめ	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定したドリルUnit3の 練習問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「日本語能力試験N3直前対策 ドリル&模試 文字・語彙・文法」 「パターン別徹底ドリル日本語能力試験N3」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語検定Ⅲ 上	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年（留学生）	2	選択	SC（OL）
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	日本語能力試験対策で、N1合格を目標とし、高度な文法・漢字・語彙の習得を主眼とする
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、適切に判断し常に社会のルールや状況に適した行動ができ、他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽などに対応でき、身近な話題について主要な点を理解できる。様々な場面で自らの意思を表現、伝達し相手の意思を理解できる。	定期試験	50%
コミュニケーション能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的相違を認識し、行動に取り入れ、共通理解を得ようと努めることができる。その新しい視点に沿って複雑な視点を持つことができる。		
課題解決能力	目標に向かって、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組むことができ、周囲の人々に声をかけ動かすことができる程度できる。自ら問題を見つけ、解決方法を検討することができる程度できる。	小テスト	45%
主体的に学ぶ力	自己のライフスタイルを振り返り、職業志向条件や勤務条件について考え自分自身を十分プレゼンできる準備ができている。		
合計			100%
補足事項			
授業変更などの連絡については、Google Classroom を使用し、メールで行う			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	① 文字・語彙、聴解、文法、読解	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
2回目	② 文字・語彙、聴解、文法、読解	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
3回目	③ 文字・語彙、聴解、文法、読解	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
4回目	④ 文字・語彙、聴解、文法、読解	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
5回目	⑤ 文字・語彙、聴解、文法、読解	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
6回目	⑥ 文字・語彙、聴解、文法、読解	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
7回目	⑦ 文字・語彙、聴解、文法、読解	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
8回目	⑧ 文字・語彙、聴解、文法、読解	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
9回目	⑨ 文字・語彙、聴解、文法、読解	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
10回目	⑩ 文字・語彙、聴解、文法、読解	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
11回目	⑪ 文字・語彙、聴解、文法、読解	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
12回目	⑫ 文字・語彙、聴解、文法、読解	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
13回目	日本語能力試験 N1 合格模試 第1回	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
14回目	日本語能力試験 N1 合格模試 第1回 解答	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
15回目	文字・語彙、文法・読解 復習・まとめ	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	パターン別 徹底ドリル 日本語能力試験 N1、 はじめての日本語能力試験 N1 合格模試
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認時のみとする

講義科目名称：日本語ライティング & グラマー I	授業コード：
英文科目名称：	中級クラス

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1 Q	1 年（留学生）	2	選択	S C (O L)
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	日本語の文法の基礎力定着をはかり、より実践的な運用能力を高める。
------	----------------------------------

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、行動することを意識することができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識 や技能	日本語で、基本的な定型の挨拶や短い文章を理解し、自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解できる。	定期試験	50%
コミュニケーション能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して、自己の世界観を基本として理解しようとする考え方を持つことができる。	ペアでのダイアログ	5%
課題解決能力	自分から主体的に物事に組み入り、他者と関わろうとすることができる。	小テスト	20%
主体的に学ぶ力	自分の行動特徴について理解できる。	作文	20%
合計			100%
補足事項			
授業変更などの連絡については、Google Classroom を使用し、メールで行う			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	授業に関するオリエンテーション	S C (O L)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
2 回目	ユニット 1 はじめまして	S C (O L)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
3 回目	ユニット 2 いただきませす	S C (O L)	予習：(2 時間)

			復習：(2時間)
4回目	ユニット3 ちょっと買い物に	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
5回目	ユニット4 ジェスチャーで伝えよう	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
6回目	ユニット5 旅行大好き	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
7回目	ユニット1-5 まとめ	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
8回目	ユニット1-5 発表	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
9回目	ユニット6 ペットと暮らす	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
10回目	ユニット7 お元気ですか	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
11回目	ユニット8 春は桜 秋はもみじ	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
12回目	ユニット9 何を食べようかな	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
13回目	ユニット10 日本の生活 高い？安い？	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
14回目	ユニット6-10 まとめ	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
15回目	ユニット6-10 発表	SC (OL)	予習：(2時間) 復習：(2時間)
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	日本語 読み書きのたね
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話は語句確認時のみとする

講義科目名称：日本語ライティング&グラマー I（上）	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
小嶋 栄子				

授業概要	この授業は、①日本語能力試験（JLPT）N3～N2相当の文法をしっかりと身につけること、②その文法を土台とした文章を読んで内容が理解できること、③さらに、①②に基づいた正しい日本語の文章が手書きで書けるようになること ④日本語能力試験（JLPT）N3～N2相当の漢字を正しく書けること を目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストに出てくる文章の語彙や文法を確認しながら、それらを手書きで間違いなく書くことができる。 ・テキストに出てくる文章を参考にして、幅広いテーマで自分の意見を手書きで書くことができる。 ・与えられたテーマで的確なプレゼンテーションができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の提出物 ・授業中の提出物 ・プレゼンテーションの成果物 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 10% 10% 10% 60%
異文化知識・対応能力	・テキストに出てくる文章を参考にして、日本社会の幅広い話題について手書きの作文を書くことができる。	・授業中の提出物	5%
課題解決能力			
キャリアデザイン力	・インターネットなどの情報を、プレゼンテーション作成に活かすことができる。	・プレゼンテーションの成果物	5%
合計			100%
補足事項			

・授業中の作業（作文・小テスト等）は、必ず当該授業中に提出あるいは終わらせること。それらの解説やコメントは次回以降の授業で行い、小テストの正解と解説は当該授業中に行う。

この作業中にスマホ・PC・タブレットの使用を許可することがあるので、積極的に活用してほしい。

・授業の実施形式は原則として対面授業とするが、状況に応じてオンライン等で実施する場合もある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・授業の内容と展開および評価方法の説明 ・プレースメントテスト 	対面授業	復習：授業の内容と展開および評価方法の確認（1.5時間） 予習：「1 はじめまして」言葉の意味調べ（2時間）
2回目	ユニット1 はじめまして <ul style="list-style-type: none"> ・『天国』という意味です」「風呂さん」「好きなもの、好きなこと」の語彙、文法 ・自己紹介文を書く 1、漢字ドリル 	対面授業	復習：「1 はじめまして」の理解の確認（1.5時間） 予習：「2 いただきます」の言葉の意味調べ（2時間）
3回目	ユニット2 いただきます <ul style="list-style-type: none"> ・「朝ごはん、昼ごはん」「朝の2時間」「どんどん、どんぶり」の語彙、文法 ・自分の食事について作文し、発表し合う。 2、漢字ドリル 	対面授業	復習：「2 いただきます」の理解の確認（1.5時間） 予習：「3 ちょっと買い物に」の言葉の意味調べ（2時間）
4回目	ユニット3 ちょっと買い物に <ul style="list-style-type: none"> ・「ササキベーカリー」「忍者参上」「赤い靴」の語彙、文法 ・自分の国の店について作文し、発表し合う。 3、漢字ドリル 	対面授業	復習：「3 ちょっと買い物に」の理解の確認（1.5時間） 予習：「4 ジェスチャーで伝えよう」の言葉の意味調べ（2時間）
5回目	ユニット4 ジェスチャーで伝えよう <ul style="list-style-type: none"> ・「指の運動」「私は臭いですか」「招き猫」の語彙、文法 ・自分の国のジェスチャーについて作文し、発表し合う。 4、漢字ドリル 	対面授業	復習：「4 ジェスチャーで伝えよう」の理解の確認（1.5時間） 予習：「ユニット5 旅行大好き」の言葉の意味調べ（2時間）
6回目	ユニット5 旅行大好き <ul style="list-style-type: none"> ・「サンフランシスコ」「少年時代へ」「清水の舞台」の語彙、文法 ・自分の国の観光地について作文し、発表 	対面授業	復習：「ユニット5 旅行大好き」の理解の確認（1.5時間） 予習：「ユニット6 ペット

	し合う。 5、漢字ドリル		と暮らす」の言葉の意味調べ（2時間）
7回目	ユニット6 ペットと暮らす ・「歌うカナリア」「チーちゃん」「ピヨの思い出」の語彙、文法 ・自分のペットについて作文し、発表し合う。 6、漢字ドリル	対面授業	復習:「ユニット6 ペットと暮らす」の理解の確認（1.5時間） 予習:「ユニット1～6」の再度の見直し（4時間）
8回目	ユニット1～6までのまとめ ・語彙と文法のまとめのための小テスト ・漢字の小テスト	対面授業	復習:小テストの答え合わせの結果から、自分の弱点を知り、理解の確認（1.5時間） 予習:「ユニット7 お元気ですか」の言葉の意味調べ（2時間）
9回目	ユニット7 お元気ですか ・「お元気ですか」「あなたの代わり」「ちょっと健康法」の語彙、文法 ・自分の健康法について作文し、発表し合う 7、漢字ドリル	対面授業	復習:「ユニット7 お元気ですか」の理解の確認（1.5時間） 予習:「ユニット8 春は桜秋はもみじ」の言葉の意味調べ（2時間）
10回目	ユニット8 春は桜 秋はもみじ ・「マスクの春」「緑のカーテン」「春のナムル」の語彙、文法 ・自分の国の季節の特徴について作文する。 8、漢字ドリル	対面授業	復習:「ユニット8 春は桜秋はもみじ」の理解の確認（1.5時間） 予習:自分の国の季節の特徴についてプレゼンの内容を考える（4時間）
11回目	ユニット8 春は桜 秋はもみじ ・自分の国の季節の特徴についてプレゼンテーションを作成し、発表し合う。 9、漢字ドリル	対面授業	復習:友人たちのプレゼンの良いところや工夫が必要などところを確認する（1.5時間） 予習:「ユニット9 何を食べようかな」の言葉の意味調べ（2時間）
12回目	ユニット9 何を食べようかな ・「おにぎり・パン・カレー」「おいしいもの、見つけた」「たこ焼きパーティー」の語彙、文法	対面授業	復習:「ユニット9 何を食べようかな」の理解の確認（1.5時間） 予習:自分が作った日本の

	・日本の料理について作文する 10、漢字ドリル		料理についてプレゼンの内容を考える（4時間）
13回目	ユニット9 何を食べようかな ・自分が作った日本の料理についてプレゼンテーションを作成し、発表し合う。 11、漢字ドリル	対面授業	復習：友人たちのプレゼンの良いところや工夫が必要などところを確認する（1.5時間） 予習：「ユニット10 日本の生活 高い？安い？」の言葉の意味調べ（2時間）
14回目	ユニット10 日本の生活 高い？安い？ ・「美人になりました」「たまごとたばこ」「お金がなくても」の語彙、文法 ・日本の生活について作文する。 12、漢字ドリル	対面授業	復習：「ユニット10 日本の生活 高い？安い？」の理解の確認（1.5時間） 予習：日本の生活体験についてプレゼンの内容を考える（4時間）
15回目	ユニット10 日本の生活 高い？安い？ ・日本の生活体験についてプレゼンテーションを作成し、発表し合う。 13、漢字ドリル	対面授業	復習：友人たちのプレゼンの良いところや工夫が必要などところを確認する（1.5時間） 予習：定期試験の準備（4.5時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	日本語読み書きのたね 参考書は授業で随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	言葉の意味調べなどの予習はしてきたものとして、授業を進めます。
オフィスアワー	水曜5限
備考・メッセージ	本授業に関する連絡は classroom および学科の掲示板で行う。

講義科目名称: 日本語W&GII	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	日本語学習の基礎となる初級日本語文法を習得し中級日本語文法の運用力をつける。学習した文型、語彙の理解を深める。内容のポイントをとらえる練習を継続的に行い、能動的な言語活動を促す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を読む・書くことができる。	定期試験 グループ活動	40% 25%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。		
課題解決能力	様々な場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	25%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項
<p>初級から中級の語彙や文型を増やして、日常生活における日本語を理解し、使用できるようになる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験(40%)」、「グループ活動(25%)」、「課題(25%)」、「学習態度(10%)」</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	インTRODakShION ・授業内容を説明すること。 ユニT7(スTレス、さようなら) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
2回目	ユニT8(春は桜 秋はもみじ) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
3回目	ユニT9(何を食べようかな) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
4回目	ユニT10(日本の生活 高い?安い?) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
5回目	ユニT11(みんなのスポーツ) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
6回目	ユニT12(仕事、がんばります) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
7回目	ユニT13(わたしの町は日本一) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
8回目	ユニT14(ケータイ、持った?) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
9回目	ユニT15(結婚いろいろ) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
10回目	ユニT16(大変だったね) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
11回目	ユニT17(祭りだ わっしょい!) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
12回目	ユニT18(楽しく 日本語) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
13回目	ユニT19(女と男一仕事と役割) ・読む練習	対面授業 オンライン等の	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)

	・書く練習	対応可	復習:既習単語と文型を確認する(0・5時間)
14回目	ユニット20(ごみを減らそう) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習:既習単語と文型を確認する(0・5時間)
15回目	総まとめ(ユニット1~20) ・グループディスカッション ・プレゼンテーション	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習:既習単語と文型を確認する(0・5時間)
16回目	定期試験	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「日本語読み書きのたね」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切にした授業をのぞみます。

講義科目名称: 日本語演習I	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q 6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	日本語学習の基礎となる初級日本語文法を習得し中級日本語文法の運用力をつける。学習した文型、語彙の理解を深める。内容のポイントをとらえる練習を継続的に行い、能動的な言語活動を促す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験 ミニテスト	40% 25%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	5%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項
<p>初級から中級の語彙や文型を増やして、日常生活における日本語を理解し、使用できるようになる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験(40%)」、「ミニテスト(25%)」、「課題(20%)」、「学習態度(10%)」、「グループワーク(5%)」。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
2回目	「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
3回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
4回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
5回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
6回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
7回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
8回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
9回目	「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)

10回目	「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
11回目	「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
12回目	「トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
13回目	「トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
14回目	「トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
15回目	「トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
16回目	定期試験	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級1」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称: 日本語演習II	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q 8Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	日本語学習の基礎となる初中級日本語文法を習得し、中上級日本語文法の運用力をつける。学習した文型、語彙の理解を深める。内容のポイントをとらえる練習を継続的に行い、能動的な言語活動を促す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験 ミニテスト	40% 25%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	5%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項
<p>中級から上級の語彙や文型を増やして、日常生活における日本語を理解し、使用できるようになる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験(40%)」、「ミニテスト(25%)」、「課題(20%)」、「学習態度(10%)」、「グループワーク(5%)」。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を説明すること。 <p>「中級1トピック8」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
2回目	<p>「中級1トピック9」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
3回目	<p>「中級2トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
4回目	<p>「中級2トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
5回目	<p>「中級2トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
6回目	<p>「中級2トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 <p>「ミニテスト」</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
7回目	<p>「中級2トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
8回目	<p>「中級2トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
9回目	<p>「中級2トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p> <p>復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>

10回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
11回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
12回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
13回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
14回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
15回目	「中級2トピック1～3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)
16回目	定期試験	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語演習Ⅲアクティブラーニング	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q8Q	2年	1	選択	演習
担当教員				
岩崎、園田、岩井				

授業概要	<p>本講座は国際コミュニケーションコースの専門教育科目の中でも2年次に配置された日本語コミュニケーション（書く）、情報処理能力の育成を目的としたものである。個々での学びは8Qの卒業研究と連携するように設計されている。</p> <p>留学生を対象とした本講義では、まずアカデミックライティングの教科書を使いながら、時事に関する文章読解を通して、時事語彙の獲得を目的としている。また、テレビ番組などの動画を通して、実際使われている日本語に触れることで、多様な表現ができるようになる事を目標としている。</p> <p>いくつか与えられたトピックの中からひとつを選び、様々なツールを用いて小論文を作成する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	日本語で書かれた幅広い話題についての明確で詳細な文章を、比較的高度な語彙を活用して書くことができる。	課題 授業態度	30 10
異文化知識・対応能力	動画から得られた情報を判断する際の視点が、自己の文化的ルールや偏見を背景にしたものかどうかを自己批判した後で認識し、正しく対応することができる	授業態度	20
課題解決能力	言われたことをするだけでなく、能動的に自ら目標を設定し、困難な学習であっても、友人や教員へ助けを求めながら粘り強く取り組むことができる	授業態度	10
キャリアデザイン力	この学びを卒業研究につなげることができる	課題	30
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・ 本講義では課題60%、授業参加態度40%の割合で評価する ・ 本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認する	対面授業	予習：5Qの国際時事研究で学んだアカデミックライティングを読み返しておく。Googleclassroomのクラスに登録する(1時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)
2回目	「立場を決めて意見を述べる①」 教科書のp43第3課を読み、主張の表現、説得力のある論理展開の方法を学び、日本語の表現能力を育む。	対面授業	予習：教科書p44～p45を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習：p44～49までの学習内容を復習しておく(1時間)
3回目	「立場を決めて意見を述べる②」 新聞やニュース、テレビ番組を視聴し、その中で取り扱われている内容に関して、自己の経験だけでなく、引用しながら自分の意見を論理的に展開できるようにペア学習する。特にp47～48の日本語表現を使うことを意識して会話を続けるよう努力する。	対面授業	予習：教科書p44～48の語彙や表現が使えるように練習しておく(1時間) 復習：p49の「書いてみよう」に沿って、自分の立場を明確化してレポート作成(1時間)
4回目	「立場を決めて意見を述べる③」 教科書のp50step2を読み、主張の表現、説得力のある論理展開の方法を学び、日本語の表現能力を育む	対面授業	予習：教科書p50～p56を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習：p56～57までの学習内容を復習しておく(1時間)
5回目	「立場を決めて意見を述べる④」 新聞やニュース、テレビ番組を視聴し、その中で取り扱われている内容に関して、自己の経験だけでなく、引用しながら自分の意見を論理的に展開できるようにペア学習する。特にp53～56の日本語表現を使うことを意識して会話を続けるよう努力する	対面授業	予習：教科書p53～56の語彙や表現が使えるように練習しておく(1時間) 復習：p57の「書いてみよう」に沿って、自分の立場を明確化してレポート作成(1時間)
6回目	「課題を見つけて意見を述べる①」 教科書のp65第4課を読み、視点・呼応の表現、段落と文の働きによる論理展開の方法を学び、日本語の表現能力を育む。	対面授業	予習：教科書p65～p71を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習：p72の問題を解く(1時間)
7回目	「課題を見つけて意見を述べる②」 トピックに関連する新聞やニュース、テレビ番組を視聴し、その中で取り扱われている内容に関して、自己の経験だけでなく、引用しながら自分の意見を論理的に展開できるようにペア学習する。特にp69～71の日本語表現を使うことを意識して会話を続けるよう努力する	対面授業	予習：教科書p69～71の語彙や表現が使えるように練習しておく(1時間) 復習：p73の「書いてみよう」に沿って、自分の立場を明確化してレポート作成(1時間)

8回目	「課題を見つけて意見を述べる③」 教科書のp74～75を読み、視点・呼応の表現、段落と文の働きによる論理展開の方法を学び、日本語の表現能力を育む	対面授業	予習：教科書p74～p79を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習：p79の問題を解く(1時間)
9回目	「課題を見つけて意見を述べる④」 トピックに関連する新聞やニュース、テレビ番組を視聴し、その中で取り扱われている内容に関して、自己の経験だけでなく、引用しながら自分の意見を論理的に展開できるようにペア学習する。 特にp69～71の日本語表現を使うことを意識して会話を続けるよう努力する	対面授業	予習：教科書p77～78の語彙や表現が使えるように練習しておく(1時間) 復習：p73の「書いてみよう」に沿って、自分の立場を明確化してレポート作成(1時間)
10回目	「データに基づいて報告する①」 教科書のp119第6課を読み、数値に関する表現のスタイル、図表・データの表現、図表・データの利用方法を学び、日本語の表現能力を育む。	対面授業	予習：p119～124を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習：p125の問題を解く(1時間)
11回目	「データに基づいて報告する②」 トピックに関連する新聞やニュース、テレビ番組を視聴し、その中で取り扱われている内容に関して、自己の経験だけでなく、引用しながら自分の意見を論理的に展開できるようにペア学習する。 特にp121～124の日本語表現を使うことを意識して会話を続けるよう努力する	対面授業	予習：教科書p119～124の語彙や表現が使えるように練習しておく(1時間) 復習：p124の「書いてみよう」に沿って、自分の立場を明確化してレポート作成(1時間)
12回目	「データに基づいて報告する③」 p134のトピックを基にして、グラフや図、写真を示す方法やその効果を、動画や発表映像から学び、自己の発表物へ反映させる。	対面授業	予習：p119～134を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習：これまで学んだ内容を読み返しておく(1時間)
13回目	「2年間の学びと日本・日本文化①」 短大での2年間の学びをまとめる ・学外学習	対面授業	予習：これまでの活動したことを時系列で書いてくる(1時間) 復習：時系列で書いたものに写真を合わせてくる(1時間)
14回目	「2年間の学びと日本・日本文化②」 短大での2年間の学びをまとめる ・茶道文化	対面授業	予習：茶道での学びと自国の伝統文化の情報を調べてくる(1時間) 復習：話合いの内容を加えて具体化させる(1時間)
15回目	「2年間の学びと日本・日本文化①」 短大での2年間の学びをまとめる ・友人との学び、先輩との学び	対面授業	予習：2年間年表のどこに友人や先輩が関わったかを記入してくる(1時間) 復習：話合いの内容を加えて具体化させる(1時間)

科目（教職課程用）	なし
-----------	----

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『日本語を学ぶ人のためのアカデミックライティング講座』第3, 4, 6課
履修条件	5Q開講の『国際時事研究』および『卒業研究』の履修を行うこと
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること
オフィスアワー	前期： 木曜日2コマ目（11:00～12:00）研究室 後期： 火曜日1コマ目（9：30～10：30）研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

講義科目名称：応用日本語	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かをCDや動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項

到達目標

- ① 正しい発音で話せるようになる。
- ② 日常生活で円滑なコミュニケーションができるようになる
- ③ 日本語で分かりやすく発表できるようになる。

授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。

評価は、「会話テスト（40%）」、「グループワーク（20%）」、「ミニテスト（10%）」、「課題（15%）」、「学習態度（15%）」。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を説明すること。 <p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
2回目	<p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <p>「ミニテスト」</p>	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
3回目	<p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
4回目	<p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
5回目	<p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <p>「ミニテスト」</p>	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
6回目	<p>「トピック3」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
7回目	<p>「トピック3」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
8回目	<p>「トピック3」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>

	「ミニテスト」		
9回目	「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
10回目	「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
11回目	「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
12回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
13回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
14回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
15回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：定期試験の準備（1時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
16回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 定期試験 ・個人会話テスト	対面のみ	復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初中級A2／B1」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称:総合日本語	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	J.TESTの文字、語彙及び文法力をアップするための授業である。必ず予習として練習問題を事前に解い、分からないことを授業で聞く。授業では解答及び解説をメインに行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	J.TESTを合格すると目標に向かっている。		
専門的知識や技能	J.TESTの文字、語彙及び文法力を身につけている。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	J.TESTの文字、語彙及び文法力を身につけている。	予習／復習	25%
課題解決能力	学習法と試験対策を身に付けている。	課題	25%
キャリアデザイン力	JTESTを合格することで、進学や就職に活かせる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ① J.TESTの文字、語彙及び文法力をアップする。 ② 試験用だけではなく、日常生活にも上手く活かせる。 ③ 学習法と試験対策を身に付けている。 <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験(40%)」、「予習／復習(25%)」、「課題(25%)」、「学習態度(10%)」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	インTRODクシヨN ・授業内容を説明すること。 J.TEST 第1回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第1回の練習 問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
2回目	J.TEST 第1回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第1回の練習 問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
3回目	J.TEST 第1回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第1回の練習 問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
4回目	J.TEST 第1回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第1回の練習 問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
5回目	J.TEST 第2回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第2回の練習 問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
6回目	J.TEST 第2回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第2回の練習 問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
7回目	J.TEST 第2回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第2回の練習 問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
8回目	J.TEST 第2回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第2回の練習 問題(0.5時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
9回目	J.TEST 第3回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第3回の練習 問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
10回目	J.TEST 第3回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第3回の練習 問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
11回目	J.TEST 第3回 ・解答と解説	対面授業 オンライン等の	予習:指定した第3回の練習 問題(1時間)

	・ピックアップポイント	対応可	復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
12回目	J.TEST 第3回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第3回の練習 問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
13回目	J.TEST 第4回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第4回の練習 問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
14回目	J.TEST 第4回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第4回の練習 問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
15回目	J.TEST 第4回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定した第4回の練習 問題(1時間) 復習:分からなかったことや 気を付けたいことをまとめる(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「J.TEST (D-E) 実用日本語検定問題集 (D-Eレベル) 2019年」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：総合日本語	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
依藤実里				

授業概要	J. TEST 実用日本語検定 A-C レベルの問題を扱う。実際の試験で使用された問題を用いて、問題形式に慣れることを目的とする。また、単に問題を解いて正解を目指すだけでなく、関連する語彙や漢字、表現にも触れ、総合的な日本語能力の向上を目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	問題演習や解説を通じ、自分の力で正答を導き出すことができる。 重要な漢字や語彙、表現が理解できる。	定期試験 ミニテスト	50% 30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	自身の学習状況を振り返り、適切な目標を立てることができる。	学習記録シート	10%
キャリアデザイン力	卒業後の就職や進学時に必要な日本語能力を理解し、目的意識を持って、積極的に授業に取り組める。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験、ミニテストだけでなく、学生本人による学習記録も評価の対象とする。学習記録シートの書き方は、初回の授業で説明する。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。連絡方法は、初回のオリエンテーションで説明する。 ・毎回、Google classroom を使用するのので、各自パソコンやスマートフォン等を持参すること。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・学習記録シートに関する説明 ●これまでの学習内容の確認・力試し 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】シラバスを読んでおく、教科書を準備する、Classroomに登録する。(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
2回目	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回試験問題 ・文法・語彙：1-A ・読解：1-①②③ ・漢字：1-A ・記述：なし ・聴解：1-①写真問題 ②聴読解問題 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】2回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●第1回試験問題 ・文法・語彙：1-B ・読解：1-④⑤⑥ ・漢字：1-B ・記述：1-A ・聴解：1-③応答問題 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】3回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
4回目	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回試験問題 ・文法・語彙：1-C ・読解：1-⑦⑧⑨ ・漢字：1の復習 ・記述：1-B ・聴解：1-④会話・説明問題 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】4回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
5回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●第2回試験問題 ・文法・語彙：2-A ・読解：2-①②③ ・漢字：2-A ・記述：なし ・聴解：2-①写真問題 ②聴読解問題 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】5回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
6回目	<ul style="list-style-type: none"> ●第5回までのまとめ 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】これまでの学習内容を復習し、まとめておく。(2時間)</p>

			【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●第2回試験問題 ・文法・語彙：2-B ・読解：2-④⑤⑥ ・漢字：2-B ・記述：2-A ・聴解：2-③応答問題 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】7回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
8回目	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回試験問題 ・文法・語彙：2-C ・読解：2-⑦⑧⑨ ・漢字：2の復習 ・記述：2-B ・聴解：2-④会話・説明問題 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】8回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
9回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●第3回試験問題 ・文法・語彙：3-A ・読解：3-①②③ ・漢字：3-A ・記述：なし ・聴解：3-①写真問題 ②聴読解問題 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】9回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
10回目	●第9回までのまとめ	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】これまでの学習内容を復習し、まとめておく。(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
11回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●第3回試験問題 ・文法・語彙：3-B ・読解：3-④⑤⑥ ・漢字：3-B ・記述：3-A ・聴解：3-③応答問題 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】11回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
12回目	<ul style="list-style-type: none"> ・文法・語彙：3-C ・読解：3-⑦⑧⑨ ・漢字：3-復習 ・記述：3-B 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】12回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、</p>

	・聴解：3－④会話・説明問題		理解を深める。(2時間)
13回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●第4回試験問題 ・文字・語彙：4－A ・読解：4－①②③ ・漢字：4－A ・記述：なし ・聴解：4－①写真問題 ②聴読解問題 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】 13 回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
14回目	<ul style="list-style-type: none"> ●第4回試験問題 ・文字・語彙：4－B ・読解：4－④⑤⑥ ・漢字：4－B ・記述：4－A ・聴解：4－③応答問題 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】 14 回目の授業範囲について、問題を解いておく(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
15回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●第14回までのまとめ 	対面授業 (オンライン等の対応可)	<p>【予習】 これまでの学習内容を復習し、まとめておく。(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
16回目	定期試験	対面授業	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『J. TEST 実用日本語検定 問題集[A-C レベル]2019年』日本語検定協会/J. TEST 事務局
履修条件	目的意識を持って、授業に参加できること。
履修上の注意	予習ができていることを前提に授業をすすめるので、事前にしっかり準備しておくこと。 毎回、予習に使用したノート・教科書を持ってくること。
オフィスアワー	授業前後に対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称：比較文化研究	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（7Q）	2年	2単位	選択	講義(オムニバス)
担当教員				
牟田、岩崎、ローズ、園田、青木、李、非常勤講師				

授業概要	<p>コミュニケーション力とグローバルな視点によって多様な人々と積極的に交流することができるようにするため、この授業の目的となるキーワードは、「協働」「比較文化」「異文化理解」「コミュニケーション」とする。これからのグローバル社会では、様々な国の出身者と協働で働き、生活を共にすることがますます必要となる。いくつかのプロジェクトを通して、多様な文化を理解し、価値観の違いを知り、また自国文化に関しての理解を深る。</p> <p>1年次の「異文化理解演習」をベースに、さらに幾つかの国の文化を自国の文化と比較研究をおこなう。特に、日本、韓国、中国、カナダ、ニュージーランドをより深く理解しておくことが重要だと考える。グループワークを通じたプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの資質を活かし、プロジェクトにコミットすることに意義があり、共に学ぶ日本人・留学生が協働して、プロジェクトに取組み、プレゼンテーション等の作成・発表を通して、5つの到達目標達成を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる	・グループワーク	40%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる文化を持つ人々にとって重要な要素の複雑さを理解して、自発的に多面的な場面に関わり、その関わりを発展させることができる ・自己の文化的ルールや偏見について認識し、明確に自分の意見を述べることができ、自己の経験がどのように形成されたか認識し、抱える文化的な偏見に対する気づき、対応す 	・課題	30%

	る方法がわかる。		
課題解決能力	・目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案、検討、計画し、課題に対して新しい解決方法を考えることができる	・課題	30%
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、課題60%、グループワーク40%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「文化」とは何か、文化研究に取り組む前に この授業全体のガイダンスをした後、それぞれの考えに関する「文化」の概念を共有した後に、異文化研究や異文化接触時に必要な「文化」の概念とは何かを学習する。	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
2回目	「異文化」と「アイデンティティ」 「多様性」「多文化」「共生」それぞれの言葉が乱立する現代社会において、Nationality, Ethnicity, Cultural Identity のそれぞれの意味を理解すると共に、考えを深める。	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
3回目	韓国へようこそ！1 韓国の地理、国旗、花、伝統衣装、お金、住食など韓国の概要について勉強しながら、日本・日本文化との比較を行う。	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな

			な情報を追加する。(2時間)
4回目	<p>韓国へようこそ！ 2</p> <p>韓国と日本の国際交流について話して、両国の望ましい関係について議論する。</p>	対面授業	<p>予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間)</p> <p>復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)</p>
5回目	<p>中国語の擬声語</p> <p>中国語で鶏の鳴き声は？猫の鳴き声は？水の音は？日本語と比較しながら楽しく学ぶ。</p>	対面授業	<p>予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間)</p> <p>復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)</p>
6回目	<p>中国茶と日本茶</p> <p>中国の緑茶、黒茶、白茶、青茶、紅茶、黄茶等を実際に試飲しながら、日本茶および日本の茶文化との比較を行う。</p>	対面授業	<p>予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間)</p> <p>復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)</p>
7回目	<p>日本の着物の歴史</p> <p>日本の伝統衣装としての着物の歴史を学ぶ。着物の歴史を知ること、外国の衣装にも興味をもって調べてみて共有する。</p>	対面授業	<p>予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間)</p> <p>復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)</p>
8回目	<p>着物の小物紹介と着付け体験</p> <p>着物に実際に触れ、着用体験をしてみる。また着付けを仕事とする人の話を聞いて、成人式な</p>	対面授業	<p>予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間)</p>

	どの式典についても学ぶ。		復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
9回目	カナダ言語、文化紹介 カナダで使用されている言語や日本とは異なる文化について紹介し、大学システムについても比較をおこなう。	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
10回目	外国人からみた日本の若者文化について 現代日本の若者文化に対して世界の同世代の若者がどのように感じているかをNHKの「Cool Japan」を題材に、ものの見方や考え方の違いについて議論する。	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
11回目	日本と世界の詩のかたち 日本での詩／韻文と、世界の国の詩／韻文の特徴を紹介し、どのように異なるか、リズムの違いなどを学ぶ。	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
12回目	シェイクスピア入門 イギリス文学の代表的劇作家であるシェイクスピアの生い立ちや作品、その文章の特徴などについて実際の舞台映像なども交えて学ぶ。	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
13回目	ニュージーランドの文化1	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認

	ニュージーランド史の要約と現在のニュージーランドの紹介。日常生活、人気の趣味・スポーツなども紹介する。		して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
14回目	ニュージーランドの文化2 現代のニュージーランドのマオリ文化を紹介し、伝統的なマオリの織物バッグを作ります。	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
15回目	総まとめ 学習内容まとめ アンケート調査	対面授業	予習：今までの授業内容を改めて整理する(2時間) 復習：とくになし

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業中に指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目(研究室) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	母語が異なるメンバーによるプロジェクトになるため、コミュニケーションが難しい時がある。その場合、辞書などを上手に使うなど、工夫してプロジェクトを完成すること。

講義科目名称：異文化理解演習	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2	必修	演習
担当教員				
牟田、岩崎、園田、白石、青木、李				

授業概要	<p>本講座は国際コミュニケーションコースの専門教育科目の中でも1年次に配置された多文化理解基礎力の育成を目的とした演習授業である。</p> <p>本講義では、まず我々が日常的に使用している「文化」とは何かを明らかにし、国や国籍と同様に語られることの多い社会言語に関する理解を促す。異文化理解演習では日本人学生と留学生がひとつのチームになることで異文化に触れながら、課題解決に取り組むことを目的としている。</p> <p>まず、6月の宿泊研修に向けたチームで、チーム紹介ビデオ作成する。その次に、宿泊研修で実施するイベント立案、発表物の準備をすすめる。研修先のハウステンボスでは佐世保市の観光業に調査を行い、留学生から見たアミューズメントパークの印象や観光としての価値などをチーム内で共有する。このような活動を通してチームでの課題解決能力の育成を図る。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して、常に親和的な態度で関わるができる	授業参加態度	10
専門的知識や技能	動画や画像を用い、レイアウトなどにも配慮した効果的なプレゼンテーションができるようになる。 外国語で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解することができる。	課題・作成物	20
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。また、共通の理解を得るために交渉を始めることができる	授業参加態度	40
課題解決能力	相手の意見を理解し、自分の意見を適確に伝え、自分の感情をコントロールすることができる。また、柔軟	作成物 発表	20 10

	に物事に取組み、チームで協力して活動することができる		
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義に関する質問は直接の他、Google classroom でも受け付け、web 上あるいは以降の授業回で返答する。 ・ 本講義では発表・作成物 50%、授業参加態度 50%の割合で評価する ・ 本講義の発表作成物は Google classroom を通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関するの教員からのフィードバックは Google classroom のコメント機能を使って返却される 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目 4/8	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom 登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認する 自己紹介（共通点探し） 「文化」を知る①	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。Googleclassroom のクラスに登録する（2 時間） 復習：本日の学びに関して出されている課題を Google classroom へ提出する（2 時間）
2 回目 4/15	「文化」を知る② 文化とはなにかを学ぶ。これからのチーム活動の中で、それらの知識をもって活動をする	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙の意味を調べて覚えておく（2 時間） 復習：本日の学びに関して出されている課題を Google classroom へ提出する（2 時間）
3 回目 4/22	チーム紹介ビデオ作成① 6 月 6 日(日)～7 日(月)の宿泊研修のスケジュールを聞く チームビルディングを実施し、各役割を明確化する。 チーム紹介ビデオを作成。	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙の意味を調べて覚えておく（2 時間） 復習：本日の学びに関して出されている課題を Google classroom へ提出する（2 時間）
4 回目	チーム紹介ビデオ作成②	対面授業	予習：宿泊研修のための発

5/6	<p>チーム紹介ビデオを作成。</p> <p>発表のテーマを決定 具体的な計画をたてる。役割決め、練習。</p>		<p>表テーマを考えてくる(2時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して出されている課題をGoogle classroomへ提出する(2時間)</p>
5回目 5/13	<p>チーム紹介ビデオ作成③</p> <p>チームビデオ鑑賞 宿泊研修 リーダー会 葉作り・司会など</p>	対面授業	<p>予習：チーム紹介ビデオの発表を練習しておく(2時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して出されている課題をGoogle classroomへ提出する(2時間)</p>
6回目 5/20	<p>宿泊研修の準備①</p> <p>発表練習・準備</p>	対面授業	<p>予習：宿泊研修の為の準備をする(2時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して出されている課題をGoogle classroomへ提出する(2時間)</p>
7回目 5/27	<p>宿泊研修の準備②</p> <p>発表練習・準備</p>	対面授業	<p>予習：宿泊研修の為の準備をする(2時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して出されている課題をGoogle classroomへ提出する(2時間)</p>
8回目 6/3	<p>宿泊研修の準備③</p> <p>発表練習・最終準備 宿泊研修についての最終情報伝達を聞く</p>	対面授業	<p>予習：宿泊研修の為の準備をする(2時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して出されている課題をGoogle classroomへ提出する(2時間)</p>
9回目 6/6	<p>宿泊研修①</p> <p>9時集合</p>	対面授業	<p>予習：これまでの活動や練習を再度確認する(1時間)</p> <p>復習：チームでの活動をまとめる(3時間)</p>
10回目 6/6	<p>宿泊研修②</p> <p>ハウステンボス内、課題解決ミッション</p>	対面授業	<p>予習：これまでの活動や練習を再度確認する(1時間)</p>

			復習：チームでの活動をまとめる(3時間)
11回目 6/6	宿泊研修③ ハウステンボス内、課題解決ミッション	対面授業	予習：これまでの活動や練習を再度確認する(1時間) 復習：チームでの活動をまとめる(3時間)
12回目 6/7	宿泊研修④ ホテル内 発表会	対面授業	予習：これまでの活動や練習を再度確認する(1時間) 復習：チームでの活動をまとめる(3時間)
13回目 6/7	宿泊研修⑤ 宿泊研修二日目 写真の共有などをしておく	対面授業	予習：これまでの活動や写真等を共有する(1時間) 復習：チームでの活動をまとめる(3時間)
14回目 6/7	宿泊研修⑥ 宿泊研修二日目 活動のまとめ	対面授業	予習：これまでの活動や練習を再度確認する(1時間) 復習：チームでの活動をまとめる(3時間)
15回目 6/10	宿泊研修⑥ 活動振り返り 講義アンケート実施	対面授業	予習：これまでの活動や練習を再度確認する(1時間) 復習：これまでの学びに関して出されている課題をGoogle classroomへ提出する

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『日本語を学ぶ人のためのアカデミックライティング講座』自己紹介
履修条件	なし

履修上の注意	積極的な行動をすること
オフィスアワー	前期： 木曜日 2 コマ目 (11:00~12:00) 研究室 後期： 火曜日 1 コマ目 (9:30~10:30) 研究室
備考・メッセージ	本講義では課題発表を課すため、動画作成や PPT で発表できるように PC スキルを磨いておくこと

国際・時事研究	授業コード：
英文科目名称：Research of Current Affairs	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6thQ	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>最近の国内外の時事問題に関して、広く知識を獲得し、自分の意見を持ち、発言できるようにする。</p> <p>具体的には、教員が提示説明する時事問題に関して議論する。また、受講者が気になった新聞やネット記事を読み、「要旨」と「自分の意見」を述べ、ディスカッションを行い時事問題について理解を深める。授業では、各自が取り上げた記事に対して「マインドマップ」を作成し、それを元に、発表をおこなう。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースを正しく理解でき、記事内容を簡潔に要約できる。 ・ 取り扱う国内・国際時事用語を正しく理解できる。 ・ 情報を整理し、分かり易いマインドマップを作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 毎回の授業でのタスク ・ 授業への参加・態度 	30% 30% 10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要約した記事内容を口頭で第三者にわかりやすく説明できる。 ・ 記事に関して、自分の意見を 		30%

	論理的に簡潔に述べることができる。		
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	新聞の構成を理解し、効率的な読み方を学習する。マインドマップの作成の仕方を学ぶ。	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
2回目	国際情勢1	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。
3回目	国際情勢2	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。
4回目	国際情勢3	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	復復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。
5回目	国際情勢4	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 	復習：学習した内容を

		<p>説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>ノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
6回目	紛争と領土問題 1	<p>・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
7回目	紛争と領土問題 2	<p>・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
8回目	社会1	<p>・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
9回目	社会2	<p>・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
10回目	社会3	<p>・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
11回目	産業・資源1	<p>・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>

		<p>説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>ノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
12回目	産業・資源2	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
13回目	自然・地理	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
14回目	旅行・世界遺産	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
15回目	まとめ	<p>授業で取り扱った内容に関して、そう復讐をおこなう。</p>	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p>
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「なるほど地図帳世界2020」（昭和社）、各社新聞、ネットニュース、その他、授業中に指示
履修条件	

履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	就職活動においても、時事問題に関心を持つことは大切である。 できるだけ毎日、新聞やネットニュース読み、テレビ・ラジオのニュースを視聴することを心がけること。

講義科目名称：国際・時事研究 上	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2	選択	講義
担当教員				
岩崎				

授業概要	<p>本講座は国際コミュニケーションコースの専門教育科目の中でも2年次に配置された多文化理解力の育成を目的としたものである。</p> <p>留学生を対象とした本講義では、まずアカデミックライティングの教科書を使いながら、日本語で書かれた公的な場で使用する日本語表現の文章を学ぶ。次に、ニュースや新聞でのコラムなどの短い文章の読解を通して、現代の身近なニュースに触れ、表現方法などに広がりを持ち、表現できるようになる事を目標としている。</p> <p>期末の際には、各国で抱える時事問題と関連する日本の課題に関してニュースや新聞記事などの根拠のある情報を基にしたPPT発表をおこない、チームでの課題解決能力の育成を図る。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	各トピックでの読物を基礎として、社会や時代の流れに問題意識をもち、自ら調べ、適切に判断し、継続して行動することができる	ミニテスト	10
専門的知識や技能	外国語で書かれた、比較的身近な話題についての標準的なニュース文章や新聞等に記載された文章を読み、内容を理解することができる。	課題	10
異文化知識・対応能力	日本語で書かれた社会情勢や文化に関するニュースや新聞記事を読んで、自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善をしようと試みることができる	授業態度	30 10
課題解決能力	相手の意見を理解し、自分の意見を適確に伝え、自分の感情をコントロールすることができる。また、柔軟に物事に取組み、チームで協力して活動することができる	発表・作成物	40
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・ 本講義では発表・作成物40%、授業参加態度30%、ミニテスト20%、課題10%の割合で評価する ・ 本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認する	対面授業	予習：前年に学習した異文化理解演習で学んだ「文化を学ぶ」を読み返しておく。Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(2時間)
2回目	「アカデミックな文章とは①」 教科書のp9第1課を読み、新聞やニュース等で使われている文体(普通体)を学び、書き換え能力を育む。 P15の接続表現、指示表現、文末表現、ねじれ文、形式等を学び自己訂正力を付ける。	対面授業	予習：教科書p9~p13を読んでおく。未習語彙の意味を調べて覚えておく(2時間) 復習：p15の書き換えをして提出。(2時間)
3回目	「アカデミックな文章とは②」 新聞やニュース等で使われている文体(普通体)を学び、書き換え能力を育む。 P17のタイトルと日本語表現、主張の読み方、主張の根拠、根拠の内容と分量等の読み方を学び、自己訂正力を付ける。 また、p19で紹介されているオンラインツールを用いながら自己訂正もおこなう。	対面授業	予習：教科書p17(改善のヒント)を読んでおく。 p17,19,20を読んで、未習語彙の意味を調べて覚えておく(2時間) 復習：p20ワンポイントを参考に自己紹介を書いて提出。同時に、自分の住んでいた場所の説明をp19のツールを用いながら、普通体での文章作成をする
4回目	「アカデミックな文章とは③」 新聞やニュース等で使われている文体(普通体)を学び、書き換え能力を育む。 母国での出来事について書かれているニュース記事を探して、記事の伝え方の相違点をまとめる。	対面授業	予習：自国のニュースで取り上げたいトピックを検討しておく(1時間) 復習：p19の書き換えツールの助けを得ながら、「情報の伝え方の相違点」について小論文を提出(3時間)
5回目	「自分の体験に基づいて、意見を述べる①」 p23のトピックを基にして、文末・文中・短縮形の日本語表現に気を付けながら、日本語で自己の具体的体験や、思いを表現する。 p29のワークを通して理解を深める	対面授業	予習：p22のワークを書いてくる。p22~29までの未習語彙の意味を調べて覚えておく(2時間) 復習：p29の復習をする(2時間)
6回目	「自分の体験に基づいて、意見を述べる②」 p23のトピックを基にして、文末・文中・短縮形の日本語表現に気を付けながら、日本語で自己の具体的体験や、思いを表現する。 日本・日本人についての番組を見て、チーム内で討論し、他の人の体験を聞くことで物事に対する視野を広げる。	対面授業	予習：日本での異文化体験等のニュースや新聞記事などを調べておく(1.5時間) 復習：日本・日本人について、自分の国と異なると思ったことが書かれているニュースや新聞記事等を引用してレポートを作成する(2.5時間)
7回目	「自分の体験に基づいて、意見を述べる③」 p23のトピックを基にして、文末・文中・短縮形の日本語表現に気を付けながら、自己の具体的体験や、思いを日本語で表現する。 p35のワークを通して理解を深める。	対面授業	予習：自分が日本らしいと思う写真を2枚撮ってクラスルームにアップロードする。p30~35までの未習語彙の意味を調べて覚えてお

			く(2時間) 復習：p35の復習をする(2時間)
8回目	「自分の体験に基づいて、意見を述べる④」 p33のトピックを基にして、指示表現、接続表現、順接、逆説・対比、並列、換言表現の日本語表現に気を付けながら、日本語で自己の具体的体験や、思いを表現する。 採ってきた写真をチームのメンバーへ見せながら、なぜそれが日本らしいのか説明、理由を根拠をもって話し合う。	対面授業	予習：撮った写真の説明が口頭でできるように準備しておく(1.5時間) 復習：日本らしい写真であるという事が理解しやすいようにその内容が書かれているニュースや新聞記事等を引用してレポートを作成する(2.5時間)
9回目	「自分の体験に基づいて、意見を述べる⑤」 配布された「日本論・日本人論」のトピックを基にして、日本語で自己の具体的体験や、思いを表現する。 持ち寄ったイメージをチーム内でディスカッションをし、情報を共有し多角的な意見があることを認識する。	対面授業	予習：母国での典型的な日本人・日本のイメージが書かれたイラストや新聞記事、動画などを準備する。 配布トピックを読んでくる(1時間) 復習：他の人からもらった意見を文章化できるように復習する(3時間)
10回目	「自分の体験に基づいて、意見を述べる⑥」 配布された「日本論・日本人論」のトピックを基にして、日本語で自己の具体的体験や、思いを表現する。 p42を参考に、自信が持ってきた写真とチームメンバーの意見、参考資料を基にして「自国での日本人・日本論について」レポートを作成する。	対面授業	予習：p42を参考に必要な情報を準備しておく(1.5時間) 復習：日本らしい写真であるという事が理解しやすいようにその内容が書かれているニュースや新聞記事等を引用してレポートを作成する(2.5時間)
11回目	「関心のあるニュースを紹介する①」 p91のトピックを基にして、助詞、引用の文末表現の日本語表現に気を付けながら、ニュースや新聞記事の引用を用いて表現する。 p94、95のワークを通して理解を深める	対面授業	予習：p90のワークを書いてくる。p90~95までの未習語彙の意味を調べて覚えておく(2時間) 復習：p94、95の復習をする(2時間)
12回目	「関心のあるニュースを紹介する②」 p91のトピックを基にして、助詞、引用の文末表現の日本語表現に気を付けながら、ニュースや新聞記事の引用を理解する。	対面授業	予習：p95のワークを参考に、自国を含む世界情勢の中で、最も自分が紹介したいニュースについて下調べをする(2時間) 復習：p94、95の復習をする(2時間)
13回目	「関心のあるニュースを紹介する③」 p97のトピックを基にして、引用表現の中でも「直接引用」「関節引用」の日本語表現に気を付けながら、同様に参考文献等の表示方法を理解する。自分が選んだニュースを引用して最も共有したいニュースに関して発表原稿を作る	対面授業	予習：p95のワークを参考に、自国を含む世界情勢の中で、最も自分が紹介したいニュースについて下調べをする(1時間) 復習：p99、103の復習をする。発表原稿提出(3時間)
14回目	「関心のあるニュースを紹介する④」 自分が最も関心のある選んだニュースを発表	対面授業	
15回目	「関心のあるニュースを紹介する④」 自分が最も関心のある選んだニュースを発表	対面授業	

16回目	定期試験		
------	------	--	--

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『日本語を学ぶ人のためのアカデミックライティング講座』第1, 2, 5課 毎日こども新聞
履修条件	なし
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること
オフィスアワー	前期： 木曜日2コマ目（11:00～12:00）研究室 後期： 火曜日1コマ目（9：30～10：30）研究室
備考・メッセージ	本講義ではレポート発表を課すため、PPTで発表できるようにPCスキルを磨いておくこと

講義科目名称: キャリアガイダンス	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	本授業では、就活・就職について様々なビジネス場面で用いる日本語及び日本の職場文化を学習する。2年生なので、これから就活するために、自己PR・自己紹介、履歴書の書き方、面接の受け方などをこの授業で身につけ、活用することができる。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。	授業態度	10%
専門的知識や技能	それぞれのビジネス場面について、必要な語彙を用いて筋の通ったビジネス文章を書くことと正しい敬語を使えることができる。	定期試験 プレゼンテーション	40% 10%
異文化知識・対応能力	お互いの国の就活様子やビジネスマナーについて話し合いことができる。	就活ファイル	20%
課題解決能力	就活やビジネスの場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。		
合計			100%

補足事項
授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。
評価は、「定期試験(40%)」、「就活ファイル(20%)」、「課題(20%)」、「プレゼンテーション(20%)」、「学習態度(10%)」。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 自己紹介 ・経歴を整理する	対面授業 オンライン等の対応可	予習: Classroomで指示された準備をしてくる(1時間)

	・話し方		
2回目	自己分析 ・自分の強みを知る ・自分の長所・短所を知る	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)
3回目	自己分析 ・自分の志向を知る ・自分がやりたい仕事を考える	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)
4回目	業界・業種・職種 ・業界・業種・職種 ・業界の種類	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)
5回目	業界・業種・職種 ・仕事の種類 ・業界・企業研究の方法	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)
6回目	勤務の条件 ・雇用形態 ・雇用形態による勤務条件の違い	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)
7回目	勤務の条件 ・福利厚生、その他の保障について ・勤務条件の見方	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)
8回目	自己PR ・自己PRを考える	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)
9回目	自己PR ・自己PRのプレゼンテーション	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)
10回目	志望動機 ・志望動機を考える	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)
11回目	志望動機 ・志望動機のプレゼンテーション	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)
12回目	履歴書・送付状 ・履歴書を書く ・エントリーシートについて	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)
13回目	履歴書・送付状 ・送付状の書き方 ・封筒の書き方	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)
14回目	面接の受け方 ・服装・マナーについて ・受付から入退室の流れ	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)

15回目	面接の受け方 ・面接でよく出る質問を考える ・お礼メールの書き方	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 就活ファイルの作成(1時間)
16回目	定期試験	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「伸ばす！就活能力。ビジネス日本語能力」、配布資料
履修条件	就活ファイルを準備して来ること。
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：キャリアガイダンス	授業コード：21151
英文科目名称：Career Guidance	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ・2ndQ	1年	2	必修	講義
担当教員				
中野 明人				

授業概要	<p>・この授業はキャリアデザイン力を身につけることを目的としている。2年間の学修成果を活用したキャリアデザインに取り組むことができることを到達目標とする。</p> <p>・具体的には、①自己理解をし、自分について説明することができる、②社会理解を行い、2年後の進路選択をする上でどのような力が必要かを知る、③その後体験するギャップイヤーに備え、長期学外学修で何を学ぶのかについて整理する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力	<p>・自己理解を通して、自分自身について説明できるようになる。</p> <p>・職業理解を通して、自分の生き方やパーソナリティと適職について説明できるようになる。</p>	<p>・授業への参加・態度</p> <p>・課題提出</p> <p>・プレゼンテーション</p>	<p>10%</p> <p>80%</p> <p>10%</p>
合計			100%

補足事項	
<p>・本講義では、1stQ終了時の課題の中間提出（40%）、2ndQ終了時の課題の最終提出（40%）、最終回授業でのプレゼンテーション（10%）、授業への参加・態度10%の割合で評価する。</p> <p>・授業後に行うコミュニケーションシート以外にも、「Merry」での質問も大いに歓迎します。</p>	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	ガイダンス この授業がめざすもの	<p>・この授業が、キャリアをデザインする上でどのような役割を果たすのかについて理解する。</p> <p>・就活事情の今について、新聞の切り抜きを見て、考える。</p>	予習：シラバスを読み、キャリアについて調べる。

2回目	客観的な自分のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・自己認識をする。 ・理想の自己イメージについて考える。 ・自分のパーソナリティ分析をする（ペアワーク）。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：ありたい自分を再度確認する</p>
3回目	自分の行動特徴（エゴグラム）	<ul style="list-style-type: none"> ・エゴグラムテストで自分の行動特徴を知る。 ・自分のセルフコントロールしたい自我について考える。 ・ジョハリウィンドウについて学ぶ。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：自我についてまとめておく</p>
4回目	自分のパーソナリティと適職の関係について	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな職業について説明する ・興味のある職業調べを行う。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：自分の知らなかった職業についてまとめておく</p>
5回目	自分の生き方と職業の関係について	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：自分の価値観についてまとめる</p>
6回目	キャリア選択のバリアの正体	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え方のクセに気づく。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：自分の一番のこだわりについて確認する。</p>
7回目	キャリア選択のバリアの克服法	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思い込みについて考え、その思い込みについて修正を試みる。 ・自分がどうしたいかについて考えをまとめる。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：思い込みの克服法についてまとめておく。</p>
8回目	今までのライフスタイル	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分を振り返り、ライフラインを書いてみる。 ・影響のあった出来事や人物について書き出し、どんな影響を受けたのかについてまとめる。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：一番大切だと思ったエピソードについてまとめる</p>
9回目	ライフスタイルと職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・職業志向条件と勤務条件から職業について調べる ・自分なりに必要な勤務条件について考える。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：勤務条件と職業生活について自分の考えをまとめる。</p>
10回目	キャリアレインボーを作る	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアレインボーを描いてみる。 ・キャリア計画と目標について、各年代ごとにまとめ、行動目標を作る 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：一番自分が生き生きしている年代をイメージし言葉にする。</p>

11 回目	仕事選択職業レディネス度 職業レディネスチェック 資格取得の意志決定	<ul style="list-style-type: none"> ・職業レディネスチェックをする。 ・自分が選択した職業と資格について調べてまとめる。 	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：具体的な目標の実現のためにまず何に取り組むか決定する。</p>
12 回目	就職の意志決定	<ul style="list-style-type: none"> ・企業情報を自分で調べてシートにまとめる。 	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：授業で調べられなかった企業についてまとめる。</p>
13 回目	自分情報	<ul style="list-style-type: none"> ・自分情報シートについてまとめてみる。 	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：シートを完成させる。</p>
14 回目	5 年後と 10 年後の自分	<ul style="list-style-type: none"> ・5 年後と 10 年後の、「ありたい姿」の私について考えをまとめる。 ・就職活動のアクションプランを自分で計画する 	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：就活のポイントについてまとめておく。</p>
15 回目	未来の自分をプレゼンする	<ul style="list-style-type: none"> ・5 年後と 10 年後の自分について発表し、聞きあい、評価する。 ・就職活動だけでなく、卒業後の自分自身の生き方を主体的に考え、デザインすることができるようになる 	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる</p> <p>復習：ギャップイヤーでどんな体験をしたいか、まとめる。</p>

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	日頃からニュースなど時事問題に関心を持つことが大切です。必ずニュースに目を通して授業に臨んでください。
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ・木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださると助かります。 ・また、水曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	就職活動で内定をえるのはゴールではなく、スタートラインに立つということです。よりよい人生を主体的に生きるためには、キャリアデザインがとても大切になります。計画を立てると修正もできます。早い段階でキャリアについて考えることが大事になります。

講義科目名称：キャリアガイダンス	授業コード：32541
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ	2年（留学生）			講義
担当教員				

授業概要	1年生時に学んだビジネスマナーの内容を『わかる』から確実に『できる』ようにする。卒業後の進路を見据え、学生の進みたい進路を探し決定するための準備を行う。授業内容を復習、再確認することで、それをしっかりと身につけ就職へと結びつける。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・就職面接時に自分の気持ちを正しい日本語で素直に表現できる	筆記試験 実技試験	60% 30%
確かな専門的知識や技能	・日常生活や多様な場面で自らの意思を正しく表現・伝達し、相手の意思を理解し対応できる		
コミュニケーション能力	・社会人として働くために必要なビジネスマナー、コミュニケーション能力を身につける ・自己の文化的ルールや偏見を認識し、さまざまな価値観の人と共に生きる（仕事をする）うえで、必要とされるコミュニケーション能力を身につける		
課題解決能力	・目標に向かって自ら課題の解決に向けて真摯に取り組むことができる		
主体的に学ぶ力	・就職に向けて積極的に考え行動する	講義への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
本授業では筆記試験 60%、実技試験（模擬面接）30%、講義への参加・態度 10%で評価する			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方、授業の目標、授業におけるルールの説明	対面授業 オンライン 対応可	
2回目	「自己紹介」 就職活動の面接で正しい日本語で自己紹介できるようにする	対面授業 オンライン 対応可	予習：テキストブック (P15.P16.P17.P18) を読んでおく (1時間) 復習：講義内容を確認し、注意点を復習する (1時間)
3回目	「挨拶」 コミュニケーションの第一歩としてきちんとした挨拶ができるようにする	対面授業 オンライン 対応可	予習：テキストブック (P117.P118.P119) を読む (1時間) 復習：講義内容を確認する (1時間)
4回目	「挨拶」 ロールプレイング 場面に合った挨拶の練習	対面授業 オンライン 対応可	予習：テキストブック (P120.P121.P122) を読む (1時間) 復習：講義内容を確認し、挨拶の練習をする (1時間)
5回目	「言葉遣い」 正しい敬語の遣い方	対面授業 オンライン 対応可	予習：テキストブック (P109.P110.P111) を読む (1時間) 復習：講義内容を確認し、問題を解く (1時間)
6回目	「言葉遣い」 ビジネスで使われる丁寧な表現	対面授業 オンライン 対応可	予習：テキストブック (P114.P115.P116) を読む (1時間) 復習：講義内容の確認 (1時間)
7回目	「自己分析」 自分史を書く 自分の強みを知る 自分の長所・短所を知る	対面授業 オンライン 対応可	予習：テキストブック (P19.P20.P21) を読む (1時間) 復習：講義内容の確認 (1時間)
8回目	「自己分析」 自分がやりたい仕事を考える (ワークシートにまとめる) 自分の志向を知る	対面授業 オンライン 対応可	予習：テキストブック (P22.P23.P24) を読む (1時間) 復習：ワークシートにまとめたものを話せるように練習する (1時間)
9回目	「自己PR」 就職面接で自己PRができるようにする	対面授業 オンライン 対応可	予習：テキストブック (P35.P36.P37) を読む (1時間) 復習：自己PRの練習 (1時間)

10 回目	「自己 PR」 各自の自己 PR を発表する	対面授業 オンライン 対応可	予習：自己 PR の練習（1 時間） 復習：指摘された点を再確認する（1 時間）
11 回目	「面接指導」 就職面接時の身だしなみ・マナーについて	対面授業 オンライン 対応可	予習：テキストブック （P53.P54.P55）を読む（1 時間） 復習：講義内容の確認（1 時間）
12 回目	「面接指導」 就職面接での好感のもてる立ち居振る舞い	対面授業 オンライン 対応可	予習：テキストブック（P56.P57）を読む（1 時間） 復習：立ち居振る舞いの練習（1 時間）
13 回目	「面接指導」 質疑応答	対面授業 オンライン 対応可	予習：質疑応答について考える（1 時間） 復習：質疑応答の練習（1 時間）
14 回目	「面接指導」 模擬面接 ロールプレイング	対面授業 オンライン 対応可	予習：面接の練習（1 時間） 復習：指摘された点を再確認する（1 時間）
15 回目	「面接指導」 模擬面接 仕上げ ロールプレイング	対面授業 オンライン 対応可	予習：面接の練習（1 時間） 復習：指摘された点を再確認する（1 時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力」国書刊行会
履修条件	
履修上の注意	原則としてビジネスに相応しい身だしなみ（制服又はスーツ）髪型を整えて出席すること
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称:ビジネス文書	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	本授業では、様々なビジネス場面で用いる日本語及び日本の職場文化を学習する。特に、日本社会で重要であるメール文化を中心としている。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。	授業態度	10%
専門的知識や技能	それぞれのビジネス場面について、必要な語彙を用いて筋の通ったビジネス文章を書くことと正しい敬語を使えることができる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	お互いの国の就活様子やビジネスマナーについて話し合いことができる。	レポート	20%
課題解決能力	就活やビジネスの場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。		
合計			100%

補足事項

授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。

評価は、「定期試験(50%)」、「レポート(20%)」、「課題(20%)」、「学習態度(10%)」。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	インロダクション ・授業内容を説明すること。 メールで使う基本的な表現 ・宛先 ・送信者	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示された準備をしてくる(1時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・返事の要求 ・むすび 		
2回目	<ul style="list-style-type: none"> 誘いのメール ・友人を誘う ・知人を招待する 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)
3回目	<ul style="list-style-type: none"> お願いのメール ・友人にお願いする ・目上の人をお願いする ・就職活動のために資料を請求する 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)
4回目	<ul style="list-style-type: none"> お礼のメール ・友人にお礼する ・目上の人にお礼する 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)
5回目	<ul style="list-style-type: none"> お詫びのメール ・友人にお詫びをする ・目上の人にお詫びをする 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)
6回目	<ul style="list-style-type: none"> 断りのメール ・友人に断る ・目上の人に断る 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)
7回目	<ul style="list-style-type: none"> 質問のメール ・友人・同級生に質問する ・目上の人に質問する 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)
8回目	<ul style="list-style-type: none"> お知らせのメール ・友人にお知らせする ・目上の人に知らせする 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)
9回目	<ul style="list-style-type: none"> 近況報告 ・家族・友人にの近況報告 ・先輩・先生・上司にの近況報告 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)
10回目	<ul style="list-style-type: none"> お祝いのメール ・家族・友人を祝う ・先輩・先生・上司を祝う 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)
11回目	<ul style="list-style-type: none"> 季節の挨拶 ・新年の挨拶 ・暑中見舞い ・クリスマスメール 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)
12回目	<ul style="list-style-type: none"> ネットでの買い物に関するメール ・問い合わせる ・注文をキャンセルする ・苦情を言う ・消費員を返品する 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)
13回目	<ul style="list-style-type: none"> 旅行に関するメール ・問い合わせる ・宿泊の予約 ・予約の変更 ・宿泊のキャンセル 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)

	・クレーム		
14回目	進学に関するメール ・推薦状を依頼する ・入試案内を請求する ・問い合わせる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)
15回目	ビジネスのメール ・アポイントを取る ・確認メール ・フォローアップメール ・社内メール ・退職のお知らせ	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)
16回目	定期試験	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「伸ばす! 就活能力。ビジネス日本語能力」、配布資料
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：ビジネス文書	授業コード：34141
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ・2ndQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	サービス接遇を学ぶことで人に対する思いやり、心配り、気遣いを形として表す方法を身につける。サービススタッフとして必要な専門的知識を養う。サービス接遇検定の合格を目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	サービススタッフとして必要とされる資質を構築する	筆記試験	80%
確かな専門的知識や技能	サービススタッフが持つ専門的知識や技能を理解できる		
コミュニケーション能力	社会常識をもって公の場にふさわしい態度（言葉遣いや話し方）を身につけることができる		
課題解決能力	サービス接遇検定試験 2 級の合格を目指す	検定試験合格	10%
主体的に学ぶ力	サービス接遇検定試験 2 級を取得し、さらに上級を目指す	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	「オリエンテーション」 講義のすすめ方・サービス接遇検定について説明する	対面授業 オンライン対応可	
2 回目	「おもてなしの心とは」 「サービス」と「接遇」について理解する	対面授業 オンライン対	予習：「サービス」と「接遇」について考えておく

		応可	復習：講義内容の確認
3回目	「サービススタッフの資質」 必要とされる要件を説明する	対面授業 オンライン対 応可	予習：前回の講義の確認(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
4回目	「サービススタッフの資質」 従業要件を理解する	対面授業 オンライン対 応可	予習：サービススタッフについて考えておく 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
5回目	「専門知識」 サービス知識の説明	対面授業 オンライン対 応可	予習：前回の講義の確認(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
6回目	「専門知識」 商業用語・経済用語を理解する	対面授業 オンライン対 応可	予習：配布プリントの確認(1時間) 復習：講義内容の確認(1時間)
7回目	「一般知識」 社会常識を理解する	対面授業 オンライン対 応可	予習：社会常識について考えておく(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
8回目	「対人技能」 人間関係・対人心理を説明する	対面授業 オンライン対 応可	予習：配布プリント問題を解く(1時間) 復習：講義内容の確認(1時間)
9回目	「対人技能」 接遇知識を説明する	対面授業 オンライン対 応可	予習：配布プリント問題を解く(1時間) 復習：講義内容の確認(1時間)
10回目	「対人技能」 接遇用語を理解する	対面授業 オンライン対 応可	予習：接遇用語を確認しておく(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
11回目	「実務技能」 問題処理(苦情や問い合わせ)について説明する	対面授業 オンライン対 応可	予習：苦情について考えておく(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
12回目	「実務技能」	対面授業	予習：配布プリント問題を

	環境整備について説明する	オンライン対応可	解く（1時間） 復習：講義内容の確認（1時間）
13回目	「実務技能」 社交儀礼について説明する	対面授業 オンライン対応可	予習：マナーテキストブックを読み返す（1時間） 復習：配布プリント問題を解く（1時間）
14回目	「総まとめ（講義の振り返り）」 総合問題を解く（解答・解説）	対面授業 オンライン対応可	予習：総合問題プリントを解く（1時間） 復習：総合問題プリントを解く（1時間）
15回目	「最終対策問題」 総合問題を解く（解答・解説）	対面授業 オンライン対応可	予習：総合問題プリントを解く（1時間） 復習：総合問題の再確認（1時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	サービス接遇検定2級に必要な事項・問題のプリントを配布する
履修条件	
履修上の注意	原則としてビジネスに相応した身だしなみ（制服又はスーツ）、髪型を整えて出席すること
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：ビジネス文書 上	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年（留学生）	2	選択	SC（OL）
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	ビジネス場面で必要とされる文書形式を学び、日本企業で問われる日本語能力の向上、及び日本社会でのルールについての習得を目指す
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。他者に対して親和的な態度で関わるができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	日本語で身近な日常の事柄について直接的な情報を伝えたり、自らの意思を表現し、相手の意思を理解することができる。	定期試験	50%
コミュニケーション能力	自分と異なる文化を持つ人々との関わりに対して得た知識を基本として、単純な疑問を基に理解しようとする考え方を持つことができる。自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善をしようとする試みができる。	発表	5%
課題解決能力	目標に向かって自らやるべきことを見つけて取り組むことができ、周囲の人々に声をかけ、動かすことが多少できる。自ら問題を見つけ、解決方法を検討することが多少できる。社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律しポジティブに捉えて対応することが多少できる。	小テスト	20%
主体的に学ぶ力	自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。ビジネスを実践していくにあたり、理解を持ち、	文書作成	20%

	一般的な技能を持っている		
			合計 100%
補足事項			
授業変更などの連絡については、Google Classroom を使用して、メールで行う			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	授業に関するオリエンテーション	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
2 回目	II 就活能力 1 自己紹介	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
3 回目	II 就活能力 2 自己分析	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
4 回目	II 就活能力 2 自己分析	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
5 回目	II 就活能力 3 業界・業種・職種	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
6 回目	II 就活能力 3 業界・業種・職種	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
7 回目	II 就活能力 4 勤務の条件	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
8 回目	II 就活能力 4 勤務の条件	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
9 回目	II 就活能力 5 自己 PR	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
10 回目	II 就活能力 5 志望動機	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
11 回目	II 就活能力 6 志望動機書	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
12 回目	II 就活能力 7 履歴書・送付状	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
13 回目	II 就活能力 7 履歴書	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
14 回目	II 就活能力 7 送付状	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
15 回目	II 就活能力	SC (OL)	予習：(2 時間)

	7 封筒の書き方		復習：(2時間)
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認時のみとする

講義科目名称:実践ビジネスマナー	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	本授業では、就活・就職について様々なビジネス場面で用いる日本語及び日本の職場文化を学習する。2年生なので、これから就活するために、自己PR・自己紹介、履歴書の書き方、面接の受け方などをこの授業で身につけ、活用することができる。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。	学習態度	10%
専門的知識や技能	それぞれの場面について、必要な語彙を用いて筋の通った文章を書くことと正しい敬語を使えることができる。	定期試験 ロールプレイ	40% 15%
異文化知識・対応能力	お互いの国の生活様子やマナーについて話し合うことができる。	レポート	15%
課題解決能力	様々な場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。		
合計			100%

補足事項
<p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験(40%)」、「課題(20%)」、「ロールプレイ(15%)」、「レポート(15%)」、「学習態度(10%)」。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 メールの書き方・送り方 ・メールの基本構成	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示された準備をしてくる(1時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧さの程度 ・件名のつけ方 		
2回目	<ul style="list-style-type: none"> メールの書き方・送り方 ・CCとBCCの使い方 ・添付ファイルについて ・携帯電話にメールを送る時の注意点 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: メール作成(1時間)</p>
3回目	<ul style="list-style-type: none"> トピック1 ・part 4 ・part 5 ・part 6 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
4回目	<ul style="list-style-type: none"> トピック2 ・part 4 ・part 5 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
5回目	<ul style="list-style-type: none"> マナー ・挨拶の仕方 ・すれ違う時の挨拶 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習マナーを確認する(0・5時間)</p>
6回目	<ul style="list-style-type: none"> マナー ・ドアの開け方 ・許可をもらう時の話し方 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習マナーを確認する(0・5時間)</p>
7回目	<ul style="list-style-type: none"> トピック3 ・part 4 ・part 5 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
8回目	<ul style="list-style-type: none"> トピック4 ・part 4 ・part 5 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
9回目	<ul style="list-style-type: none"> ロールプレイ ・グループ活動 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
10回目	<ul style="list-style-type: none"> ロールプレイ ・グループ活動 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
11回目	<ul style="list-style-type: none"> トピック5 ・part 4 ・part 5 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
12回目	<ul style="list-style-type: none"> トピック6 ・part 4 ・part 5 ・part 6 	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(0・5時間)</p>
13回目	<ul style="list-style-type: none"> トピック7 ・part 4 	<p>対面授業 オンライン等の</p>	<p>予習: Classroomで指示されたことを行う(0・5時間)</p>

	・part 5	対応可	復習:既習単語と文型を確認する(0・5時間)
14回目	トピック8 ・part 4 ・part 5 ・part 6	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習:既習単語と文型を確認する(0・5時間)
15回目	トピック9 ・part 4 ・part 5	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(0・5時間) 復習:既習単語と文型を確認する(0・5時間)
16回目	定期試験	対面のみ	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初中級」、配布資料
履修条件	なし。
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：実践ビジネスマナー	授業コード：54141
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ・2ndQ	1年	1単位	選択	
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	心地よい人間関係を築いていくためのマナーを身につける。社会人として必要なビジネスマナー・日常マナーを学ぶことで相手を尊重し、敬意をもって人と接するための『気配り』『気働き』『心くばり』の自覚を促す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・良識を持ち、相手に対する思いやりの心（気持ち）を素直に表現することができる。	筆記試験	70%
確かな専門的知識や技能	・社交儀礼の業務について理解し活用できる ・接遇用語を理解し活用できる		
コミュニケーション能力	・さまざまな価値観の人たちと共に生きていく（仕事をする）上で必要とされるコミュニケーション力を身につけることができる ・人間関係の対処		
課題解決能力	・顧客心理を理解し、能力を発揮できる	実技試験	20%
主体的に学ぶ力	・ビジネスマナーを身につけることで、社会人として相手から信頼され、仕事を円滑に進められることを理解し、積極的な学習ができる	授業への参加	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は直接受け付け、また web 上あるいは以降の授業回で答える。 ・本授業では筆記試験 70%、実技試験 20%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構えについて説明する	対面授業 オンライン 対応可	予習：マナーテキストブック全体に目を通す（1時間） 復習：次回の学習ページ（P17）を確認する（1時間）

2回目	「人間関係は挨拶から」 挨拶の持つ意味、心地よい人間関係をつくる方法を理解する	対面授業 オンライン 対応可	予習：人間関係について考える（1時間） 復習：マナーテキストブック（P17）を読み直す（1時間）
3回目	「美しい立ち居振る舞い」 笑顔の演出、好感の持てる挨拶のしかたを説明し、実演する	対面授業 オンライン 等の対応可	予習：笑顔の必要性について考える（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
4回目	「身だしなみについて」 身だしなみで誠実度が見抜かれることを説明する	対面授業 オンライン 等の対応可	予習：自分自身の身だしなみについて考えてみる（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
5回目	「来客対応」 来客の先導・ドアの開閉・席次について説明する	対面授業 オンライン 等の対応可	予習：マナーテキストブック（P24.P25.P27）に目を通す（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
6回目	「和室でのマナー」 訪問とおもてなしのマナ・座布団のマナー・和室の席次について説明する	対面授業 オンライン 等の対応可	予習：マナーテキストブック（P1.P2.P3.P4）を読む（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
7回目	「招待状の返事の手書き方」 招待状の出席・欠席の返事の手書き方のマナーを説明する	対面授業 オンライン 等の対応可	予習：マナーテキストブック（P3.P4）を読む（1時間） 復習：返信ハガキの手書き方を練習する（1時間）
8回目	「冠婚葬祭のマナー」 慶弔の服装・祝儀・不祝儀袋の手書き方を説明する	対面授業 オンライン 等の対応可	予習：マナーテキストブック（P5.P6.P9.P10.P11）を読む（1時間） 復習：祝儀・不祝儀袋の手書き方を練習する（1時間）
9回目	「社交マナー」 贈り物のマナー、お見舞いのマナー、賀寿祝いについて説明する	対面授業 オンライン 等の対応可	予習：マナーテキストブック（P12.P13.P16）を読む（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
10回目	「言葉遣い」 正しい敬語の遣い方を説明する	対面授業 オンライン 等の対応可	予習：配布プリントを読む（1時間） 復習：練習問題を解く。配布プリントを読み返す（1時間）
11回目	「言葉遣い」 ビジネスでの言葉遣い・接遇用語の説明をする	対面授業 オンライン 等の対応可	予習：マナーテキストブック（P28）を読む（1時間） 復習：配布プリントを読み返す（1時間）
12回目	「電話対応」 ビジネスでの電話対応の重要性について説明する	対面授業 オンライン 等の対応可	予習：マナーテキストブック（P30.P31.P32.P33）を読む（1時間） 復習：講義内容の確認（1時間）
13回目	「電話対応」	対面授業	予習：マナーテキストブック（P34）を読

	(I) 基礎編 ロールプレイング		む (1 時間) 復習：基礎編を練習する (1 時間)
14 回目	「電話対応」 (II) 応用編 ロールプレイング	対面授業	予習：マナーテキストブック (P35) を読む (1 時間) 復習：応用編を練習する (1 時間)
15 回目	講義の振り返り (総まとめ) これまでの講義内容を振り返る 丁寧な挨拶の実技テスト	対面授業	予習：マナーテキストブック全体を読み返す 復習：いつでも笑顔で丁寧な挨拶が出来るように練習する (1 時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『センスアップマナーテキスト』 ソシアル淳心
履修条件	
履修上の注意	原則としてビジネスマナーに相応した身だしなみ (制服又はスーツ)・髪型をきちんと整えて講義に出席すること (スニーカー・スリッパ不可)
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：実践ビジネスマナー	授業コード：
英文科目名称：	上級クラス

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年（留学生）	1	選択	SC（OL）
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	ビジネス場面において、どのような日本語が使われているか、マナーなどについて実践的な例でロールプレイしながら、日本社会でのルールについても理解を深めたい
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。他者に対して親和的な態度で関わるができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	自身の必要な感情を表すために、基礎的な日本語を用いて日常の事柄について情報を伝え、相手の情報についても理解することができる。	定期試験	50%
コミュニケーション能力	自分と異なる文化を持つ人々との関わりに対して得た知識を基本として、単純な疑問を基に理解しようとする考え方を持つことができる。自己の文化的ルールや偏見を認識し維持、改善をしようとする試みができる。	ロールプレイ	20%
課題解決能力	目標に向かって自らやるべきことを見つけて取り組むことが多少でき、周囲の人々に声をかけ、動かすことが多少できる。自ら問題を見つけ、解決方法を検討することが多少できる。社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律しポジティブに捉えて対応することが多少できる。	小テスト	20%
主体的に学ぶ力	自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。ビジネスを実践していくにあたり、理解を持ち、	作文	5%

	一般的な技能を持っている。		
			合計 100%
補足事項			
授業変更などの連絡については、Google Classroom を使用し、メールで行う			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	授業に関するオリエンテーション	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
2 回目	V 仕事の日本語力 1 敬語の種類と形 1 はじめての人と (Part4)	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
3 回目	V 仕事の日本語力 2 ビジネスでよく使われる丁寧な表現 1 ひらがな練習	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
4 回目	V 仕事の日本語力 3 言いかえ練習 1 はじめての人と (Part5)	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
5 回目	V 仕事の日本語力 1 会話例 2 ひらがな練習	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
6 回目	V 仕事の日本語力 2 ロールプレイ〈練習〉 2 おすすめの料理 (Part4)	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
7 回目	V 仕事の日本語力 1 ビジネスメールの基本 3 ひらがなの練習	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
8 回目	V 仕事の日本語力 2 ビジネスメールでよく使う表現 2 おすすめの料理 (Part5)	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
9 回目	V 仕事の日本語力 3 ビジネスメールの例 4 ひらがな練習	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
10 回目	V 仕事の日本語力 3 ビジネスメールの例 3 私の好きな音楽 (Part4)	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
11 回目	V 仕事の日本語力 4 課題 1 5 ひらがな練習	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
12 回目	V 仕事の日本語力 5 課題 2 3 私の好きな音楽 (Part5)	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
13 回目	V 仕事の日本語力 6 課題 3 6 ひらがな練習	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
14 回目	V 仕事の日本語力 1, 2, 8 復習	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)

15 回目	まるごと 復習	SC (OL)	予習：(2 時間) 復習：(2 時間)
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	伸ばす！終活能力・ビジネス日本語力 まるごと 日本のことばと文化 中級 1 B 1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前 8 時～午後 9 時 メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認時のみとする

講義科目名称：ホテル業論	授業コード：13241
英文科目名称：Practical Business Skill for Hotel	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
松井 英治				

授業概要	<p>ホテル業界で働く職業人としての専門知識を学び、実社会で役立つ広い視野と専門性を兼ね備えた人材育成を目的とした授業です。ビジネスとしてのホスピタリティの「接客分野」、レストラン・宴会・調理の「料飲分野」、フロント・客室の「宿泊分野」、その他関連法規等の「ホテル関連分野」について学修します。</p> <p>具体的には、ビジネス能力認定サーティファイの「ホテル実務技能認定試験 初級」合格を目指し、過去問題を中心に学修していきます。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	ホテルの全ての分野について(教科書)問題集の内容を理解して試験合格を目指すことができる。	定期試験	60%
コミュニケーション能力	ホテルの概要を知ること、利用しやすくなると共に今後のインターシップにも役立てることができる。	授業への参加・態度	5%
課題解決能力	(教科書)毎回、問題集を用いて予習・復習内容を確認して理解度を高めることができる。	口述試験	5%
主体的に学ぶ力	実際にホテル見学を通して、よりホテルの構造を理解できる。	感想レポートの提出	30%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・履修の際は、サーティファイの「ホテル実務技能認定試験 初級 問題集」を購入しておくこと。 ・毎回、教科書から項目を指定しますので、予習にて解答して下さい。当日授業にて答え合わせをします。また、間違えた問題については、復習にて理解して次回授業にて解説していきます。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方、心構え、授業中の注意点について説明する。	面接授業	予習：シラバスを読んでおく。(0.5時間) 復習：ホテルのホームページ閲覧して理解力を高める。(0.5時間)
2回目	「接客分野」①ホテルスタッフの心得について基本的な内容を説明する。②ホテルの種類と組織について理解する。③ホテルのルーツおよび歴史に関する知識。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
3回目	「料飲分野」①料飲部門の主な業務および組織やレストランの種類について理解する。②仕器・食器・備品類の取扱いについて理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
4回目	「料飲分野」①西洋料理の基礎知識およびフルコースについて解説する。②西洋料理のテーブルマナーについて解説。③使用食材について解説する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
5回目	「料飲分野」①朝食の基礎知識を理解する。②日本料理・中国料理の基礎知識について解説する。③レストラン部門の組織およびレストランサービスについて理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
6回目	「料飲分野」①宴会部門の組織および宴会サービスについて理解する。②バー・ラウンジ部門のサービスおよび知識について理解する。③「宿泊分野」宿泊部門の組織および主な業務の役割について理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
7回目	「ホテル見学」①レストランおよび宴会場や料飲の関連施設を見学する。	面接授業	予習：ホテルオークラ JR ハウステンボスのホームページを閲覧しておく。(0.5時間) 復習：感想レポートを提出する。
8回目	「ホテル見学」①パブリックスペースおよび客室など宿泊の関連施設を見学する。	面接授業	同上
9回目	「宿泊分野」①フロントオフィスの主な業務と役割について理解する。②フロントクラークの業務概要およびリゼベーシ	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集

	ョン業務について理解する。		を復習する。(0.5時間)
10回目	「宿泊分野」①レセプションおよびフロントキャッシャーのほかインフォメーション業務を理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
11回目	「宿泊分野」①フロントサービス主な業務の役割について理解する。②ドアマンの業務概要を理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
12回目	「宿泊分野」①ベルマンおよびクロークの業務概要を理解する。「ホテル関連分野」②旅行者との連携について理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
13回目	「宿泊分野」①ハウスキーピングおよびコンシェルジュの業務概要を理解する。「語学分野」②ホテル用語の外国語を理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
14回目	「その他ホテル関連分野」①食品・公衆・安全衛生に関する知識について理解する。②プロトコルに関する知識について理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
15回目	授業のふり返り	面接授業	
16回目	定期試験(四択問題テスト)		

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書「ホテル実務技能認定試験 初級 問題集」(編著：サーティファイ ホテル実務能力認定委員会 ・発行(株)サーティファイ 1,700円(税別) 参考書「ウイネット発行「料飲Ⅰ レストラン・宴会編」・「料飲Ⅱ バー・ラウンジ編」・「宿泊Ⅰ フロント・オフィス編」・「宿泊Ⅱ フロント・サービス編」・「ホテル業務関連知識」
履修条件	なし
履修上の注意	専門器具や備品の画像等をウェブサイトで調べることがありますので、PCやタブレットを忘れずに持参すること。
オフィスアワー	授業終了後に声をかけてください。
備考・メッセージ	一流ホテルで実務経験を有する教員が授業を担当します。

講義科目名称：ホスピタリティビジネス	授業コード：33741
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7thQ・8thQ	2年	2単位	選択	
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	1年生時に学んだビジネスマナーの内容を『わかる』から確実に『できる』ようにする。授業内容を復習、再確認することでそれをしっかりと身につけ各自の就職へと結びつける。また卒業後、社会人として働くための心構え、自覚を促す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・就職面接時に自分の気持ちを素直に表現できる	筆記試験 実技試験	70% 20%
確かな専門的知識 や技能	・就職面接時に向けて好感もてる立ち居振る舞いを身につけることができる ・感じの良い電話応対を身につけることができる		
コミュニケーション能力	・社会人として働くために必要なビジネスマナー、コミュニケーション能力を身につけることができる		
課題解決能力	・各自希望の就職先への内定をいただくことができる		
主体的に学ぶ力	・ロールプレイングを繰り返すことで、自信をもって就職面接に臨むことができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は直接受け付け、またweb上あるいは以降の授業回で答える。 ・本授業では筆記70%、実技試験20%、授業への参加・態度10%の割合で評価する 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義のすすめ方、心構えについて説明する	対面授業 オンライン 対応可	復習：1年時に使用したマナーテキストブックを読み返す（1時間）
2回目	「言葉遣い」 正しい敬語の遣い方（復習編）	対面授業 オンライン	予習：マナーテキストブックを読み返す（1時間）

	就職面接時の言葉遣い	対応可	復習：正しい敬語の遣い方を確認する（1時間）
3回目	「面接指導」 ・就職面接での好感の持てる立ち居振る舞い ・就職面接に向けての身だしなみ	対面授業 オンライン 対応可	予習：マナーテキストブック（P18.P19.P20.P21）を読んでおく（1時間） 復習：立ち居振る舞いの練習をする（1時間）
4回目	「面接指導」 ・ロールプレイング（Ⅰ）	対面授業 オンライン 対応可	予習：言葉遣い・立ち居振る舞いの練習をする（1時間） 復習：指摘された点を再確認する（1時間）
5回目	「面接指導」 ・ロールプレイング（Ⅱ）	対面授業 オンライン 対応可	予習：質疑応答の練習をする（1時間） 復習：指摘された点を再確認する（1時間）
6回目	「電話応対」 ・復習編	対面授業 オンライン 対応可	予習：マナーテキストブックを読み返す（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
7回目	「電話応対」 ・応用編（Ⅰ）	対面授業 オンライン 対応可	予習：実習内容を確認しておく（1時間） 復習：応用編（Ⅰ）の練習（1時間）
8回目	「電話応対」 ・応用編（Ⅱ）	対面授業 オンライン 対応可	予習：実習内容を確認しておく（1時間） 復習：応用編（Ⅱ）の練習（1時間）
9回目	「冠婚葬祭のマナー」 ・復習編	対面授業 オンライン 対応可	予習：マナーテキストブックを読み直す（1時間） 復習：講義内容を確認する
10回目	「冠婚葬祭のマナー」 ・お参りの仕方（仏教・神道・キリスト教）	対面授業 オンライン 対応可	予習：配布プリントを読んでおく（1時間） 復習：お参りの練習（1時間）
11回目	「来客応対」 ・復習編	対面授業 オンライン 対応可	予習：マナーテキストブックを読み直す（1時間） 復習：配布されたプリントを確認する（1時間）
12回目	「来客応対」	対面授業	予習：マナーテキストブック

	・ロールプレイング（来客の先導）	オンライン 対応可	を読み直す（1時間） 復習：配布されたプリントを 確認する（1時間）
13回目	「名刺交換」 ・ロールプレイング	対面授業 オンライン 対応可	予習：マナーテキストブック を読み直す（1時間） 復習：名刺交換の練習をする （1時間）
14回目	「お茶の淹れ方・出し方・いただき方」 ロールプレイング（お茶の淹れ方・出し方・ いただき方）	対面授業 オンライン 対応可	予習：マナーテキストブック を読み直す（30分） 復習：自分でお茶を淹れ、い ただいてみる（1時間30分）
15回目	テーブルマナー ・洋食フルコースのマナー（ホテルにて実 食）		予習：マナーテキストブック を読み直す（1時間） 復習：テーブルマナーの確認
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『センスアップマナーテキスト』 ソシアル淳心
履修条件	
履修上の注意	・原則として制服又はスーツ ビジネスの場にふさわしい身だしなみを整える（髪型・くつ）
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：児童英語教授法	授業コード：31731
英文科目名称：Teaching English to Children	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q6Q	2	2	選択	講義
担当教員				
ロベージュ ルーク (Luc Roberge)				

授業概要	<p>This course is designed to give students a brief introduction to the skills needed to teach English to young learners. Students will practice leading and designing songs, games and exercise. Also, focus will be on adapting and developing appropriate teaching materials. Students will acquire teaching skills through hands-on practice. Students will become familiar with popular EFL teaching resources. Students will also practice planning their own games and activities and presenting them to the class. One main focus of the course will be adapting print materials, such as children's books, for maximizing language acquisition. Students that excel at course work and peer-teaching will have the opportunity to teach at a pre-school or for an elementary-aged English program.</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	Students will be introduced to the basics of EFL teaching in Japan: curriculum, lesson planning, task planning, language acquisition, teaching materials.	Classwork	20%
確かな専門的知識 や技能	Students will work in groups to teach songs, learning tasks, games, flash cards and books.	Mini Teaching	20%
コミュニケーション ン能力	Students will work in groups to teach songs, learning tasks, games, flash cards and books.	Mini Teaching	20%
課題解決能力	Students will work on book reading project and will develop and deliver a story with the purpose of fostering EFL language acquisition.	Mini Teaching	20%
主体的に学ぶ力	Students will work on book reading project and will develop and deliver a story with the purpose of fostering EFL language acquisition.		20%
合計			100%
補足事項			
<p>Classwork 20%, Flashcards 10%, Flash card – teaching 10%, Song teaching 10%, Book Reading 25%, group project 25%.</p> <p>Students will be required to access class materials via NJC Qlearn.</p> <p>For this, they will need to register which requires a GMAIL account.</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	Introduction to the course The course, learning goals, expectations, and evaluation will explained. Students will register for an NJC Qlearn account and register for the course.	schooling	Students should make a Gmail Account prior to coming to class.
2 回目	Learning Groups and Curriculum Students will make learning groups. To gain a greater understanding of curriculum development, students will develop an EFL language curriculum plan and discuss rationale	schooling	Students should register for NJC Qlearn, prior to coming to class.
3 回目	Songs 1 Students will explore popular songs used for language learning. Students will learn to critically analyze song choices for teaching.	schooling	Students should review songs provided on NJC Qlearn.
4 回目	Songs 2 Students will explore popular songs used for language learning. Students will learn where to access songs and other resources that can be used in the language classroom	schooling	Students should review songs provided on NJC Qlearn.
5 回目	Songs 3 Students will learn, prepare and teach a song to their peers.	schooling	Students should prepare their song prior to class.
6 回目	Books 1 Students will explore popular children's books commonly used for English teaching in Japan. Students will focus on selecting books/ or adapting books to be age and language-level appropriate.	schooling	None
7 回目	Books 2 The teacher will explain the book reading project. The focus of the project will be on selecting books/ or adapting books to be age and language-level appropriate. Students will practice using speaking qualities and other strategies to enhance language acquisition.	schooling	None
8 回目	Flash Cards 1 Students will explore the use of visual aids, specifically flash cards, to help in vocabulary acquisition. Students will explore strategies for maximizing student comprehension and vocabulary acquisition.	schooling	None
9 回目	Flash Cards 2 Students will choose target vocabulary and create their own effective teaching materials.	schooling	None
10 回目	Flash Cards 3 Students will peer teach using their own flash	schooling	Students should prepare their own flash cards as

	cards. Students will further explore effective use of flashcards.		described in class. Students should also practice teaching target vocabulary using their original materials
11 回目	Games 1 Students will how games can be use to present, practice target language. Bingo, mystery box, memory	schooling	None
12 回目	Games 2 Students will how games can be used to present and practice target language. Bingo, mystery box, memory	schooling	None
13 回目	Course Work 1 Students will work finishing all class assignments and prepare for the book reading assignment.	schooling	None
14 回目	Course Work 2 Students will work finishing all class assignments and prepare for the book reading assignment.	schooling	Students should prepare and bring materials as necessary.
15 回目	4-Corner presentations Students will read their books to peers using the 4-corner presentation format. Students will submit their book reading project, flashcards.	schooling	Students should be ready to read their book and submit all class work.
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	None
履修上の注意	
オフィスアワー	None (please contact me via email or schedule a meeting during the lunch period, prior to class)
備考・メッセージ	I'm looking forward to learning together

講義科目名称：日本語教授法	授業コード：
英文科目名称：Japanese Language Teaching Method	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5thQ、6thQ	2	2	選択	講義
担当教員				
小嶋 栄子				

授業概要	<p>本授業では、講義の他に留学生1年生の日本語の授業を参観したり彼らをサポートしたりすることを通じて日本語教授法の基礎を学び、下記の4つのことを目標とする。</p> <p>① 日本語の基本的な「音声」「語彙」「文法」を学ぶことによって、日本語を世界の言語の中の1つとして見ることができる。</p> <p>② 本学の留学生との交流を通じてその現状を知り、具体的な日本語教育の方法について考えることができる。</p> <p>③ ドリルを通して日本語の一般常識（漢字・慣用句など）を身につける。</p> <p>④ 日本語教師という職業・役割について理解することができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の基本的な「音声」「語彙」「文法」「文字・表記」の知識を身につける。 日本語授業の簡単な指導案を作って授業をすることができる。 	・レポート	60%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> 留学生と積極的に交流して、彼らの日本での生活をサポートしようとする姿勢を持つことができる。 	・授業への参加・態度	15%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ドリルを解くことを通じて日本語の一般常識（漢字・慣用句など）を身につける。 	・小テストなど	10%
キャリアデザイン力	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教師という職業・役割について理解することを通じて、自らのキャリア形成に活かすことができる。 	・レポート	15%
合計			100%

補足事項

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	この授業の内容・展開を知る。 プレースメントテスト (オンラインリアルタイム授業)	復習：プレースメントテストの見直し 予習：日本の留学生の現状について調べておく。
2回目	留学生と過ごす日々	「留学生と過ごす日々」のスライドを見て日本での留学生の生活について理解し、どのような支援ができるかを考える。(与えられた課題のレポート提出による振替授業) ドリル1	復習：「留学生と過ごす日々」のスライドのメモを見直しておく。 予習：本学留学生の氏名と出身国等を調べておく。
3回目	留学生との交流とサポート1	留学生の授業を参観した後で交流し、留学生がどんなサポートを必要としているかを知り、それをまとめる。 (オンラインリアルタイム授業) ドリル2	復習：サポートをまとめたものを読み返す。 予習：「言語としての日本語」のプリントを読んでおく。
4回目	言語としての日本語	世界の諸言語の一つとして、日本語をさまざまな面からとらえなおす。 (オンラインリアルタイム授業) ドリル3	復習：「言語としての日本語」のプリントを読み直す。 予習：「日本語の音声1」のプリントを読んでおく。
5回目	日本語の音声1	日本語の音声のさまざまな側面についての特徴を知り、その教え方を学ぶ。 (与えられた課題のレポート提出による振替授業) ドリル4	復習：「日本語の音声1」のプリントを読み直す。 予習：JTESTについて調べておく。
6回目	留学生との交流とサポート1	JTEST受験を目指す留学生たちのサポートを通じて、「外国語としての日本語を学ぶ」ことについて考えてまとめる。(ハイブリッドリアルタイム授業) ドリル5	復習：「外国語としての日本語を学ぶ」ことについてまとめたものを読み返す。 予習：「日本語の音声2」のプリントを読んでおく。
7回目	日本語の音声2	日本語の音声のさまざまな側面についての特徴を知り、その教え方を学ぶ。 (ハイブリッドリアルタイム授業)	復習：「日本語の音声2」のプリントを読み直す。 予習：「日本語の文法1」の

		ドリル6	プリントを読んでおく。
8回目	日本語の文法1	日本語の文法の特徴を知り、その教え方を学ぶ。(ハイブリッドリアルタイム授業) ドリル7	復習:「日本語の文法1」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の文法2」のプリントを読んでおく。
9回目	日本語の文法2	日本語の文法の特徴を知り、その教え方を学ぶ。(ハイブリッドリアルタイム授業) ドリル8	復習:「日本語の文法2」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の文法3」のプリントを読んでおく。
10回目	日本語の文法3	日本語の文法の特徴を知り、その教え方を学ぶ。(ハイブリッドリアルタイム授業) ドリル9	復習:「日本語の文法3」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の語彙1」のプリントを読んでおく。
11回目	日本語の語彙1	日本語の語彙の種類や構成などの特徴を知り、その教え方を学ぶ。(ハイブリッドリアルタイム授業) ドリル10	復習:「日本語の語彙1」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の語彙2」のプリントを読んでおく。
12回目	日本語の語彙2	日本語の語彙の種類や構成などの特徴を知り、その教え方を学ぶ。(ハイブリッドリアルタイム授業) ドリル11	復習:「日本語の語彙2」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の語彙3」のプリントを読んでおく。
13回目	日本語の語彙3	日本語の語彙の種類や構成などの特徴を知り、その教え方を学ぶ。(ハイブリッドリアルタイム授業) ドリル12	復習:「日本語の語彙3」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の文字・表記1」のプリントを読んでおく。
14回目	日本語の文字・表記1	日本語の「漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字」の表記の基準を知り、その教え方を学ぶ。(ハイブリッドリアルタイム授業)	復習:「日本語の文字・表記1」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の文字・表記2」のプリントを読んでおく。
15回目	日本語の文字・表記2	日本語の「漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字」の表記の基準を知り、その教え方を学ぶ。(ハイブリッドリアルタイム授業)	復習:「日本語の文字・表記2」のプリントを読み直す。 予習:単位取得レポートの準備
16回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：プリントを配布する</p> <p>参考書：『新・はじめての日本語教育1』アスク出版 『日本語教授法1－14』国際交流基金</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	5thQ:水曜日3コマ目、6thQ:水曜日4コマ目
備考・メッセージ	<p>授業計画は、進捗状況や諸事情により前後することがあります。</p> <p>日本語教師を目指す人もそうでない人も、「国語」とは違う日本語のおもしろさを一緒に学びましょう。</p> <p>本授業に関する連絡はオンライン(MellyとGoogle Class Room)で行います。</p> <p>注) ハイブリッド授業：対面とオンライン同時進行の授業</p>

講義科目名称：Awesome Sasebo！ I（準備・導入）	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q・2Q	1年	1単位	選択	演習
担当教員				
竹田英司				

授業概要	地方や地域について学び、地方や地域が抱える課題の解決策を考える。この授業を通じて、これまでにない地方や地域の魅力を見つけ新しい価値観をはぐくむ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	地方や地域が抱える課題を整理することができる	課題提出	30%
コミュニケーション能力	地方や地域の魅力を他者に伝えることができる	課題提出	30%
課題解決能力	地方や地域が抱える課題の解決策を 列挙することができる	課題提出	30%
主体的に学ぶ力	継続して取り組むことができる	課題提出回数	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	長崎県と佐世保市	長崎県と佐世保市の特色について学ぶ	【復習課題】地元の特色を考える

2回目	これまでにない地方の捉え方1	新しい地方の姿について学ぶ	【復習課題】 Society 5.0時代の地方を考える
3回目	これまでにない地方の捉え方2	地方発！日本を元気にするチカラについて学ぶ	【復習課題】 地方の人口減少問題を考える
4回目	これまでにない地方の捉え方3	ふるさとワーキングホリデーについて学ぶ	【復習課題】 ふるさとワーキングホリデーを考える
5回目	これまでにない地方の捉え方4	感動体験！体験型観光について学ぶ	【復習課題】 感動体験を考える
6回目	これまでにない地方の捉え方5	地方暮らしの魅力について学ぶ	【復習課題】 地方暮らしの魅力を考える
7回目	これまでにない地方の捉え方6	地域ブランドについて学ぶ	【復習課題】 地域ブランドを考える
8回目	これまでにない地方の捉え方7	ブランドづくりについて学ぶ	【復習課題】 ブランドづくりを考える
9回目	これまでにない地方の捉え方8	地域ブランドを守る GI マークについて考える	【復習課題】 GI マークを考える
10回目	これまでにない地方の捉え方9	日本文化の魅力を発信！日本博について学ぶ	【復習課題】 日本文化の魅力を考える
11回目	これまでにない地方の捉え方10	廃校活用プロジェクトについて学ぶ	【復習課題】 廃校活用を考える
12回目	これまでにない地方の捉え方11	古民家活用について学ぶ	【復習課題】 古民家活用を考える
13回目	これまでにない地方の捉え方12	離島がおもしろい！について学ぶ	【復習課題】 離島の魅力を考える
14回目	これまでにない地方の捉え方13	農泊で日本の魅力を再発見について学ぶ	【復習課題】 農泊の魅力を考える
15回目	いまこそ地方創生	地方創生について学ぶ	【復習課題】 地方創生を考える

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	継続して取り組む「主体的に学ぶ力」が必要になります。なるべく休まないでください。

オフィスアワー	日時：金曜日（12:20-12:50） 場所：ラウンジ
備考・メッセージ	皆さんから見て地方には魅力がありますか。地方には仕事がないと耳にしますが果たしてそうでしょうか。地方にもたくさん魅力があることを皆さんの目線で考えてください。

講義科目名称：留① Awesome Sasebo! I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	1	必修	演習
担当教員				
岩崎、園田、チャウ				

授業概要	<p>「Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした1Qから2年生の8Qまで続く演習授業である。留学生の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。</p> <p>Awesome Sasebo! I では、まずは他の国や地域から来日した留学生それぞれと佐世保地域アクティビティを実践しながら交流し、人、文化を理解する。また、今後の活動のためのチーム作りなどチーム運営方法などを学ぶ。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	身近な他者に対して親和的な態度で関わるができる	授業態度	10
専門的知識や技能	日常的な日本語表現が授業内でできる。また、学習言語に関しては、先輩等の手助けをもらいながら、自分が言いたいことが適切な表現を用いて使用することができる。	授業態度 課題	10 10
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々との関わりから発した疑問などを、当事者同士で話合うこと理解を深め、新たな価値観を持つことができる	課題	10
課題解決能力	報告・連絡・相談の習慣を身につけ、相手の立場に立って考えることができる。また、チーム内でのルールやマナーを守って活動することができる	授業態度	50
キャリアデザイン力	長崎県やチームの実態について知り、将来のキャリア形成に活かすことができる	授業態度	10
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・ 本講義では課題20%、授業参加態度80%の割合で評価する ・ 本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「チーム作り①」 アイスブレイク マシュマロチャレンジで チーム内の言葉かけなどを学ぶ 課題に対して、実現するために必要なことは 何かを学ぶ。 学び記録の方法をチーム内で共有する	対面授業	予習：配布プリントを読んで おく。未習語彙は調べて おくこと。Google classroomのクラスに登録す る(1時間) 復習：本日の学びに関して 復習し、出されている課題 をGoogleclassroomをと おして提出する(1時間)
2回目	「チーム作り②」 チームで交流会での出し物を決める 役割決定、練習、およびレポート提出	対面授業	予習：交流会での出し物の アイデアを考えておく(1 時間) 復習：自分のチームでの活 動を振り返る。レポート提 出(1時間)
3回目	「学外研修①」 海きらら研修、佐世保の観光地体験、表示の 工夫などをチームで散策して調べる 資料等を集めておく 交流会	対面授業	予習：これまでの準備を見 直して、すぐに研修が開始 できるようにしておく(1時 間) 復習：資料の共有などを classroomを通して実施する (1時間)
4回目	「学外研修②」 活動の振り返り 友人へのインタビューから考えたことを中心 にして、振り返りアンケートに入力する。 また、活動をチームでまとめる(役割決め)	対面授業	予習：資料の共有などを classroomを通して準備する (1時間) 復習：段落を決定させ、書 いたものを提出(1時間)
5回目	「情報機器のスキル①」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要な スキルを学ぶ 1年生は特にPPTのスキルを向上させるよう に努力する	対面授業	予習：『伸ばす！就活能 力・ビジネス日本語力』Ⅳ 課p79~85を読んでおく。未 習語彙は調べておくこと(1 時間) 復習：構成を見直し、次に 各部分に必要な語彙などを 覚えておく(1時間)
6回目	「日本を知る、佐世保を知る①」 佐世保が日本でどのような場所なのかを学習 する 教科書で日本の概要を知る 佐世保市役所 片山さんの講義	対面授業	予習：『伸ばす！就活能 力・ビジネス日本語力』Ⅲ 課p67~73を読んでおく。未 習語彙は調べておくこと(1 時間) 復習：ミニテストと講演の 内容を再確認する(1時間)
7回目	「日本を知る、佐世保を知る②」 佐世保が日本でどのような場所なのかを学習 する。相浦を知る。 地域を知るために、相浦散歩を行う。 同時に地図記号にもチャレンジし、災害に備 えることのできる知識を養う 佐世保散歩のコースを決める	対面授業	予習：配布プリントを読ん でおく。未習語彙に関して は調べておくこと(1時間) 復習：地図記号を覚える。 相浦から短大までの地図の ルートを確認しておく(1時 間)
8回目	「日本を知る、佐世保を知る③」 佐世保が日本でどのような場所なのかを学習 する。相浦を知る。	対面授業	予習：配布プリントを読ん でおく。未習語彙に関して は調べておくこと(1時間)

	相浦ウォーキング チームで地図を見ながら地図記号を入れてマイ地図を作成する→完成させて提出		復習：地図記号を覚える。 相浦から短大までの地図のルートを確認しておく(1時間)
9回目	「3Qへ向けて①」 3Qの交流授業に向けて、昨年の高校交流授業を見学する 気が付いたことを共有する チームで意見を共有、先輩から引継ぎを受ける	対面授業	予習：交流授業に関する質問を考えてくる(1時間) 復習：アドバイスを受けたことをチーム内でまとめ、提出(1時間)
10回目	「3Qへ向けて②」 3Qの交流授業に向けて、昨年の小学校交流授業を見学する 気が付いたことを共有する チームで意見を共有、先輩から引継ぎを受ける	対面授業	予習：交流授業に関する質問を考えてくる(1時間) 復習：アドバイスを受けたことをチーム内でまとめ、提出(1時間)
11回目	「活動準備①」 小学校交流活動に必要な物、タイムスケジュールなど計画を具体的に立てる PPT等の作成に取り掛かる	対面授業	予習：これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(1時間) 復習：資料の共有などをclassroomを通して実施する(1時間)
12回目	「活動準備②」 小学校交流活動に必要な物、タイムスケジュールなど計画を具体的に立てる PPT等の作成に取り掛かる	対面授業	予習：これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(1時間) 復習：資料の共有などをclassroomを通して実施する(1時間)
13回目	「活動準備③」 小学校交流活動に必要な物、タイムスケジュールなど計画を具体的に立てる PPT等の作成に取り掛かる	対面授業	予習：これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(1時間) 復習：資料の共有などをclassroomを通して実施する(1時間)
14回目	「試演②」 実際に時間を計って、計画通りにしてみる 感想を出し合い、修正があれば修正を行う	対面授業	予習：自分の役割などを明確にしておく(1時間) 復習：構成を見直し、次までに修正が必要なものは見直す(1時間)
15回目	「修正②」 実際に時間を計りながら修正を加える 感想を出し合いチームとして、良いものになるように互いの意見を共有する	対面授業	予習：修正が加わった部分に関して、ひとりでできる部分は事前にしておく(1時間) 復習：互いの意見をまとめて提出する(1時間)
16回目	「発表」 作成物の発表（PPT、配布物、掲示物）を行う。 授業アンケートの実施	対面授業	予習：発表会の資料に目を通しておく(1時間) 復習：作成物を皆で共有できる場所に保存し、内容確認をしておく(1時間)

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』プレゼンテーション
履修条件	積極的に参加する事
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること また、本授業はチーム活動が中心であるため、全体をみながらコミュニケーションを取ることが求められている。積極的な行動が望ましい。
オフィスアワー	前期： 木曜日2コマ目（11:00～12:00）研究室 後期： 火曜日1コマ目（9：30～10：30）研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

Awesome Sasebo ! II (定着)	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! II	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5 th Q	2年	1単位	必修	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>以下の6項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力(翻訳等)の向上</p> <p>6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・情報収集・まとめの力の向上 ・プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上 ・言語運用能力(翻訳等)の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・NJC 学生ホームページの充実度 ・インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力) ・地域のニーズを把握して解 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極性 ・独創性 ・チームとしてのまとまり 	30%

	決する力の向上		
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトのミッションとし、その過程で、6つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、6項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元イベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p> <p>3) 地域の声を聞いて、地域で必要とされる課題を把握し、地域の方と協力しながら解決することを目指す。また、地域住民のアンケートなどを通じて評価を頂き、その結果を次年度の活動の反映する。</p> <p>4) 課題の提出はGoogle classroomを使って行い、フィードバックは次回の授業の中で行う。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの説明とグループ分 グループ内メンバーで第1回打合せ。 (オンラインリアルタイム授業)	予習： 特になし 復習： パンフレットやインターネットからコース内容を見ておく
2回目	取材方法を学ぶ	インタビュー方法、動画撮影方法などの基本を学ぶ。 (オンラインリアルタイム授業)	予習： パンフ等に目を通しておくこと 復習： 学んだポイントをノートにまとめておく。
3回目	ホームページ作成方法を学ぶ	WordPress を使用し、HP の作成法を学ぶ。 (オンラインリアルタイム授業)	予習： 他大学のホームページも参考のために見ておくこと。 復習： 学んだポイントをノートにまとめておく。

			く。
4回目	ホームページへの記事掲載方法を学ぶ	ホームページへの記事の載せ方を学ぶ。 (オンラインリアルタイム授業)	予習：他大学のホームページも参考のために見ておくこと。 復習：学んだポイントをノートにまとめておく。
5回目	地域行事への取組	地域行事とその取り組み、報告書の作成方法について説明。 ・地域の行事に2行事以上に参加 ・写真付きレポートの作成 (活動内容・感想) *余白標準設定で横書き、写真含む、A4、3-5枚、1行45文字x40列、文字数最大1800文字、フォント10.5 (オンラインリアルタイム授業)	予習：自分の住む町の行事を調べておくこと。 復習：学んだポイントをノートにまとめておく。
6回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・担当のコース長との打合せ。 (オンラインリアルタイム授業)	予習：コースの内容を調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
7回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 (オンラインリアルタイム授業)	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
8回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コ	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報を

		<p>ースグループ」に別れて活動。</p> <p>・地域活動状況連絡と活動報告 (オンラインリアルタイム授業)</p>	<p>ノートにまとめておく。</p>
9回目	コース別活動	<p>・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。</p> <p>・地域活動状況連絡と活動報告</p>	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
10回目	コース別活動	<p>・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。</p> <p>・地域活動状況連絡と活動報告</p>	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
11回目	コース別活動	<p>・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。</p> <p>・地域活動状況連絡と活動報告</p>	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
12回目	コース別活動	<p>・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。</p> <p>・地域活動状況連絡と活動報告</p>	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
13回目	コース別活動	<p>・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。</p> <p>・地域活動状況連絡と活動報告</p>	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
14回目	コース別活動	<p>・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。</p> <p>・地域活動状況連絡と活動報告</p>	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
15回目	まとめの発表	今タームの進捗を発表する	
16回目	(試験は実施せず、授業の成果物で評価する)		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

講義科目名称：留② Awesome Sasebo! II	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	1	必修	演習
担当教員				
岩崎、園田				

授業概要	<p>「Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした1Qから2年生の8Qまで続く演習授業である。留学生の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。</p> <p>Awesome Sasebo! II では、2年生のチームが、来日間もない留学生1年生とそれぞれチームを組み、佐世保地域アクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながらチームビルディングの方法を学ぶ。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	身近な他者に対して親和的な態度で関わるができる	授業態度	5
専門的知識や技能	相手や目的・場面に応じて自らの意志を表現・伝達することができる。また、相手の意志を理解することができる。	授業態度 課題	5 10
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。さらに共通の理解を得るために交渉を始めることができる。	課題	10
課題解決能力	相手の意見を理解し、自分の意見を的確に伝え、自分の感情をコントロールすることができる。また柔軟に物事に取り組み、チームで協力して活動することができる	授業態度	50
キャリアデザイン力	チームビルディングの方法を実践することができる	授業態度	20
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・ 本講義では課題20%、授業参加態度80%の割合で評価する ・ 本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする</p> <p>N2～N1レベルの自己紹介を学ぶ</p> <p>自己紹介を通して1年生メンバーの特性等を把握する。チーム内のメンバーの構成を考える</p>	対面授業	<p>予習：『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』Ⅱ課1p15～24を読んでおく。未習語彙は調べておくこと。Googleclassroomのクラスに登録する(1時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)</p>
2回目	<p>「チーム作り①」 アイスブレイク マシュマロチャレンジでチーム内の言葉かけなどを学ぶ</p> <p>課題に対して、実現するために必要なことは何かを学ぶ。 学び記録の方法をチーム内で共有する</p>	対面授業	<p>予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。Google classroomのクラスに登録する(1時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)</p>
3回目	<p>「チーム作り②」 レゴで自己表現方法を学ぶ チームでの会話を増やす仕組み</p>	対面授業	<p>予習：自分を表すものは何か考えてデザインしておく。その語彙もメモにかいておく(1時間)</p> <p>復習：どの部分で、チームビルディングに関して何を学んだかをレポートにまとめる(1時間)</p>
4回目	<p>「チーム作り③」 チームで交流会での出し物を決める 役割決定、練習、およびレポート提出</p>	対面授業	<p>予習：交流会での出し物のアイデアを考えておく(1時間)</p> <p>復習：自分のチームでの活動を振り返る。レポート提出(1時間)</p>
5回目	<p>「学外研修①」 海きらら研修、佐世保の観光地体験、表示の工夫などをチームで散策して調べる 資料等を集めておく 交流会</p>	対面授業	<p>予習：これまでの準備を見直して、すぐに研修が開始できるようにしておく(1時間)</p> <p>復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)</p>
6回目	<p>「学外研修②」 海きらら研修、佐世保の観光地体験、表示の工夫などをチームで散策して調べる 資料等を集めておく 交流会</p>	対面授業	<p>予習：これまでの準備を見直して、すぐに研修が開始できるようにしておく(1時間)</p> <p>復習：資料の共有などをclassroomを通して実施する(1時間)</p>
7回目	<p>「学外研修③」 活動の振り返り 振り返りアンケートに入力する。 また、友人へのインタビューを含めて、活動に関してチームで考えたことをまとめる（役割決め）</p>	対面授業	<p>予習：これまでの準備を見直して、すぐに振り返りが開始できるようにしておく(1時間)</p> <p>復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直</p>

			す(1時間)
8回目	「学外研修④」 活動の振り返り また、友人へのインタビューを含めて、活動に関してチームで考えたことをまとめる（役割決め） 動画作り（インタビュー中心）	対面授業	予習：これまでの準備を見直し、すぐに振り返りが開始できるようにしておく(1時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)
9回目	「情報機器のスキル①」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ 2年生はチューターとして1年生を指導する	対面授業	予習：『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』IV課p79~85を読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。 復習：構成を見直し、次に各部分に必要な語彙などを覚えておく(1時間)
10回目	「情報機器のスキル②」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ 2年生はチューターとして1年生を指導する	対面授業	予習：『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』IV課p79~85を読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。 復習：構成を見直し、1年生へきちんと情報が伝わったかどうかを確認する(1時間)
11回目	「情報機器のスキル③」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ。 4Qで作成した発表動画、作成物を1年生に対してプレゼンする	対面授業	これまでの準備を見直し、全体の完成を目指す(1時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)
12回目	「日本を知る、佐世保を知る①」 佐世保が日本でどのような場所なのかを学習する 教科書で日本の概要を知る 佐世保市役所 片山さんの講義	対面授業	予習：全体の体裁等を確認しておく(1時間) 復習：提出した卒業研究を見直し、発表会準備をする(1時間)
13回目	「日本を知る、佐世保を知る②」 佐世保が日本でどのような場所なのかを学習する。相浦を知る。 地域を知るために、相浦散歩を行う。 同時に地図記号にもチャレンジし、災害に備えることのできる知識を養う 佐世保散歩のコースを決める	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙に関しては調べておくこと(1時間) 復習：地図記号を覚える。 相浦から短大までの地図のルートを確認しておく(1時間)
14回目	「日本を知る、佐世保を知る③」 佐世保が日本でどのような場所なのかを学習する。相浦を知る。 地図の作成 授業アンケートの実施	対面授業	予習：地図記号を覚える。 相浦から短大までの地図のルートを確認しておく(1時間) 復習：様々な活動でどのようにチームビルディングを行ったかレポートを作成(1時間)
15回目	「日本を知る、佐世保を知る④」 佐世保が日本でどのような場所なのかを学習する。相浦を知る。	対面授業	予習：発表会の資料に目を通しておく(1時間) 復習：卒業研究発表を聞いて、多くの新しい考えを反

	相浦ウォーキング チームで地図を見ながら地図記号を入れてマイ地図を作成する		芻して深く理解する(1時間)
16回目	「日本を知る、佐世保を知る⑤」 佐世保が日本でどのような場所なのかを学習する。相浦を知る。 相浦ウォーキング チームで地図を見ながら地図記号を入れてマイ地図を作成する→完成させて提出	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙に関しては調べておくこと(1時間) 復習：地図記号を覚える。 相浦から短大までの地図のルートを確認しておく(1時間)

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』
履修条件	5Q開講の『国際時事研究』および『卒業研究』の履修を行うこと
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、2年生は1年生のチューターの役割があるため、昨年の学びを自分の中で授業前に復習しておくこと
オフィスアワー	前期： 木曜日2コマ目（11:00～12:00）研究室 後期： 火曜日1コマ目（9：30～10：30）研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

Awesome Sasebo ! III (定着)	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! III	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6 th Q	2年	1単位	必修	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>以下の6項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力(翻訳等)の向上</p> <p>6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・情報収集・まとめの力の向上 ・プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上 ・言語運用能力(翻訳等)の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・NJC 学生ホームページの充実度 ・インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力) ・地域のニーズを把握して解 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極性 ・独創性 ・チームとしてのまとまり 	30%

	決する力の向上		
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトのミッションとし、その過程で、6つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、6項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元イベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p> <p>3) 地域の声を聞いて、地域で必要とされる課題を把握し、地域の方と協力しながら解決することを目指す。また、地域住民のアンケートなどを通じて評価を頂き、その結果を次年度の活動の反映する。</p> <p>4) 課題の提出はGoogle classroomを使って行い、フィードバックは次回の授業の中で行う。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	・プロジェクトの説明とグループ分 ・グループ内メンバーで第1回打合せ。	予習： 特になし 復習： パンフレットやインターネットからコース内容を見ておく
2回目	取材方法を学ぶ	インタビュー方法、動画撮影方法などの基本を学ぶ。	予習： パンフ等を目を通しておくこと 復習： 学んだポイントをノートにまとめておく。
3回目	ホームページ作成方法を学ぶ	WordPress を使用し、HP の作成法を学ぶ。	予習： 他大学のホームページも参考のために見ておくこと。 復習： 学んだポイントをノートにまとめておく。
4回目	ホームページへの	ホームページへの記事の載せ	予習： 他大学のホーム

	記事掲載方法を学ぶ	方を学ぶ。	ページも参考のために見ておくこと。 復習：学んだポイントをノートにまとめておく。
5回目	地域行事への取組	地域行事とその取り組み、報告書の作成方法について説明。 ・地域の行事に2行事以上に参加 ・写真付きレポートの作成（活動内容・感想）*余白標準設定で横書き、写真含む、A4、3-5枚、1行45文字x40列、文字数最大1800文字、フォント10.5	予習：自分の住む町の行事を調べておくこと。 復習：学んだポイントをノートにまとめておく。
6回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・担当のコース長との打合せ。	予習：コースの内容を調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
7回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
8回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
9回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
10回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護	予習：参考にアイディ

		コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	アを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
11 回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
12 回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
13 回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
14 回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
15 回目	まとめの発表	今タームの進捗を発表する	
16 回目	(試験は実施せず、授業の成果物で評価する)		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	

履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

Awesome Sasebo ! IV (定着)	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! IV	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7 th Q	2年	1単位	必修	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>以下の6項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力(翻訳等)の向上</p> <p>6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・情報収集・まとめの力の向上 ・プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上 ・言語運用能力(翻訳等)の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・NJC 学生ホームページの充実度 ・インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力) ・地域のニーズを把握して解 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極性 ・独創性 ・チームとしてのまとまり 	30%

	決する力の向上		
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトのミッションとし、その過程で、6つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、6項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元のイベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p> <p>3) 地域の声を聞いて、地域で必要とされる課題を把握し、地域の方と協力しながら解決することを目指す。また、地域住民のアンケートなどを通じて評価を頂き、その結果を次年度の活動の反映する。</p> <p>4) 課題の提出はGoogle classroomを使って行い、フィードバックは次回の授業の中で行う。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	・プロジェクトの説明とグループ分 ・グループ内メンバーで第1回打合せ。	予習： 特になし 復習： パンフレットやインターネットからコース内容を見ておく
2回目	取材方法を学ぶ	インタビュー方法、動画撮影方法などの基本を学ぶ。	予習： パンフ等を目を通しておくこと 復習： 学んだポイントをノートにまとめておく。
3回目	ホームページ作成方法を学ぶ	WordPress を使用し、HP の作成法を学ぶ。	予習： 他大学のホームページも参考のために見ておくこと。 復習： 学んだポイントをノートにまとめておく。
4回目	ホームページへの	ホームページへの記事の載せ	予習： 他大学のホーム

	記事掲載方法を学ぶ	方を学ぶ。	ページも参考のために見ておくこと。 復習：学んだポイントをノートにまとめておく。
5回目	地域行事への取組	地域行事とその取り組み、報告書の作成方法について説明。 ・地域の行事に2行事以上に参加 ・写真付きレポートの作成（活動内容・感想）*余白標準設定で横書き、写真含む、A4、3-5枚、1行45文字x40列、文字数最大1800文字、フォント10.5	予習：自分の住む町の行事を調べておくこと。 復習：学んだポイントをノートにまとめておく。
6回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・担当のコース長との打合せ。	予習：コースの内容を調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
7回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
8回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
9回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
10回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護	予習：参考にアイディ

		コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	アを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
11回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
12回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
13回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
14回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
15回目	まとめの発表	今タームの進捗を発表する	
16回目	(試験は実施せず、授業の成果物で評価する)		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	

履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

Awesome Sasebo! V (定着)	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! V	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8 th Q	2年	1単位	必修	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>以下の6項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別に実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力(翻訳等)の向上</p> <p>6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・情報収集・まとめの力の向上 ・プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上 ・言語運用能力(翻訳等)の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・NJC 学生ホームページの充実度 ・インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力) ・地域のニーズを把握して解 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極性 ・独創性 ・チームとしてのまとまり 	30%

	決する力の向上		
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトのミッションとし、その過程で、6つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、6項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元のイベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p> <p>3) 地域の声を聞いて、地域で必要とされる課題を把握し、地域の方と協力しながら解決することを目指す。また、地域住民のアンケートなどを通じて評価を頂き、その結果を次年度の活動の反映する。</p> <p>4) 課題の提出はGoogle classroomを使って行い、フィードバックは次回の授業の中で行う。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	・プロジェクトの説明とグループ分 ・グループ内メンバーで第1回打合せ。	予習： 特になし 復習： パンフレットやインターネットからコース内容を見ておく
2回目	取材方法を学ぶ	インタビュー方法、動画撮影方法などの基本を学ぶ。	予習： パンフ等を目を通しておくこと 復習： 学んだポイントをノートにまとめておく。
3回目	ホームページ作成方法を学ぶ	WordPress を使用し、HP の作成法を学ぶ。	予習： 他大学のホームページも参考のために見ておくこと。 復習： 学んだポイントをノートにまとめておく。
4回目	ホームページへの	ホームページへの記事の載せ	予習： 他大学のホーム

	記事掲載方法を学ぶ	方を学ぶ。	ページも参考のために見ておくこと。 復習：学んだポイントをノートにまとめておく。
5回目	地域行事への取組	地域行事とその取り組み、報告書の作成方法について説明。 ・地域の行事に2行事以上に参加 ・写真付きレポートの作成（活動内容・感想）*余白標準設定で横書き、写真含む、A4、3-5枚、1行45文字x40列、文字数最大1800文字、フォント10.5	予習：自分の住む町の行事を調べておくこと。 復習：学んだポイントをノートにまとめておく。
6回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・担当のコース長との打合せ。	予習：コースの内容を調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
7回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
8回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
9回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
10回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護	予習：参考にアイディ

		コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	アを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
11 回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
12 回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
13 回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
14 回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
15 回目	まとめの発表	今タームの進捗を発表する	
16 回目	(試験は実施せず、授業の成果物で評価する)		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	

履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

講義科目名称：留② Awesome Sasebo!V	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	1	必修	演習
担当教員				
岩崎、園田、岩井				

授業概要	<p>「Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした1Qから2年生の8Qまで続く演習授業である。留学生の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。</p> <p>Awesome Sasebo!IVでは、2年生のチームが主体となって、留学生1年生とそれぞれチームを組み、佐世保地域の課題解決に関するアクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながら具体的な解決方法解決・実践を学ぶ。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	率先して、常に社会のルールや状況に適した振る舞いができ、他者にも促すことができる	授業態度	5
専門的知識や技能	日本語で幅広い話題について明確で詳細な文章を読み書きでき、伝えることができる。 また、動画や画像を使用し、レイアウトや相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料を作成できる	課題	40
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	課題に対して考えた自分の意見を明確に伝え、相手の意見や立場を尊重しつつ、少しのストレスも成長の機会であるとポジティブに捉えて、チーム全体で取り組むことができる。 また、既存の発想に捉われず、新しくユニークな解決法で対処できる。	授業態度 課題・作成物	30 20
キャリアデザイン力	ビジネスを実践していくにあたり、必要な理解をもち、一般的な業務について知識と技能を持っている	授業態度	5
合計			100%
補足事項			

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題・作成物60%、授業参加態度40%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする</p> <p>2年間の学びについてPPT&動画を作成① チーム作成、役割分担 ①来年の1年生に伝えたいこと A： 日本での生活ルール B： 学校のルール（授業のルール） C： 学校のルール（先生とのルール） D： 日本語の勉強 E： 就職活動について F： 進学活動について G： お金について</p>	対面授業	<p>予習：Googleclassroomのクラスに登録する(1時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
2回目	<p>2年間の学びについてPPT&動画を作成② チーム作成、役割分担 ①来年の1年生に伝えたいこと A： 日本での生活ルール B： 学校のルール（授業のルール） C： 学校のルール（先生とのルール） D： 日本語の勉強 E： 就職活動について F： 進学活動について G： お金について</p>	対面授業	<p>予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
3回目	<p>2年間の学びについてPPT&動画を作成③ チーム作成、役割分担 ①来年の1年生に伝えたいこと A： 日本での生活ルール B： 学校のルール（授業のルール） C： 学校のルール（先生とのルール） D： 日本語の勉強 E： 就職活動について F： 進学活動について G： お金について</p>	対面授業	<p>予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
4回目	<p>2年間の学びについてPPT&動画を作成④ チーム作成、役割分担 ①来年の1年生に伝えたいこと A： 日本での生活ルール B： 学校のルール（授業のルール） C： 学校のルール（先生とのルール） D： 日本語の勉強 E： 就職活動について F： 進学活動について G： お金について</p> <p>完成作品をGoogle classroomへ提出する</p>	対面授業	<p>予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(1時間)</p>
5回目	学校紹介プロジェクト①	対面授業	予習：インターネット上に

	<p>入学前や入学する学生に対して、短期大学の紹介動画を作成する</p> <p>アンケート調査を実施し、ニーズ分析を行う必要な情報等の把握の方法を学ぶ</p> <p>Google formの使い方を学ぶ</p>		<p>ある紹介動画を参考に、どのような工夫があるかをまとめておく(1時間)</p> <p>復習：ニーズ調査の重要性を理解し、自分たちでニーズ調査ができるようになる(1時間)</p>
6回目	<p>学校紹介プロジェクト②</p> <p>チーム編成。チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。実施する。</p>	対面授業	<p>予習：これまでの準備を振り返り、チーム活動に必要な事柄を、Google classroomに提出する(1時間)</p> <p>復習：構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめておく(1時間)</p>
7回目	<p>学校紹介プロジェクト③</p> <p>チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。実施する。</p>	対面授業	<p>予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間)</p> <p>復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
8回目	<p>学校紹介プロジェクト④</p> <p>チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。実施する。</p>	対面授業	<p>予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間)</p> <p>復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
9回目	<p>学校紹介プロジェクト⑤</p> <p>チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。実施する。</p>	対面授業	<p>予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間)</p> <p>復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
10回目	<p>学校紹介プロジェクト⑥ 提出</p> <p>チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。作成物の提出</p>	対面授業	<p>予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間)</p> <p>復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
11回目	<p>学校紹介プロジェクト⑦ 修正</p> <p>指摘を受けた部分について修正を行う</p> <p>改善を実施したのち、再提出を行う</p>	対面授業	<p>予習：これまでの準備を見直し、全体の完成を目指す(1時間)</p> <p>復習：構成を見直し、次ま</p>

			でに各部分に修正が必要な部分に関して修正をする(1時間)
12回目	学校紹介プロジェクト⑧ 修正 指摘を受けた部分について修正を行う 改善を実施したのち、再提出を行う	対面授業	予習：全体の体裁等を確認しておく(1時間) 復習：提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(1時間)
13回目	学校紹介プロジェクト 鑑賞会 それぞれのチームの発表にコメントを入れてフィードバックを行う	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(1時間)
14回目	学校紹介プロジェクト 鑑賞会 それぞれのチームの発表にコメントを入れてフィードバックを行う これまでの活動を振り返ってのレポート作成 表彰式	対面授業	予習：もらった評価を確認しておくこと(1時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。表彰式の準備(1時間)
15回目	これまでの活動を振り返って、ベストチューデント賞を選定	対面授業	予習：事前配布のアンケートフォームに回答しておくこと(1時間) 復習：これまでの学習を学習ノートにまとめ、1年間の学習の振り返りをおこなう(1時間)

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	6Q実践Awesome Sasebo!IVを履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、2年生は1年生のチューターの役割があるため、昨年の学びを自分の中で授業前に復習しておくこと。また、チーム活動が求められるため、ホウレンソウをしっかりと実行できるように努力すること。
オフィスアワー	前期： 木曜日2コマ目（11:00～12:00）研究室 後期： 火曜日1コマ目（9：30～10：30）研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

ギャップイヤー事前指導	授業コード：
英文科目名称： Preparation Seminar for Gap Term	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修	演習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>1st Quarter： ギャップイヤーに自分が取り組む「留学」「インターンシップ」「サービ斯拉ーニング」に関して、「目的」「目標」を含む綿密な「ギャップイヤー計画表」を作成する。教員、外部講師、2年生から様々な情報を得て、ギャップイヤーに取り組む計画をしっかりと立てる上で、大学生として、正しく情報を収集し、適切な分析を行う力を養うことができるようにする。</p> <p>2nd Quarter： 1st Quarter に作成した計画に従って、以下のカテゴリ別に詳細な準備を行う。準備を行う上で、自分の考え、一つの可能性、一つのものの見方にとらわれず、色々な角度から事を考え、他人の意見に耳を傾け、十分に見直しをおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期（3か月）留学： 渡航手続き、留学・ホームステイアプリケーション作成、異文化理解、ホームシック対応等 ・インターンシップ： インターンシップ先の情報収集、履歴書作成、面接準備、ビジネスマナー等 ・サービ斯拉ーニング： 実施施設の決定、内容の確認、対応マナー等
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	・ギャップイヤーの活動に必要な適切で十分な情報を得ることができる。	・活動計画書作成	30%

異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャップイヤーの活動の目的を正しく理解できる。 ・ギャップイヤーの活動の際のリスクに関しても正しく分析できる。 ・ギャップイヤーの活動に関する評価システム（活動後に、自らの学びの確認と改善、さらなる学びのために）を理解し、運用できる。 	・授業や活動への参加・態度	30%
キャリアデザイン力	・ギャップイヤーの活動計画を立て、プレゼンテーションができる。	・活動計画のプレゼンテーション	40%
合計			100%
補足事項			
<p>・「活動計画書作成」、「活動計画のプレゼンテーション」、「授業や活動への参加・態度」で、総合的に評価します。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャップイヤー概要説明 ・現時点での選択希望調査 	予習：特になし 復習：不明な点を確認する。
2回目	ポスタープレゼン	・前年度経験した2年生によるポスタープレゼンテーション	予習：先輩への質問を考えておく。 復習：先輩から聞いたことをメモに整理しておくこと。
3回目	長期留学の説明	・ニュージーランド有給インタ	予習：質問を考えてお

		<p>ンシップ説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングホリデー留学説明 	<p>く。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
4回目	準備・計画1	ギャップで選択した活動の準備・計画	<p>予習：質問を考えておく。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
5回目	準備・計画2	ギャップで選択した活動の準備・計画	<p>予習：質問を考えておく。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
6回目	インターンシップ説明	・国内有給インターンシップの説明	<p>予習：質問を考えておく。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
7回目	準備・計画3	ギャップで選択した活動の準備・計画	<p>予習：質問を考えておく。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
8回目	準備・計画4	ギャップで選択した活動の準備・計画	<p>予習：質問を考えておく。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
9回目	準備・計画5	ギャップで選択した活動の準備・計画	<p>予習：質問を考えておく。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
10回目	準備・計画6	ギャップで選択した活動の準備・計画	<p>予習：質問を考えておく。</p>

			復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。
11 回目	職業理解 1	職業選択に関して（フレッシュワーク）	予習：質問を考えておく。 復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。
12 回目	職業理解 2	医療事務、エアライン、公務員	予習：質問を考えておく。 復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。
13 回目	活動計画書作成 1	各種書類作成	予習：質問を考えておく。 復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。
14 回目	活動計画書作成 2	各種書類作成	予習：質問を考えておく。 復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。
15 回目	まとめ	口頭プレゼンテーション	予習：プレゼンの準備 復習：自分のプレゼンで指摘された項目をメモし、改善方法を書き出す。
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし

履修条件	
履修上の注意	ギャップタームでの経験は、これからの職業や進路選択な重要な時期になるので、真剣に取り組むこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	必要な知識・技術を吸収し、十分な準備をしてギャップイヤーに臨むこと。

講義科目名称：留① ギャップイヤー事前指導	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2	必修	講義
担当教員				
岩崎、園田、チャウ				

授業概要	<p>「ギャップイヤー事前指導」は「ギャップイヤー事後指導」と共に、国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で自己実現のための「生きる力」の育成を目的とした1Q2Qと4Qまで続く授業である。</p> <p>留学生の授業では、3Qでの地域学習（高校での授業、小学校との交流授業など）の実施準備期間として、必要なプレゼンテーション能力や語学力、異文化対応能力等の育成を図る。チームでの活動が多いため、チーム力育成のための方法なども同時に学ぶ。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら。自ら考え行動する	授業態度	10
専門的知識や技能	画像などを用い、デザインを工夫したプレゼンテーションが作成できる。 また、必要で関心のある事柄に対し、適切な日本語で伝えることができる	課題	40
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々との関わりを通して、自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持・改善をしようと試みることができる。	課題	10
課題解決能力	確認や見直しを行い、事前に計画を立てて自分の考察を交えてチームで解決することができる。	授業態度	30
キャリアデザイン力	佐世保市の教育現場に関わる事で、自己認識をし、生活者としての自分に気が付くことができる。さらに自ら関わる意識を持つことができる。	授業態度	10
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・ 本講義では課題50%、授業参加態度50%の割合で評価する ・ 本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする N3～N2レベルの自己紹介を学ぶ	対面授業	予習：『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』Ⅱ課1p15～24を読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。Googleclassroomのクラスに登録する（2時間） 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(2時間)
2回目	「チーム作り」 レゴで自己表現方法を学ぶ チームでの会話を増やす仕組み	対面授業	予習：自分を表すものは何か考えてデザインしておく。その語彙もメモにかいておく(2時間) 復習：どの部分で、何を学んだかをレポートにまとめる(2時間)
3回目	「学外研修①」 海きらら研修、佐世保の観光地体験、表示の工夫などをチームで散策して調べる 資料等を集めておく 交流会	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに研修が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
4回目	「学外研修②」 活動の振り返り 振り返りアンケートに入力する。 また、活動に関してチーム内でインタビューをして動画にまとめる（役割決め）	対面授業	予習：資料の共有などをclassroomを通して準備する(2時間) 復習：段落を決定させ、書いたものを提出(2時間)
5回目	「情報機器のスキル①」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ	対面授業	予習：『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』Ⅳ課p79～85を読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。 復習：構成を見直し、次に各部分に必要な語彙などを覚えておく(2時間)
6回目	「情報機器のスキル②」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ。先輩の発表動画、作成物を確認し、2Qに備える。	対面授業	予習：『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』Ⅳ課p79～85を読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。 復習：構成を見直し、次に各部分に必要な語彙などを覚えておく(2時間)
7回目	「日本を知る、佐世保を知る①」 佐世保が日本でどのような場所なのかを学習する。相浦を知る。 地域を知るために、相浦散歩を行う。 同時に地図記号にもチャレンジし、災害に備えることのできる知識を養う 佐世保散歩のコースを決める	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙に関しては調べておくこと(2時間) 復習：地図記号を覚える。 相浦から短大までの地図のルートを確認しておく(2時間)

8回目	<p>「日本を知る、佐世保を知る②」 佐世保が日本でどのような場所なのかを学習する。相浦を知る。</p> <p>相浦ウォーキング チームで地図を見ながら地図記号を入れてマイ地図を作成する</p>	対面授業	<p>予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙に関しては調べておくこと(2時間) 復習：地図記号を覚える。相浦から短大までの地図のルートを確認しておく(2時間)</p>
9回目	<p>「3Qへ向けて①」 3Qの交流授業に向けて、昨年的高校交流授業を見学する</p> <p>2年生ヘインタビューする</p>	対面授業	<p>予習：交流授業に関する質問を考えてくる(2時間) 復習：自分が交流授業をする時のイメージを文字起こしする(2時間)</p>
10回目	<p>「3Qへ向けて①」 3Qの交流授業に向けて、昨年の小学校交流授業を見学する</p> <p>2年生ヘインタビューする</p>	対面授業	<p>予習：交流授業に関する質問を考えてくる(2時間) 復習：自分が交流授業をする時のイメージを文字起こしする(2時間)</p>
11回目	<p>チーム分け 「活動準備①」</p> <p>リーダー決め、チームメンバー決め アイスブレイク 役割決めをして各役割の活動を明確にする</p>	対面授業	<p>予習：これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習：資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)</p>
12回目	<p>「活動準備②」</p> <p>活動に必要な物、タイムスケジュールなど計画を具体的に立てる PPT等の作成に取り掛かる</p>	対面授業	<p>予習：これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習：資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)</p>
13回目	<p>「活動準備③」</p> <p>活動に必要な物、タイムスケジュールなど計画を具体的に立てる PPT等の作成に取り掛かる</p>	対面授業	<p>予習：これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習：資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)</p>
14回目	<p>「試演①」 実際に時間を計って、計画通りにしてみる</p> <p>感想を出し合い、修正があれば修正を行う</p>	対面授業	<p>予習：自分の役割などを明確にしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次までに修正が必要なものは見直す(2時間)</p>
15回目	<p>「修正①」 実際に時間を計りながら修正を加える</p> <p>感想を出し合いチームとして、良いものになるように互いの意見を共有する</p>	対面授業	<p>予習：修正が加わった部分に関して、ひとりでする部分は事前しておく(2時間) 復習：互いの意見をまとめ</p>

			て提出する(2時間)
16回目	「発表」 作成物の発表（PPT、配布物、掲示物）を行う。 授業アンケートの実施	対面授業	予習：発表会の資料に目を通しておく(2時間) 復習：作成物を皆で共有できる場所に保存し、内容確認をしておく(2時間)

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』プレゼンテーション
履修条件	3Qのサービスラーニングを併せて履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること また、本授業はチーム活動が中心であるため、全体をみながらコミュニケーションを取ることが求められている。積極的な行動が望ましい。
オフィスアワー	前期： 木曜日2コマ目（11:00～12:00）研究室 後期： 火曜日1コマ目（9：30～10：30）研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

海外文化事情 I (アジア圏短期研修)	授業コード：
英文科目名称： Foreign Culture Study I	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期(約10日間)海外研修プログラム。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習する。</p> <p>主に、韓国や中国・台湾の姉妹大学を訪問し、現地の学生と交流活動をおこなう。滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験する。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 	レポート評価	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹校の学生との交流会(又は、ホームステイ)などを通して現地の文化を理解することができる。 	レポート評価	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 	プレゼンテーションの評価	30%

キャリアデザイン力			
			合計 100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目			
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし。一般の留学に関する本や雑誌を各自必ず読んでおくこと。

履修条件	授業（遅刻・欠席数）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意思があること。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	<p>1) 授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくないと判断される場合は、申込後も留学を辞退させることもある。</p> <p>2) 自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申し込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかかなり高くなることを理解しておくこと。</p> <p>3) 渡航前に、先輩や長崎短大の留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるよう、努めること。</p>

海外文化事情Ⅱ（英語圏短期研修）	授業コード：
英文科目名称： Foreign Culture StudyⅡ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期（約10日間）海外研修プログラム。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習する。</p> <p>滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験を行う。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行う。</p> <p>渡航先は、参加者の希望や人数で毎年変更する可能性がある。これまで、カナダ、オーストラリア、イギリス、アメリカ（ハワイ）、ニュージーランドへの研修を実施した。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・海外渡航する場合に必要な情報の収集方法や、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 	レポート評価	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。 	レポート評価	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発 	プレゼンテーションの評価	30%

	表をおこなうことができる。		
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目			
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	授業（遅刻・欠席）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意思をもっていること。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日（14:50－18:00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	<p>1) 授業への出席状況が悪く、生活態度が留学にふさわしくない場合は、申込み後も留学を辞退させることもある。</p> <p>2) 自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込みこと。また、留学先では、自己責任の部分がかなり高くなることを理解しておくこと。</p> <p>3) 渡航前には、先輩や、特に英語圏からの学生から現地情報を得て、有意義な研修になるように努めること。</p>

海外文化事情Ⅲ（中期留学）	授業コード：
英文科目名称： Foreign Culture Study Ⅲ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	6単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>海外に約3ヶ月間留学するプログラム。但し、希望者が少数の場合、渡航できない国もある。</p> <p>（英語圏）カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド （アジア圏）韓国、中国、台湾</p> <p>現地での授業内容（例） *留学する国や語学学校や大学により異なる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新入生歓迎オリエンテーション 2 プレイスメントテスト 3 語学学習（月～金、週30時間程度） 4 セルフスタディ（スーパーバイザ指導のもと） 5 コンピュータやランゲージラボを使用した学習 6 定期的な授業外の課外活動（フィードトリップ、地域でのボランティア活動、等々） 7 学期末テスト（評価あり） 8 成績所及び修了証書授与
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・海外渡航する場合に必要なとなる情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 	レポート評価	40%

	・渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。		
異文化知識・対応能力	・姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。	レポート評価	30%
課題解決能力	・帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。	プレゼンテーションの評価	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目			
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			

13 回目			
14 回目			
15 回目			
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	授業（遅刻、欠席）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意志を持っている。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	<p>1）授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくない場合は、申込後も留学を辞退させることもある。</p> <p>2）自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかなり高くなることを理解しておくこと。</p>

講義科目名称：インターンシップ I	授業コード：
英文科目名称：Internship I	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎日、インターネット上の日誌に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	・インターンシップ日誌 ・受入先評価	30%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ・【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ・【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ日誌 ・受入先評価 	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

講義科目名称：インターンシップ II	授業コード：
英文科目名称：Internship II	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎日、インターネット上の日誌に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	・インターンシップ日誌 ・受入先評価	30%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ・【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ・【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 	・インターンシップ日誌 ・受入先評価	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

講義科目名称：インターンシップ III	授業コード：
英文科目名称：Internship III	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎日、インターネット上の日誌に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・【自己変革】 就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	・インターンシップ日誌 ・受入先評価	30%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・【主体性】 与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ・【規律性・忍耐力】 インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ・【ストレスコントロール力】 自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ日誌 ・受入先評価 	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

講義科目名称：インターンシップ IV	授業コード：
英文科目名称：Internship IV	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7thQ	2年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎日、インターネット上の日誌に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	・インターンシップ日誌 ・受入先評価	30%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ・【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ・【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ日誌 ・受入先評価 	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

講義科目名称：留① 実践Awesome Sasebo! I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2	選択	実習
担当教員				
岩崎、園田、岩井				

授業概要	<p>「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Qに設定されている、クォーターでの比較的自由な時間を活用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。</p> <p>留学生を対象とした本授業では、自己がもつ言語社会を背景に加えて、これまで学び、体験した知識を用いて、地域の様々な課題解決に挑戦しながら自己を振り返る機会となるように組み立てられている。</p> <p>実践Awesome Sasebo! Iでは、2年生のチームが主体となって、留学生1年生とそれぞれチームを組み、佐世保地域の課題解決に関するアクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながら具体的な解決方法解決・実践を学ぶだけではなく、1年生が主体となって、地域の小学校や高校へ赴き、異文化授業などを展開する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる	授業態度	5
専門的知識や技能	日本語で学校で想定できる事態に対して対処することができる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることができる	課題	30
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づく	課題	10
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる	授業態度	50
キャリアデザイン力	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学の見点を持つことができる	授業態度	5
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・ 本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する ・ 本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする Google Classroomへの発表資料アップロードが完了しているか確認し、チームに分かれて調整を行う スクリプトの提出を行う	対面授業	予習：Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2回目	相浦小学校との交流授業① 小学校へ出す招待状を作る 手紙の書き方を学ぶ、丁寧に書く、読む人のことを考えた書き方など「配慮」の姿勢を学ぶ	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
3回目	相浦小学校との交流授業② 来た時の、プレゼント準備など、受け入れた後の準備 最終チェックを行う 小学生の質問に対して、返答の準備を行う	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
4回目	相浦小学校との交流授業③ 来た時の、プレゼント準備など、受け入れた後の準備 最終チェックを行う 小学生の質問に対して、返答の準備を行う	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
5回目	「相浦小学校交流会A-①」 相浦小学校の児童と共に「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習：これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6回目	相浦小学校交流会A-② 相浦小学校の児童と共に「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習：これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7回目	「相浦小学校交流会B-①」 相浦小学校の児童と共に「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習：これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)

8回目	「相浦小学校交流会B-②」 相浦小学校の児童と共に「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習：これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
9回目	相浦小学校活動の記録① それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、来年の活動のための引継ぎデータ、プレゼンを作成する	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
10回目	相浦小学校活動の記録③ それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、来年の活動のための引継ぎデータ、プレゼンを作成する	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
11回目	相浦小学校活動の発表 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、これまで実行してきたものを発表する。フィードバックをおこない、修正が必要なもの、箇所に関して認識する	対面授業	予習：これまでの準備を見直し、全体の完成を目指す(2時間) 復習：構成を見直し、次までに各部分に必要なものを見直す(2時間)
12回目	相浦小学校活動の修正・感想 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、修正が必要なもの、箇所に関して修正を行う。感想レポートの作成。	対面授業	予習：全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習：提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
13回目	佐世保の観光業について知る①導入 佐世保市の特徴を知る(人口・産業など) 観光業と留学生の関係について理解する	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
14回目	佐世保の観光業について知る②導入 市役所の観光課が佐世保の観光業に関して説明する ・観光業とコロナ ・佐世保市の観光に対する取り組みを学ぶ	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
15回目	佐世保の観光業について知る③実施 【ハウステンボスの外国人招致の工夫や対策を学ぶ】 チームごとにテーマに分けて取材、データ、画像、従業員へのインタビューなどを行う ※コロナの状況に応じて変更有	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	2Qギャップイヤー事前指導、Awesome Sasebo! I を履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、1年生のチューターである2年生の学びをよく見て、来年のモデルケースとすること。また、チーム活動が求められるため、ハウレンソウをしっかりと実行できるように努力すること。
オフィスアワー	前期： 木曜日2コマ目（11:00～12:00）研究室 後期： 火曜日1コマ目（9：30～10：30）研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

講義科目名称：留① 実践Awesome Sasebo! II	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2	選択	実習
担当教員				
岩崎、園田、岩井				

授業概要	<p>「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Qに設定されている、クォーターでの比較的自由な時間を活用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。</p> <p>留学生を対象とした本授業では、自己がもつ言語社会を背景に加えて、これまで学び、体験した知識を用いて、地域の様々な課題解決に挑戦しながら自己を振り返る機会となるように組み立てられている。</p> <p>実践Awesome Sasebo! IIでは、2年生のチームが主体となってコーチングスキルなどを学ぶ他の授業と連携し、留学生1年生とそれぞれチームを組み、佐世保地域の課題解決に関するアクティビティを計画・実践しながら交流する。また、人、文化を理解しながら具体的な解決方法解決・実践を学ぶだけではなく、1年生が主体となって、地域の小学校や高校へ赴き、異文化授業などを展開する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる	授業態度	5
専門的知識や技能	日本語で学校で想定できる事態に対して対処することができる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることができる	課題	30
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づく	課題	10
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる	授業態度	50
キャリアデザイン力	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学の見点を持つことができる	授業態度	5
合計			100%
補足事項			

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする 相浦小学校との交流授業① 日本語での手紙の書き方を学ぶ またお礼文化も同時に学習する	対面授業	予習：Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2回目	東翔高校との交流授業準備① 交流授業の意義を再確認する 留学生の地域に果たす役割と、高校生への影響を考える 異文化理解が必要な理由をSDGsの概念を用いて理解する	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
3回目	東翔高校との交流授業準備② 交流授業のチーム構成、役割を決める タイムスケジュールに沿って授業を構成する 必要な物品等を準備する	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
4回目	東翔高校との交流授業準備③ 交流授業のスク립ト提出、練習を行う	対面授業	予習：全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習：提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
5回目	相浦小学校交流会A-1のフィードバック 最初のクラスを実施して感じたことをチーム内でシェアし、その後クラス全体で共有する 改善策を考え、実施できるレベルまで考える 必要な物品等があれば、早急に準備する	対面授業	予習：これまでの活動を見直しして、すぐに修正が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6回目	相浦小学校交流会A-1フィードバック 全体のまとめをチームで行い、クラス全体のまとめを実施 活動のデータ、動画、写真の収集を行う	対面授業	予習：これまでの準備を見直しして、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7回目	相浦小学校交流会B-1のフィードバック 最初のクラスを実施して感じたことをチーム内でシェアし、その後クラス全体で共有する 改善策を考え、実施できるレベルまで考える	対面授業	予習：これまでの活動を見直しして、すぐに修正が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に

	必要な物品等があれば、早急に準備する		各部分に必要なものは見直す(2時間)
8回目	相浦小学校交流会B-1フィードバック 全体のまとめをチームで行い、クラス全体のまとめを実施 活動のデータ、動画、写真の収集を行う	対面授業	予習：これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
9回目	東翔高校との交流授業準備④ 交流授業の発音チェック、練習を行う	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
10回目	東翔高校との交流授業試演① 2年生から意見・フィードバックをもらう	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
11回目	東翔高校との交流授業試演②訂正 2年生から意見・フィードバックをもらったものを修正する	対面授業	予習：これまでの準備を見直し、全体の完成を目指す(2時間) 復習：構成を見直し、次までに各部分に必要なものを見直す(2時間)
12回目	東翔高校交流授業発表 準備したものを本番当日と同じようにしてみる	対面授業	予習：全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習：提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
13回目	佐世保の観光業について知る①計画 【ハウステンボスの外国人招致の工夫や対策を学ぶ】 ・看板・案内表示 ・料金 ・交通案内（そこまでのアプローチ） ・宿泊 ・食事 ・お土産 チームごとにテーマに分けて取材、データ、画像、従業員へのインタビューなどを行う、役割決め ※コロナの状況に応じて変更有	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
14回目	佐世保の観光業について知る②計画 【ハウステンボスの外国人招致の工夫や対策を学ぶ】 ・看板・案内表示 ・料金 ・交通案内（そこまでのアプローチ） ・宿泊	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事 ・ お土産 チームごとにテーマに分けて取材、データ、画像、従業員へのインタビュー計画を行う ※コロナの状況に応じて変更有		
15回目	佐世保の観光業について知る③実施 【ハウステンボスの外国人招致の工夫や対策を学ぶ】 チームごとにテーマに分けて取材、データ、画像、従業員へのインタビューなどを行う ※コロナの状況に応じて変更有	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	2Qギャップイヤー事前指導、Awesome Sasebo! I、3Q実践Awesome Sasebo! I を履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、1年生のチューターである2年生の学びをよく見て、来年のモデルケースとすること。また、チーム活動が求められるため、ハウレンソウをしっかりと実行できるように努力すること。
オフィスアワー	前期： 木曜日2コマ目（11:00～12:00）研究室 後期： 火曜日1コマ目（9：30～10：30）研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

講義科目名称：留① 実践Awesome Sasebo!Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2	選択	実習
担当教員				
岩崎、園田、チャウ				

授業概要	<p>「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Q,4Qに設定されている短大での学びを、地域をフィールドとして実践する教科である。</p> <p>留学生を対象とした本授業では、3Qで実施した小学校や高校での授業実習や、その他の地域での学びを総まとめするものである。1年生は来年度の学びに繋がるようなプレゼンテーションの知識をしっかりと学び、チーム全体を率いるようなリーダーシップ力を育成する</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる	授業態度	5
専門的知識や技能	日本語で直接関連のある事柄の内容について主要な点を聞いたり読んだりして理解できる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることのできる	課題	40
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながらチーム全体で目標に粘り強く取り組むことができる	授業態度 課題・作成物	30 20
キャリアデザイン力	活動を通して自己のパーソナリティと活動内容の得手不得手がわかる	授業態度	5
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題60%、授業参加態度40%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	<p>「オリエンテーション」</p> <p>講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする</p> <p>東翔高校との交流授業①振り返り チーム内で担当決め ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担</p>	対面授業	<p>予習：Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)</p>
2回目	<p>東翔高校との交流授業②振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担</p>	対面授業	<p>チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)</p>
3回目	<p>東翔高校との交流授業③振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担</p>	対面授業	<p>予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)</p>
4回目	<p>東翔高校との交流授業 まとめ動画発表 ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿</p> <p>広報の役割について学ぶ</p>	対面授業	<p>予習：全体の体裁等を確認しておく。発表準備をしておく(2時間) 復習：提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)</p>
5回目	<p>学校紹介プロジェクト① 入学前や入学する学生に対して、短期大学の紹介動画を作成する</p> <p>アンケート調査を実施し、ニーズ分析を行う 必要な情報等の把握の方法を学ぶ</p> <p>ニーズに応じた動画、インタビュー動画を作成し、留学生用HPへアップロードする</p>	対面授業	<p>予習：インターネット上にある紹介動画を参考に、どのような工夫があるかをまとめておく(2時間) 復習：ニーズ調査の重要性を理解し、自分たちでニーズ調査ができるようになる(2時間)</p>
6回目	<p>学校紹介プロジェクト②</p> <p>チームごとに ①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成 ②写真や図の収集 ③インタビュー相手の検討 ④全体計画 を作成し、まとめる。実施する。</p>	対面授業	<p>予習：これまでの準備を振り返り、チーム活動に必要な事柄を、Google classroomに提出する(2時間) 復習：構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめておく(2時間)</p>

7回目	<p>学校紹介プロジェクト③</p> <p>チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。実施する。</p>	対面授業	<p>予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間)</p> <p>復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)</p>
8回目	<p>学校紹介プロジェクト④</p> <p>チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。実施する。</p>	対面授業	<p>予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間)</p> <p>復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)</p>
9回目	<p>学校紹介プロジェクト⑤</p> <p>チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。実施する。</p>	対面授業	<p>予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間)</p> <p>復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)</p>
10回目	<p>学校紹介プロジェクト⑥ 提出</p> <p>チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。作成物の提出</p>	対面授業	<p>予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間)</p> <p>復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)</p>
11回目	<p>学校紹介プロジェクト⑥ 修正</p> <p>指摘を受けた部分について修正を行う</p> <p>改善を実施したのち、再提出を行う</p>	対面授業	<p>予習：これまでの準備を見直し、全体の完成を目指す(2時間)</p> <p>復習：構成を見直し、次までに各部分に必要な部分に関して修正をする(2時間)</p>
12回目	<p>学校紹介プロジェクト⑦ 修正</p> <p>指摘を受けた部分について修正を行う</p> <p>改善を実施したのち、再提出を行う</p>	対面授業	<p>予習：全体の体裁等を確認しておく(2時間)</p> <p>復習：提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する</p>

			る。(2時間)
13回目	学校紹介プロジェクト 鑑賞会 それぞれのチームの発表にコメントを入れてフィードバックを行う	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
14回目	学校紹介プロジェクト 鑑賞会 それぞれのチームの発表にコメントを入れてフィードバックを行う これまでの活動を振り返ってのレポート作成	対面授業	予習：もらった評価を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。表彰式の準備(2時間)
15回目	表彰式 これまでの活動を振り返って、ベストチューデント賞を選定	対面授業	予習：事前配布のアンケートフォームに回答しておくこと(2時間) 復習：これまでの学習を学習ノートにまとめ、1年間の学習の振り返りをおこなう(2時間)

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	3Q実践Awesome Sasebo! II を履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、1年生のチューターである2年生の学びをよく見て、来年のモデルケースとすること。また、チーム活動が求められるため、ハウレンソウをしっかりと実行できるように努力すること。
オフィスアワー	前期： 木曜日2コマ目（11:00～12:00）研究室 後期： 火曜日1コマ目（9：30～10：30）研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

講義科目名称：留② 実践Awesome Sasebo!IV	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2	必修	演習
担当教員				
岩崎、園田				

授業概要	<p>「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした1Qから2年生の8Qまで続く演習授業である。留学生の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。</p> <p>実践Awesome Sasebo!IVでは、2年生のチームが主体となってコーチングスキルなどを学びながら、留学生1年生とそれぞれチームを組み、佐世保地域の課題解決に関するアプローチを学ぶ。それぞれの目的に応じたアクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながら具体的な解決方法解決・実践能力を育成する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	率先して、常に社会のルールや状況に適した振る舞いができ、他者にも促すことができる	授業態度	5
専門的知識や技能	日本語で幅広い話題について明確で詳細な文章を読み書きでき、伝えることができる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることことができる	課題	30
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。さらに共通の理解を得るために交渉を始めることができる。	課題	10
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる	授業態度	50
キャリアデザイン力	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学の見点を持つことができる	授業態度	5
合計			100%
補足事項			

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする 相浦小学校との交流授業① 日本語での手紙の書き方を学ぶ またお礼文化も同時に学習する	対面授業	予習：Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2回目	コーチングを学ぶ① チームワークで必要なチームビルディングと共に、コーチングのスキル知識を学ぶ	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
3回目	コーチングを学ぶ② チームワークで必要なチームビルディングと共に、コーチングのスキル知識を学ぶ	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
4回目	コーチングを学ぶ③ チームワークで必要なチームビルディングと共に、コーチングのスキル知識を学び、クラス内で実践してみる	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
5回目	相浦小学校交流会のフィードバックA-1 最初のクラスを実施して感じたことをチーム内でシェアし、その後クラス全体で共有する 改善策を考え、実施できるレベルまで考える 必要な物品等があれば、早急に準備する コーチングスキルを活かした指導を行う	対面授業	予習：これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6回目	相浦小学校交流会フィードバックA-2 全体のまとめをチームで行い、クラス全体のまとめを実施 活動のデータ、動画、写真の収集を行う	対面授業	予習：これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7回目	相浦小学校交流会のフィードバックB-1 最初のクラスを実施して感じたことをチーム内でシェアし、その後クラス全体で共有する 改善策を考え、実施できるレベルまで考える	対面授業	予習：これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に

	必要な物品等があれば、早急に準備する		各部分に必要なものは見直す(2時間)
8回目	相浦小学校交流会フィードバックB-2 全体のまとめをチームで行い、クラス全体のまとめを実施 活動のデータ、動画、写真の収集を行う	対面授業	予習：これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
9回目	東翔高校との交流授業支援① 地域活動に行く後輩へ効果的なコーチングとは何か考えて計画を立てる チーム内で役割を決める	対面授業	予習：これまでの地域活動を振り返り、どのようなコーチングが必要であったかを振り返っておく(2時間) 復習：チームで共有した情報を確認しておくこと。何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
10回目	東翔高校との交流授業支援② 経験者の立場としてコーチングスキルを用いて言語の違う学生に対しても適切なフィードバックを行う 目的の見える化、計画、実行を指示する	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
11回目	東翔高校との交流授業支援③ 経験者の立場としてコーチングスキルを用いて言語の違う学生に対しても適切なフィードバックを行う 情報の共有化、成果の見える化	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
12回目	東翔高校との交流授業支援④ 1年生の発表の確認とコーチングの成果を再検討する	対面授業	予習：全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習：発表された作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
13回目	佐世保の観光業について知る①計画 【ハウステンボスの外国人招致の工夫や対策を学ぶ】 ・看板・案内表示 ・料金 ・交通案内（そこまでのアプローチ） ・宿泊 ・食事 ・お土産 チームごとにテーマに分けて取材、データ、画像、従業員へのインタビューなどを行う、役割決め ※コロナの状況に応じて変更有	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)

14回目	佐世保の観光業について知る②計画 【ハウステンボスの外国人招致の工夫や対策を学ぶ】 ・看板・案内表示 ・料金 ・交通案内（そこまでのアプローチ） ・宿泊 ・食事 ・お土産 チームごとにテーマに分けて取材、データ、画像、従業員へのインタビュー計画を行う ※コロナの状況に応じて変更有	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
15回目	佐世保の観光業について知る③実施 【ハウステンボスの外国人招致の工夫や対策を学ぶ】 チームごとにテーマに分けて取材、データ、画像、従業員へのインタビューなどを行う ※コロナの状況に応じて変更有	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
16回目		対面授業	

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	7QAwesome Sasebo!IVを履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、2年生は1年生のチューターの役割があるため、昨年の学びを自分の中で授業前に復習しておくこと。また、チーム活動が求められるため、ホウレンソウをしっかりと実行できるように努力すること。
オフィスアワー	前期： 木曜日2コマ目（11:00～12:00）研究室 後期： 火曜日1コマ目（9：30～10：30）研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

ギャップイヤー事後指導	授業コード：
英文科目名称： Follow-up Seminar for Gap Term	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4thQ	1年	2単位	必修	演習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>1st Quarter： ギャップイヤーに自分が取り組む「留学」「インターンシップ」「サービスマナー」に関して、「目的」「目標」を含む綿密な「ギャップイヤー計画表」を作成する。教員、外部講師、2年生から様々な情報を得て、ギャップイヤーに取り組む計画をしっかりと立てる上で、大学生として、正しく情報を収集し、適切な分析を行う力を養うことができるようにする。</p> <p>2nd Quarter： 1st Quarter に作成した計画に従って、以下のカテゴリー別に詳細な準備を行う。準備を行う上で、自分の考え、一つの可能性、一つのものの見方にとらわれず、色々な角度から事を考え、他人の意見に耳を傾け、十分に見直しをおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期（3か月）留学： 渡航手続き、留学・ホームステイアプリケーション作成、異文化理解、ホームシック対応等 ・インターンシップ： インターンシップ先の情報収集、履歴書作成、面接準備、ビジネスマナー等 ・サービスマナー： 実施施設の決定、内容の確認、対応マナー等
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	・振り返りを第三者にも分かりやすく ppt を作成し、プレゼンテーションができる。	・プレゼンテーション	50%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	・ギャップタームの経験を詳細に分析し、振り返り（体験の言語化）が正しく文章化できる。	・文書作成 ・授業や活動への参加・態度	50%

キャリアデザイン力			
			合計 100%
補足事項			
「ギャップタームの振り返り」文書作成、そのプレゼンテーションで、総合的に評価する。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション、振り返り	・グループで体験の報告会 ・ギャップタームの振り返り、目標シート作成、各種アンケート等	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。
2回目	振り返り	ギャップタームの振り返り、目標シート作成、各種アンケート等	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。
3回目	振り返り	ギャップタームの振り返り、目標シート作成、各種アンケート等	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。
4回目	振り返り	ギャップタームの振り返り、目標シート作成、各種アンケート等	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。
5回目	振り返り	ギャップタームの振り返り、目標シート作成、各種アンケート等	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。

			復習：授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。
6回目	キャリア研修	フレッシュワークによる「ギャップの体験をどのように職業に結びつけるか」についてのワークショップ	予習：興味関心のある職業について考えておくこと。 復習：自分の適切について引き続き考えておくこと。
7回目	プレゼン作成	振り返りの内容について、各自プレゼンテーションを作成する。	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：作成中のプレゼンへの追加項目を考える。
8回目	プレゼン作成	振り返りの内容について、各自プレゼンテーションを作成する。	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：作成中のプレゼンへの追加項目を考える。
9回目	プレゼン作成	振り返りの内容について、各自プレゼンテーションを作成する。	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：作成中のプレゼンへの追加項目を考える。
10回目	プレゼン作成	振り返りの内容について、各自プレゼンテーションを作成する。	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：作成中のプレゼンへの追加項目を考える。
11回目	プレゼン作成	振り返りの内容について、各自プレゼンテーションを作成する。	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：作成中のプレゼンへの追加項目を考える。
12回目	プレゼン作成	振り返りの内容について、各自プレゼンテーションを作成する。	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：作成中のプレゼンへの追加項目を考える。
13回目	プレゼン準備	プレゼンテーションの練習、リハーサルを行う。	予習：プレゼンの練習をおこなう。 復習：プレゼンのポイントを確認する。
14回目		プレゼンテーション&評価	予習：プレゼンの練習 復習：プレゼンの振り返り
15回目		プレゼンテーション&評価	予習：プレゼンの練習

			復習：プレゼンの振り返り
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	ギャップタームでの経験は、これからの職業や進路選択に重要な時期になるので、振り返り（体験の言語化）をしっかりと、自分のキャリアにつなげて欲しい。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	体験したことを可能な限り言語化できるように、日頃から気づいたことを記録しておくこと。

講義科目名称：留① ギャップイヤー事前指導	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2	必修	講義
担当教員				
岩崎、園田、チャウ				

授業概要	<p>「ギャップイヤー事後指導」は「ギャップイヤー事前指導」と共に、国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中でも1年次における自己実現のための「生きる力」の育成を目的とした1Q2Qと4Qに開講されるものである。</p> <p>留学生を対象とした本講義では、3Qでの地域学習（高校での授業、小学校との交流授業など）の振り返りから自己評価を行い、学びに対する態度、成果を確認する。さらにその学びを時系列でまとめ、他者と意見交換する中で他者評価も自己評価に加え、総合的な自己評価表を作成する。その後、大学基礎入門Aで作成した1年の計画表へ追加書き込みを行い、自己評価を行った後に、今後の学び計画を立てる。</p> <p>学びの木（目標を書いた葉）を作成し、教室で目標を可視化した後は、これまで学びを支えてくれた2年生に対するお礼の会の計画立案をし、チュータリングの引継ぎを行う。これらの引継ぎを通して、社会人として必要なホウレンソウと共に、次世代へ繋いでいく社会人的行動を養う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<p>自ら考え、適切に判断し継続して行動できる。</p> <p>他者への感謝の気持ちを、社会のルールに適した形でふるまうことができる</p>	授業参加態度	30
専門的知識や技能	<p>自らの学びの内容について、必要な語彙を用いて簡単に文章を書き、自身の気持ちや経験を適切に伝えることができる。</p> <p>また、他人の意見や考えを聞いて理解できる。</p>	<p>授業参加態度</p> <p>課題・作成物</p>	<p>10</p> <p>10</p>
異文化知識・対応能力			

課題解決能力	確認や見直しを行い、1Qで計画立てた学びを他者と共に再検討することができる。 問題点を整理し、周りと助け合って新しい目標を立てることができる	授業参加態度 課題・作成物	20 10
キャリアデザイン力	これまでの学修の成果をもとに、就職や進学等の進路設計ができる。	授業参加態度 課題・作成物	10 10
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題・作成物30%、授業参加態度70%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする 「自己評価①」 これまでの学習に関する自己評価をグループで話し合い、情報共有する 何ができて、何ができなかったのか他者評価も加えて総合的に自分の総括を行う	対面授業	予習：大学教育入門の際に配布した学習ノートを復習しておく。 Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(2時間)
2回目	「邪魔する要素と支援する要素」 他者評価を加えた自己評価から、2年次の目標を計画立てる 計画を邪魔する要素は何か 計画を支援する要素は何か を学習ノートにまとめ、可視化する	対面授業	予習：総括する際に必要な語彙を調べてノートに書いておく(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(2時間)
3回目	「モチベーション」	対面授業	予習：モチベーションに関

	<p>学習を継続させる原動力となるモチベーションについて学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マズローの欲求5段階理論 ・バンデューラの自己効力感説 		<p>する学習ノートを事前に読んでおく。未習語彙を調べておく(2時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(2時間)</p>
4回目	<p>「友人の相談相手になることのできる自分」</p> <p>人間は社会的関係を結びながら、集団の中で生きていかねばならない。これまでの学びの中では、交流授業の達成を共通目的としてきたが、ここでは心の交流を図り、友人のためにできることを体験する。</p>	対面授業	<p>予習：相談に関する学習ノートを事前に読んでおく。未習語彙を調べておく(2時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(2時間)</p>
5回目	<p>「今後の計画①」</p> <p>これまでの学びの反省を反映させた一覧表を作成し、今後の計画を立てる</p> <p>自分の目標を立てる</p>	対面授業	<p>予習：今後の計画に関する学習ノートを事前に読んで書き込んでおく。未習語彙を調べておく(2時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(2時間)</p>
6回目	<p>「今後の計画②」</p> <p>これまでの学びの反省を反映させた一覧表を作成し、今後の計画を立てる</p> <p>自分の目標を立てる</p>	対面授業	<p>予習：今後の計画に関する学習ノートを事前に読んで書き込んでおく。未習語彙を調べておく(2時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(2時間)</p>
7回目	<p>「今後の計画③」</p> <p>これから必要な知識と態度</p>	対面授業	<p>予習：みだしなみに関する学習ノートを事前に読んで書き込んでおく。未習語彙</p>

	<p>身だしなみ講座</p> <p>ポーラ化粧品</p>		<p>を調べておく (2時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題を Googleclassroom をとおして提出する(2時間)</p>
8回目	<p>「今後の計画④」</p> <p>これから必要な知識と態度</p> <p>身だしなみ講座</p> <p>パーソナルカラーを知る</p>	対面授業	<p>予習：身だしなみやパーソナルカラーに関する学習ノートを事前に読んで書き込んでおく。未習語彙を調べておく (2時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題を Googleclassroom をとおして提出する(2時間)</p>
9回目	<p>「先輩への感謝メッセージ作成 ①」</p> <p>これまでの学習を支援してくれた先輩へ感謝を示すメッセージを作成</p> <p>動画・色紙など話合いを通して自由に計画</p>	対面授業	<p>予習：お礼状に関する学習ノートを事前に読んで書き込んでおく。未習語彙を調べておく (2時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題を Googleclassroom をとおして提出する(2時間)</p>
10回目	<p>「先輩への感謝メッセージ作成 ②」</p> <p>これまでの学習を支援してくれた先輩へ感謝を示すメッセージを作成</p> <p>動画・色紙など話合いを通して自由に計画</p>	対面授業	<p>予習：Google classroom で共有されている情報を元に準備しておく。未習語彙を調べておく (2時間)</p> <p>復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題を Googleclassroom をとおして提出する(2時間)</p>
11回目	<p>「先輩への感謝メッセージ作成 ③」</p> <p>これまでの学習を支援してくれた先輩へ感謝を示すメッセージを作成</p>	対面授業	<p>予習：Google classroom で共有されている情報を元に準備しておく。未習語彙を調べておく (2時間)</p>

	動画・色紙など話し合いを通して自由に計画		復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題を Googleclassroom をとおして提出する(2 時間)
12 回目	「先輩への感謝メッセージ作成 ④」 これまでの学習を支援してくれた先輩へ感謝を示すメッセージを作成 動画・色紙など話し合いを通して自由に計画	対面授業	予習：Google classroom で共有されている情報を元に完成できるように準備しておく。未習語彙を調べておく (2 時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題を Googleclassroom をとおして提出する(2 時間)
13 回目	「2 年次へ向けた学習準備①」 2 年次活動ではチューターの役割を通して、集団の中でのリーダーシップや、周囲の人との交渉などを経験する。その為に、クラス内の生活グループに所属する どのような役割を果たすのか理解し、実行できるように準備する	対面授業	予習：「次年度へ向けて」に関する学習ノートを事前に読んで書き込んでおく。未習語彙を調べておく (2 時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題を Googleclassroom をとおして提出する(2 時間)
14 回目	「2 年次へ向けた学習準備②」 2 年次活動ではチューターの役割を通して、集団の中でのリーダーシップや、周囲の人との交渉などを経験する。その為に、クラス内の生活グループに所属する どのような役割を果たすのか理解し、実行できるように準備する	対面授業	予習：Google classroom で共有されている情報を元に完成できるように準備しておく。未習語彙を調べておく (2 時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題を Googleclassroom をとおして提出する(2 時間)
15 回目	「2 年次へ向けた学習準備③」 行事係、教育係等は来年に入学してくる学生のための紹介動画の準備と入学オリエンテーションの計画を立てる	対面授業	予習：「次年度へ向けて」に関する学習ノートを事前に読んで書き込んでおく。未習語彙を調べておく (2 時間)

			復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題を Googleclassroom をとおして提出する(2 時間)
16 回目	<p>「2 年次へ向けた学習準備④」</p> <p>行事係、教育係等は来年に入学してくる学生のための紹介動画の準備と入学オリエンテーションの計画を立てる</p> <p>自己評価を行い、次の学びに備える</p>	対面授業	<p>予習：Google classroom で共有されている情報を元に完成できるように準備しておく。未習語彙を調べておく (2 時間)</p> <p>復習：1 年次の総合的な振り返りに関して出されている課題を Googleclassroom をとおして提出する(2 時間)</p>

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	配布された学習プリント
履修条件	1,2,3,4Q の必修授業を履修すること
履修上の注意	<p>毎週、最低でも 2 時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること</p> <p>また、本授業はチーム活動が中心であるため、全体をみながらコミュニケーションを取ることが求められている。積極的な行動が望ましい。</p>
オフィスアワー	<p>前期： 木曜日 2 コマ目 (11:00~12:00) 研究室</p> <p>後期： 火曜日 1 コマ目 (9:30~10:30) 研究室</p>
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず 15 分前までにはクラスルームへ連絡すること

卒業研究	授業コード：
英文科目名称： Graduation Report	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7 th &8 th Q	2年	2単位	必修	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>国際コミュニケーションコースで、2年間を通じて学んだこと（学修成果）を以下の課題を通して、表現してもらいます。また、「各自の短大での学びが今後の自分のキャリアにどのようにつながるか」を考え抜き、言語化することも目的とします。</p> <p>①「外国語での、外国人向け、地元アピールプレゼンテーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン対象者は、外国人を想定し、外国人に発信したいと思うもの。 ・プレゼン内容は、出身地(地元)の紹介したい/自慢したい何か。 <p>②「短大の学びのまとめ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短大2年間で経験したこと、頑張ったこと。 ・短大2年間で学修したものを、将来にどのように結びつけるか。 <p>①と②を「学んだ外国語」で、口頭でプレゼンをおこなう。</p> <p>また、3回目（2年間での最後）のELPA（英語テスト、日本語テスト）、及び社会人基礎力テストも実施し、2年間の変化を確認する。 （1回目：1年生オリエンテーション時、2回目：2年前期ギャップターム直後）</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	「心豊かな人間力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。	学科ディプロマポリシーのルーブリック評価基準に準じる。	20%
専門的知識や技能	「専門的知識や技能」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。	学科ディプロマポリシーのルーブリック評価基準に準じる。	20%

異文化知識・対応能力	「異文化知識・対応能力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。	学科ディプロマポリシーのルーブリック評価基準に準じる。	20%
課題解決能力	「課題解決能力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。	学科ディプロマポリシーのルーブリック評価基準に準じる。	20%
キャリアデザイン力	「キャリアデザイン力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。	学科ディプロマポリシーのルーブリック評価基準に準じる。	20%
合計			100%

補足事項

(プレゼン作成方法)

- ・Google Slide(PPT)で10枚程度
- ・動画もプレゼンに加える
- * 自分で撮影した写真・動画を使用
- * プレゼンのコメント等は、日本語と発表する外国語を使用する
- * 授業時間内で作業を行うことを原則とするが、地元での情報収集等で授業に来られない場合は、事前事後に教員に連絡し、それに関わった時間等を報告し、出席とみなす。
- * 1人暮らししている学生は、夏休み等で帰省する際に、データを十分収集しておくこと。

(プレゼン方法)

- * 発表時間は1人10分
- * 口頭プレゼンは、自分が学んでいる外国語でおこなう。
- * 発表者は、指定した日時に短大に来てプレゼンを行う。他の学生は、友人の発表の際は、できるだけ見に来る。都合がつかない学生は、GoogleMeetで同時発信するものを見る。全員のプレゼンを教員が録画し、後日、データと評価を共に共有する。

(主な評価項目)

- ①国際コミュニケーション学科のディプロマポリシーのルーブリック（達成度）
- ②プレゼンテーションスライド（論理性、文章構成力、表現力）
- ③外国語での口頭発表

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション ・授業内容の説明 ・全体構成作成	対面授業	予習： google classroom に提示する授業概要を読み、全体構成を考えておく（2時間） 復習： ルーブリック評価、作成方法などを再度確認し、疑問点などを考える。（2時間）
2 回目	①「外国語での、外国人向け、地元 アピールプレゼンテーション」 ・データ収集 ・Slide 作成 ・動画作成 ・外国でのシナリオ準備 ・外国語でプレゼン準備	対面授業	予習： ①に関して準備を行う。（2時間） 復習： 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう（2時間）
3 回目	①「外国語での、外国人向け、地元 アピールプレゼンテーション」 ・データ収集 ・Slide 作成 ・動画作成 ・外国でのシナリオ準備 ・外国語でプレゼン準備	対面授業	予習： ①に関して準備を行う。（2時間） 復習： 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう（2時間）
4 回目	①「外国語での、外国人向け、地元 アピールプレゼンテーション」 ・データ収集 ・Slide 作成 ・動画作成 ・外国でのシナリオ準備 ・外国語でプレゼン準備	対面授業	予習： ①に関して準備を行う。（2時間） 復習： 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう（2時間）

5 回目	<p>①「外国語での、外国人向け、地元 アピールプレゼンテーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ収集 ・Slide 作成 ・動画作成 ・外国でのシナリオ準備 ・外国語でプレゼン準備 	対面授業	<p>予習： ①に関して準準備を行う。（2時間）</p> <p>復習： 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう（2時間）</p>
6 回目	<p>①「外国語での、外国人向け、地元 アピールプレゼンテーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ収集 ・Slide 作成 ・動画作成 ・外国でのシナリオ準備 ・外国語でプレゼン準備 	対面授業	<p>予習： ①に関して準準備を行う。（2時間）</p> <p>復習： 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう（2時間）</p>
7 回目	<p>①「外国語での、外国人向け、地元 アピールプレゼンテーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ収集 ・Slide 作成 ・動画作成 ・外国でのシナリオ準備 ・外国語でプレゼン準備 	対面授業	<p>予習： ①に関して準準備を行う。（2時間）</p> <p>復習： 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう（2時間）</p>
8 回目	<p>①「外国語での、外国人向け、地元 アピールプレゼンテーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ収集 ・Slide 作成 ・動画作成 ・外国でのシナリオ準備 ・外国語でプレゼン準備 	対面授業	<p>予習： ①に関して準準備を行う。（2時間）</p> <p>復習： 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう（2時間）</p>
9 回目	<p>①「外国語での、外国人向け、地元 アピールプレゼンテーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ収集 ・Slide 作成 	対面授業	<p>予習： ①に関して準準備を行う。（2時間）</p> <p>復習： 作業中の内容について再考し、次回の</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・動画作成 ・外国でのシナリオ準備 ・外国語でプレゼン準備 		作業の準備をおこなう (2時間)
10回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ELPA (英語テスト) の実施 	対面授業	予習: 過去の問題を振り返り試験準備をおこなう。(2時間) 復習: 自己採点をし、間違ったところを確認する。(2時間)
11回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ELPA (日本語テスト) の実施 	対面授業	予習: 過去の問題を振り返り試験準備をおこなう。(2時間) 復習: 自己採点をし、間違ったところを確認する。(2時間)
12回目	②「短大の学びのまとめ」 <ul style="list-style-type: none"> ・Slide 作成 ・外国でのシナリオ準備 ・外国語でプレゼン準備 	対面授業	予習: ②に関して準備を行う。(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう (2時間)
13回目	②「短大の学びのまとめ」 <ul style="list-style-type: none"> ・Slide 作成 ・外国でのシナリオ準備 ・外国語でプレゼン準備 	対面授業	予習: ②に関して準備を行う。(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう (2時間)
14回目	②「短大の学びのまとめ」 <ul style="list-style-type: none"> ・Slide 作成 ・外国でのシナリオ準備 ・外国語でプレゼン準備 	対面授業	予習: ②に関して準備を行う。(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう (2時間)
15回目	<ul style="list-style-type: none"> ・最終リハーサル ・「社会人基礎力テスト」の実施 	対面授業	予習: 最終確認 (2時間)

			復習：プレゼンの練習をおこなう。（2時間）
16回目	資料提出と口頭プレゼンテーション		授業内で日時を指示する。

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	2年間の総まとめとなります。学びを分析、卒業後につなげることができるように全力で取り組んでください。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	・2年間の学びの集大成となる大切な科目です。 積極的に、教員にコンタクトを取り助言を求めること。